



碧南市 地域公共 交通計画

みんなが使う公共交通で支える 活気あるまち つきなん



2024年3月
碧南市

目 次

第1章 計画について

- 1) 計画策定の背景と目的..... 1
- 2) 計画の位置付け..... 2

第2章 交通に関連する社会情勢の整理

- 1) 法制度・計画..... 3
- 2) 社会の流れ・変化..... 4

第3章 碧南市の地域特性の整理

- 1) 上位関連計画の整理..... 7
- 2) 碧南市の現況整理..... 10
- 3) 公共交通や移動サービスの現状整理..... 14
- 4) 周辺市町の公共交通計画・体系の整理..... 26

第4章 各種ニーズ調査・利用実態調査の分析

- 1) 各種調査の概要..... 29
- 2) 調査結果..... 30

第5章 碧南市における地域公共交通の課題

- 1) 現況や各種調査からみた碧南市の地域公共交通の状況と集約課題..... 47
- 2) 個別課題から導かれる集約課題..... 49

第6章 碧南市地域公共交通計画

- 1) 計画対象地域及び計画期間..... 57
- 2) 地域公共交通の基本的な方針..... 58
- 3) 地域公共交通の役割と位置付け..... 59
- 4) 基本目標と目標指標..... 61
- 5) 目標を達成するために実施する事業..... 64

第7章 計画の達成状況の評価

- 1) 計画評価の基本的な考え方..... 73
- 2) 計画の確認指標..... 74

- 用語集..... 75
- 碧南市地域公共交通活性化協議会の開催状況..... 76

第1章 計画について

1) 計画策定の背景と目的

本市の公共交通は、南北に名古屋鉄道三河線が運行されており、市内には4つの駅を有しています。碧南駅より西尾市方面へ運行されていた三河線の一部区間は2004年に廃止され、現在では鉄道代替の路線バスとしてふれんどバスが運行されています。また、本市がくるくるバス4路線を運行しているほか、タクシー事業者2社が市内に営業所を設置しており、こうした公共交通機関が、市民をはじめとした本市に関係する人の多様な移動を支えています。

くるくるバスは、1998年に市内の名鉄バス路線が休止・廃止されたことを受け、高齢者や障害者等、交通弱者の足の確保や利便を図るとともに、広く市民の地域社会参加を促進することを目的として、運行が開始されました。無料で運行しているため、この事業により収益性を求めるものではありませんが、公共交通の運行により人の移動が起こることで、まちに賑わいが生まれます。

また、公共交通での移動は自家用車での移動と比較して健康的であると同時に、自家用車通行台数の抑制による温室効果ガスの削減にもなります。このように、公共交通の運行はまちのあらゆる分野へ効果を生み出すことが知られており、本市においては公共交通を確保・維持していく必要性があると考えています。

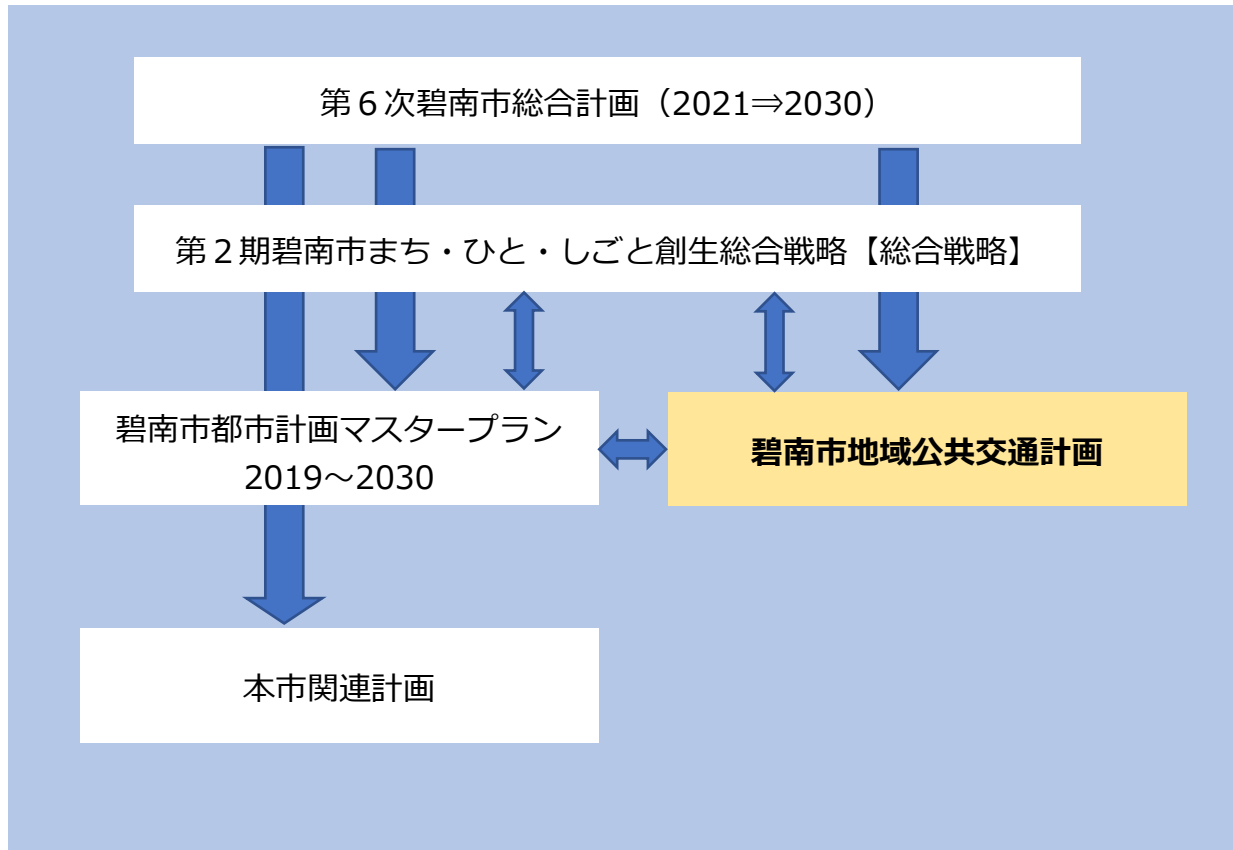
しかし、バスやタクシーの運転手不足が叫ばれていたなか、2020年から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大により、公共交通の利用者が急激に減少したことで、地域の暮らしを支える公共交通の維持が難しい状況となっています。

碧南市の人口は近年横ばい傾向にありますが、将来的には減少に転ずることが予測されるとともに、65歳以上の高齢化率及び高齢者数はともに増加傾向にあるため、高齢者の移動需要に対応した公共交通サービスがより一層求められることが予測されます。また、碧南市人口ビジョンでは、しごとづくり・子育て環境づくり・地域づくりなど、他分野や多様な主体との連携を図ることで将来的にも人口維持をめざしているため、高齢者に限定せず、子育て世代も利用しやすく、元気あふれる本市のまちづくりと連携した持続可能な公共交通体系を構築するため、碧南市地域公共交通計画を策定します。

2) 計画の位置付け

本計画は、上位計画である第6次碧南市総合計画に即すとともに、碧南市都市計画マスタープランなどの関連計画の内容との連携や整合を図りつつ、2020年度に改正された地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（地域交通法）の規定に基づき、本市における持続可能な地域公共交通のすがたや方向性を定めるものです。

図 1-1 碧南市地域公共交通計画の位置付け



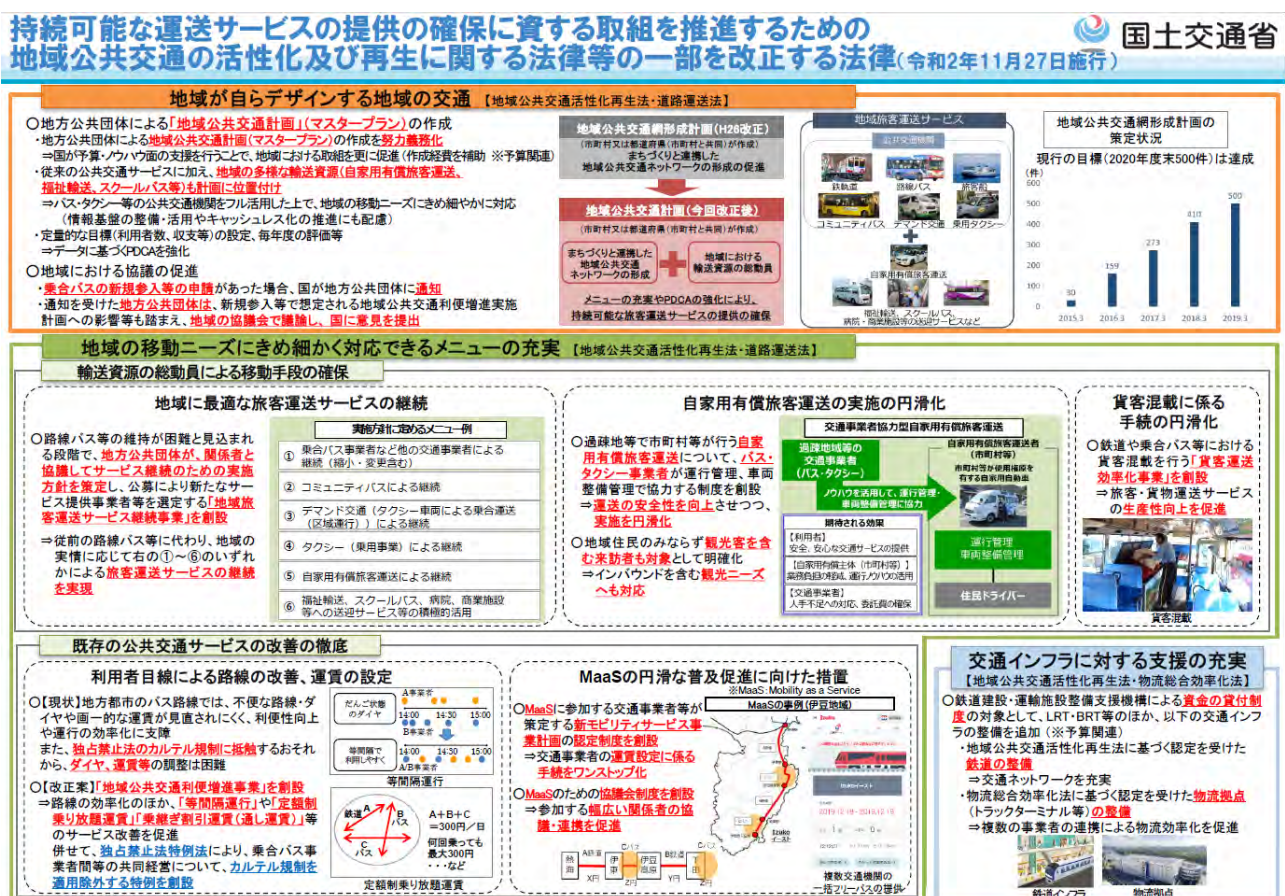
第2章 交通に関連する社会情勢の整理

1) 法制度・計画

(1) 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正

持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律（改正活性化再生法）が2020年11月27日に施行され、「地域公共交通網形成計画」に代わり、地方公共団体による「地域公共交通計画」の策定が努力義務化されました。地域の移動手段の確保・充実のため、地域が自らデザインする地域の交通とするための、地域の多様な輸送資源を総動員する取組みが位置付けられています。

図2-1 法改正の概要と施策メニュー



(資料：国土交通省)

(2)「あいち交通ビジョン」の策定

愛知県では、2022 年に「あいち交通ビジョン」が策定されました。あいち交通ビジョンでは、輸送資源を総動員しながら、持続可能な交通ネットワークを構築し、県民の足をしっかりと確保するとともに、先端技術も活用しながら、さらに利便性の高い交通サービスを提供し、交流を活発にすることにより、この危機を乗り越え、あらゆる地域において公共交通を始めとする移動の利便性が確保される「モビリティ先進県」を目指しています。

目指すべき姿

危機を乗り越え、輝く未来へつなぐ あいちの交通
～モビリティ先進県を目指して～

2) 社会の流れ・変化

(1) カーボンニュートラル*の実現に向けた取組み

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015 年にパリ協定が採択され、120 以上の国と地域が「2050 年カーボンニュートラル」という目標を掲げています。日本では、2020 年 10 月、政府が 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

公共交通分野では、再エネ電源で動く燃料電池車両などの公共交通や電動車カーシェア*、自転車インフラ、デジタル技術を活用した新たなモビリティなど、脱炭素型の地域交通の整備等が地域脱炭素ロードマップに施策として位置づけられています。

図 2-2 燃料電池バス

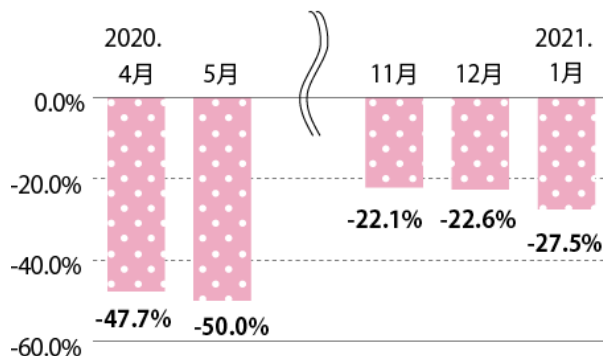


(資料：豊田市 HP)

(2) 新型コロナウイルス感染症の流行

2020 年 1 月に新型コロナウイルスの感染者が日本で初めて報告され、愛知県でも度々緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されました。宣言や重点措置による行動制限や感染リスクへの不安から、「新型コロナウイルス感染症による関係業界への影響について」の調査結果によれば、乗合バス（一般路線バス）の輸送人員（2019 年同月比）は、緊急事態宣言期間の 2020 年 4・5 月は前年比 50%程度も減少し、緊急事態宣言解除後の 11 月以降においても、前年比 20%程度の減少が継続しています。

図 2-3 一般路線バスの輸送人員（2019 年同月比）



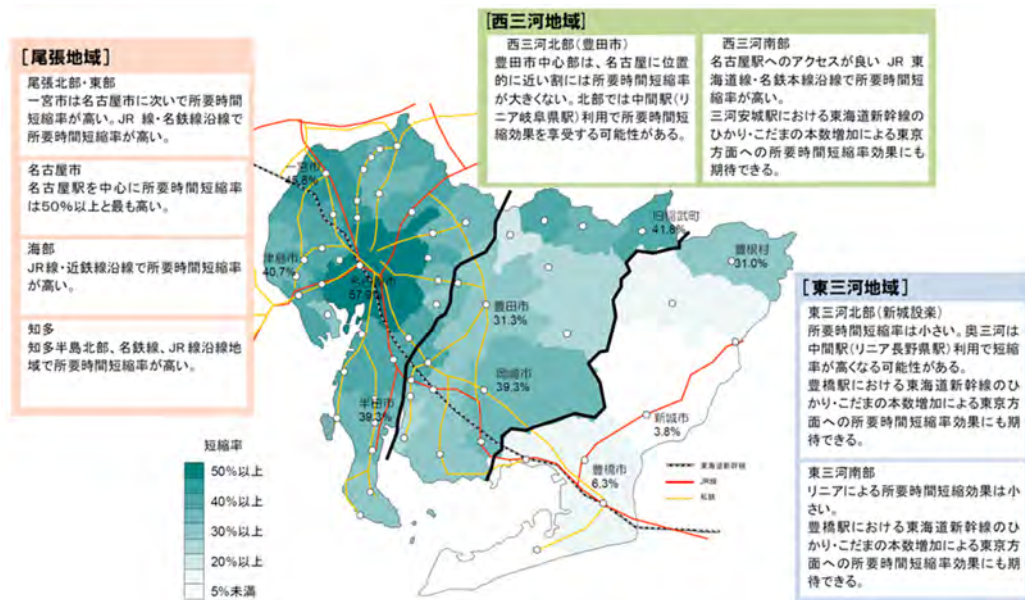
(資料：国土交通白書 2021)

*のついた用語は 75 ページに解説があります

(3) リニア中央新幹線の整備

リニア中央新幹線は、中部国際空港、新東名高速道路などとともに、交流の基盤となる広域交通ネットワークを形成し、愛知県の各地域において、社会・経済に大きな波及的効果を与えられと考えられます。

図 2-4 リニア中央新幹線の整備効果（東京からの所要時間の変化）

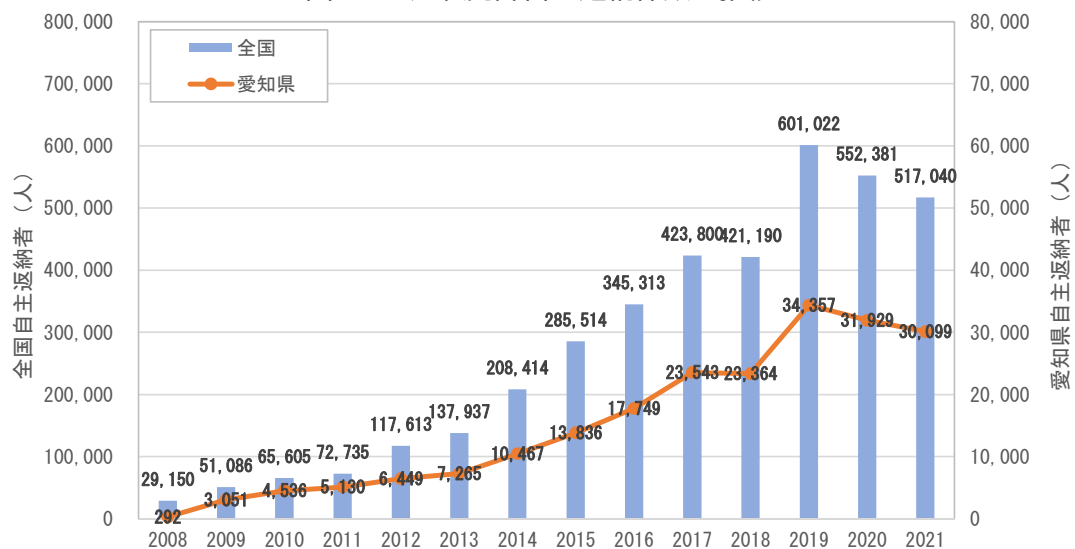


(資料：リニア中央新幹線影響等調査)

(4) 高齢者を中心とした運転免許返納者の現状

高齢者を中心とした運転免許の自主返納は、高齢者人口や交通事故報道などにより年々増加してきましたが、2020 年以降は減少しています。2021 年は全国で約 52 万人を超える人が免許の自主返納を行っており、愛知県では約 3 万人となっています。

図 2-5 運転免許自主返納件数の推移

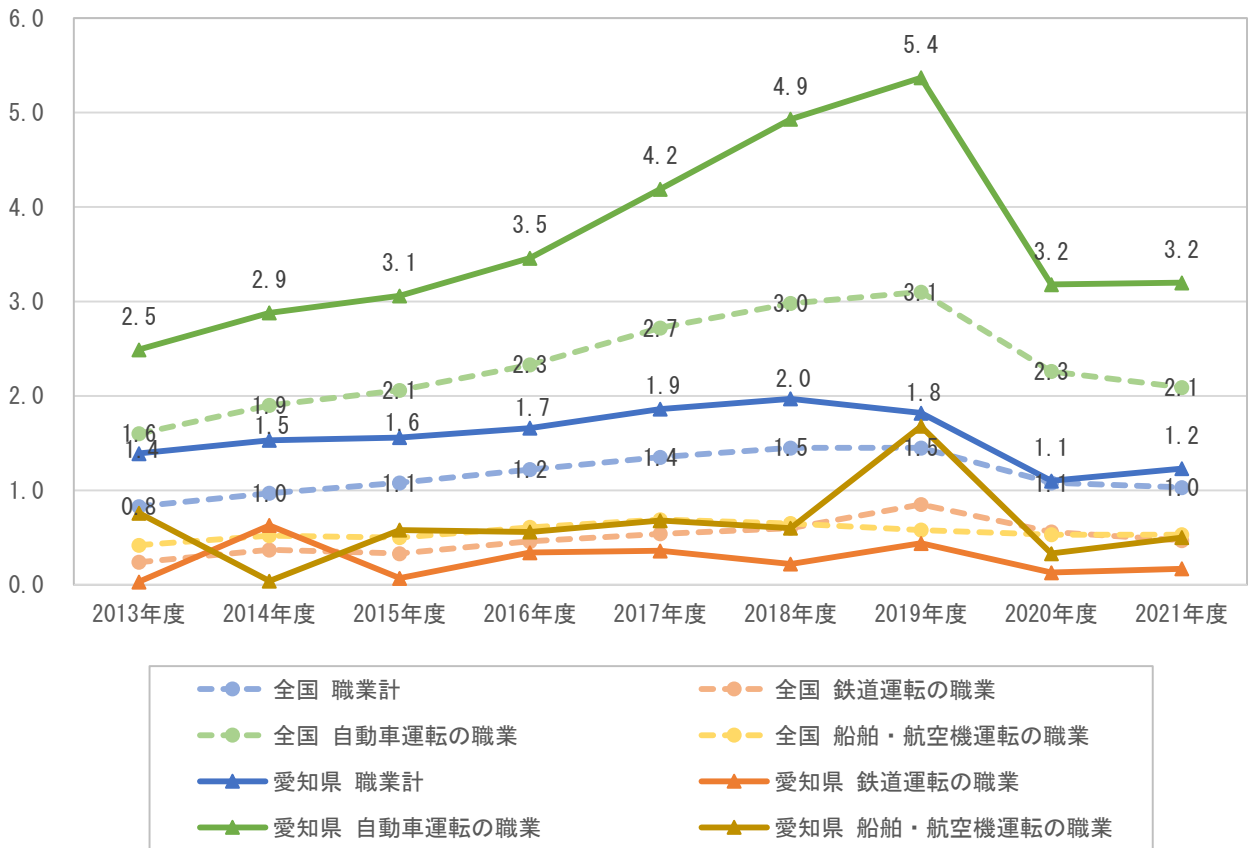


(資料：運転免許統計)

(5) バス・タクシー運転手不足の深刻化

自動車運転の職業の有効求人倍率は、全職業平均に対して全国では約2倍、愛知県ではさらに高い水準で上昇しており、路線バス・タクシーを含めた運転手が不足していると考えられます。

図 2-6 輸送・機械運転の職業の有効求人倍率の推移



(資料：最近の雇用情勢、一般職業紹介状況(職業安定業務統計))

第3章 碧南市の地域特性の整理

1) 上位関連計画の整理

(1) 第6次碧南市総合計画（計画期間：2020年度～2030年度）

①まちづくりの基本理念

【市民憲章】

1. 安心して住める町に
1. 活気ある町に
1. あたたかい心の町に
1. きれいな水と青い空の町に
1. 清新な文化の町に

②将来像

「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」

③基本施策

「施策分野3 都市の発展に向けた活力を生み出すまち」のうち、「基本施策17 商業・観光・公共交通」において、「現状と課題」や「施策の方針」として以下の項目を挙げています。

【公共交通に関わる現状と課題】

- 高齢者等の足として運行する「くるくるバス」、鉄道廃線代替の「ふれんどバス」、名鉄三河線といった公共交通の利便性向上につながる取り組みが必要です。
- 名鉄三河線の乗降客数は微増していますが、さらなる利便性の向上が必要です。

【施策の方針③ 公共交通機関の利便性の向上】

- くるくるバスに対する市民ニーズを把握し、車両の種類や運行形態、名鉄線を含めた他の公共交通との連携など、さらなる利便性の向上を図ります。
- ふれんどバスは名鉄三河線廃線の代替交通として、西尾市と協調して運行支援を行っており、引き続き利用促進を図るとともに支援を行います。
- 名古屋鉄道三河線の利用促進事業を進めるとともに、関係団体と連携して利便性の向上を図ります。

(2) 碧南市都市計画マスタープラン（計画期間：2019 年度～2030 年度）

①将来都市像

「水と緑に恵まれ 暮らしと産業が調和した 活力ある港湾都市・碧南」

②都市づくりの目標

- 目標① だれもが暮らしやすい居住環境を備えた都市づくり
- 目標② 広域交流を促進する都市づくり
- 目標③ 自然と文化を活かした都市づくり
- 目標④ 産業活性を促進する都市づくり
- 目標⑤ 安心・安全に暮らせる人にやさしい都市づくり

図 3-1 将来都市構造図（20～30 年後）



③交通施設の整備方針（公共交通関連）

- 公共交通の利便性を確保し利用促進を図るため、駅前広場等の駅周辺施設の整備やバス停の改善等を推進します。
- ふれんどバス、くるくるバスは、他の交通との適切な役割分担を図りながら、運用方法の検討及び停留所の充実を推進します。
- 名鉄三河線は、事業者と連携して複線化等の整備を推進します。
- 鉄道の利用促進を図るため、鉄道駅周辺において駐車場、駐輪場を確保し、パークアンドライド*の利用を推進します。

*のついた用語は 75 ページに解説があります

(3) 第2期碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略【総合戦略】

(計画期間：2020年度～2025年度)

①基本目標

基本目標1：しごとづくり

基本目標2：新しい人の流れづくり

基本目標3：結婚・出産・子育て環境づくり

基本目標4：元気あふれる地域づくり

②施策と主な事業

総合戦略では「基本目標2：新しい人の流れづくり」の中で、「②駅周辺の利便性の向上」として、駅前広場等の駅周辺の整備を進めることでまちの賑わいを創出するとともに、公共交通の利便性を向上させるなど市民や来客の利便性の向上を図るとして、公共交通に関する施策と主な事業を挙げています。

【施策】

- 観光強化、市内公共交通の充実…公共交通機関の利便性の向上

【主な事業】

- 市内巡回バス運営事業…くるくるバスの運営に関する事業。
- ふれんどバス運行補助事業…ふれんどバス運行に対する経費の一部を補助する。
- 名鉄三河線複線化促進期成同盟会…名鉄三河線複線化促進期成同盟会を運営し、名古屋鉄道株式会社に対し要望や名鉄利用促進事業を実施。
- 名鉄碧南駅西駅前広場整備事業…ロータリーの混雑解消、バリアフリー化を目的とした駅前広場の整備を行う事業。

③K P I（重要業績評価指標）

総合戦略における公共交通に関連するK P Iは以下の通りです。

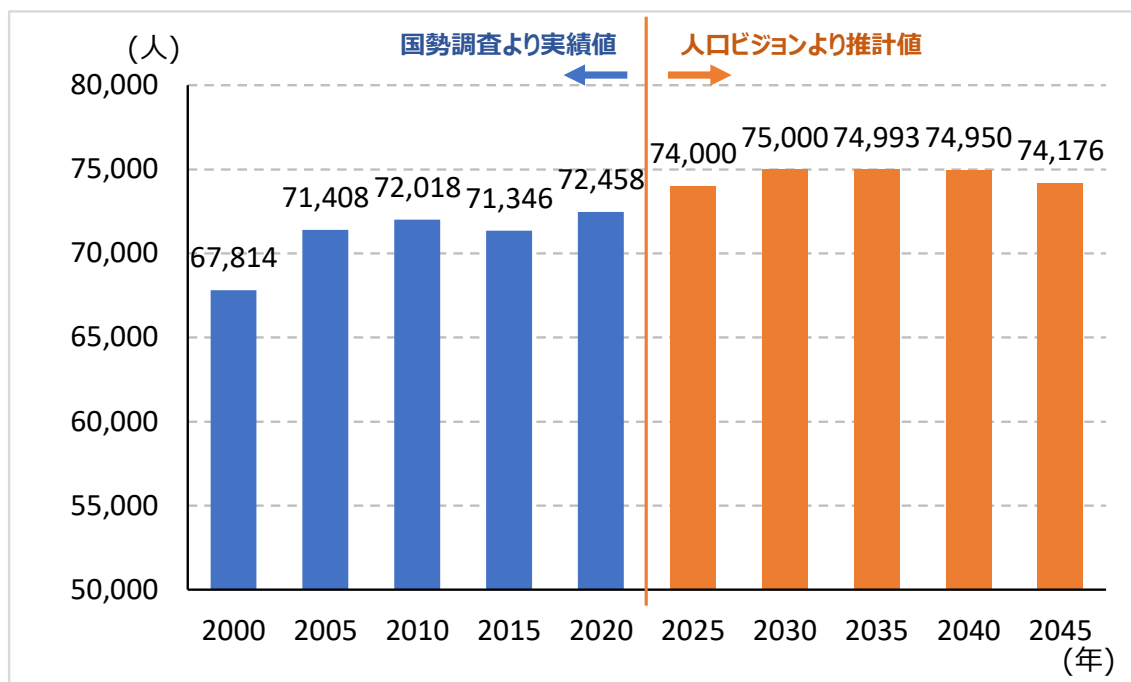
K P I	基準値（2019年度）	目標値（2025年度）
くるくるバス利用者数（年間）	120,000人	130,000人
ふれんどバス利用者数（年間）	300,000人	320,000人
名鉄三河線利用者数（年間）	4,700,000人	5,000,000人
駅前広場整備箇所数	2箇所	3箇所

2) 碧南市の現況整理

(1) 人口

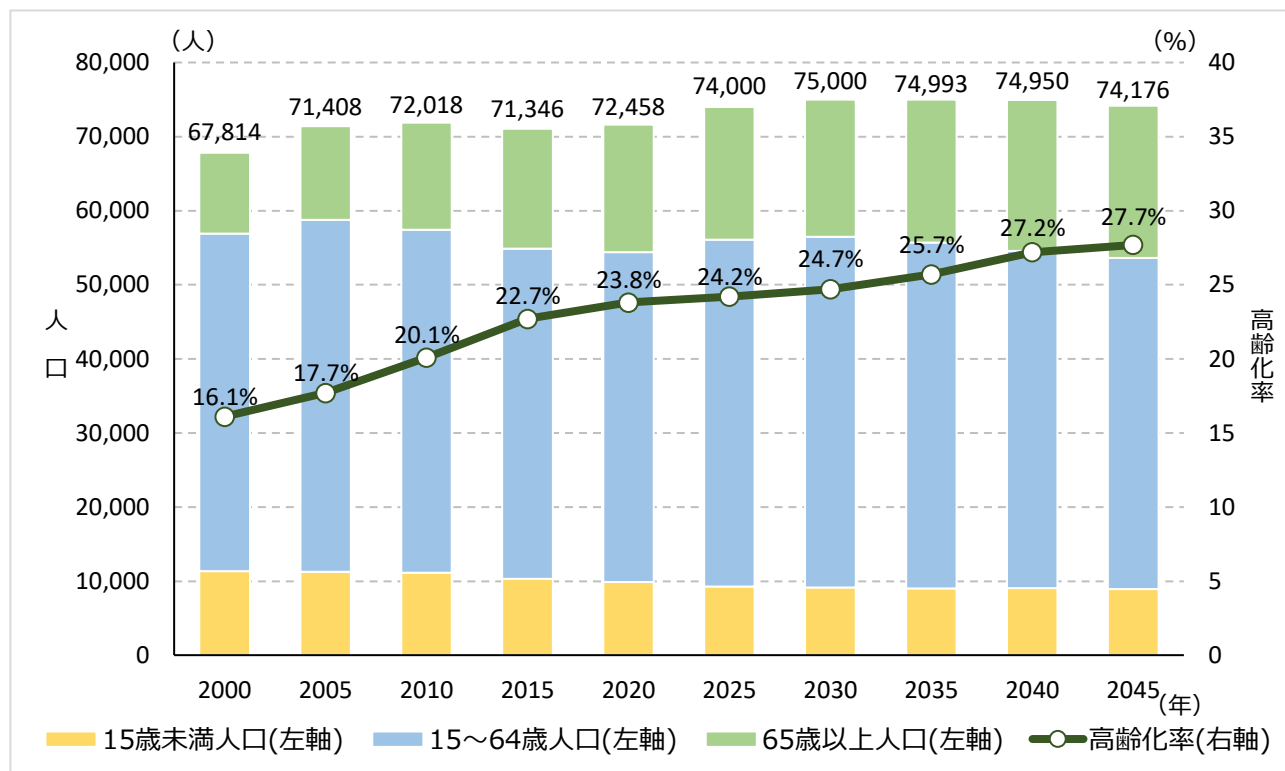
- 本市の人口は 2005 年以降おおむね横ばいで推移
- 高齢化率（65 歳以上人口比率）は 23.8%（2020 年時点）で、今後も上昇

図 3-2 人口推移（実績値・推計値）



（資料：2000 年～2020 年…国勢調査、2025 年～2045 年…碧南市人口ビジョン）

図 3-3 年齢 3 区分別人口割合の見通し



（資料：2000 年～2020 年…国勢調査、2025 年～2045 年…碧南市人口ビジョン）

(2) 通勤・通学流動

- 安城市をはじめとした碧海5市や西尾市との通勤流動が多い
- 通学流動のうち流出は名古屋市、流入は西尾市や高浜市が多い

図 3-4 通勤・通学流動図

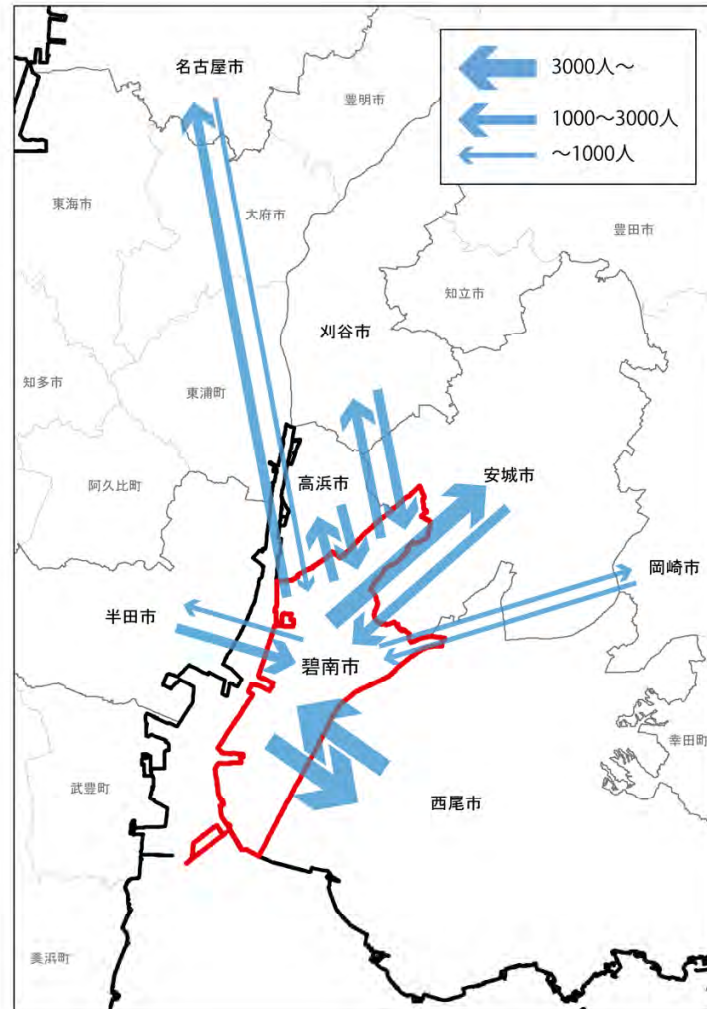


表 3-1 通勤・通学流動（青字数値：流入超過量、赤字数値：流出超過量）

	流 出			流入－流出	流 入			
	総数	就業者	通学者		総数	就業者	通学者	
名古屋市	1,491	1,078	413	-807	684	679	5	名古屋市
岡崎市	780	692	88	-86	694	693	1	岡崎市
半田市	951	932	19	355	1,306	1,283	23	半田市
刈谷市	2,322	2,050	272	-921	1,401	1,291	110	刈谷市
安城市	3,816	3,606	210	-1,907	1,909	1,837	72	安城市
西尾市	3,633	3,421	212	1,148	4,781	4,535	246	西尾市
高浜市	2,550	2,401	149	258	2,808	2,524	284	高浜市

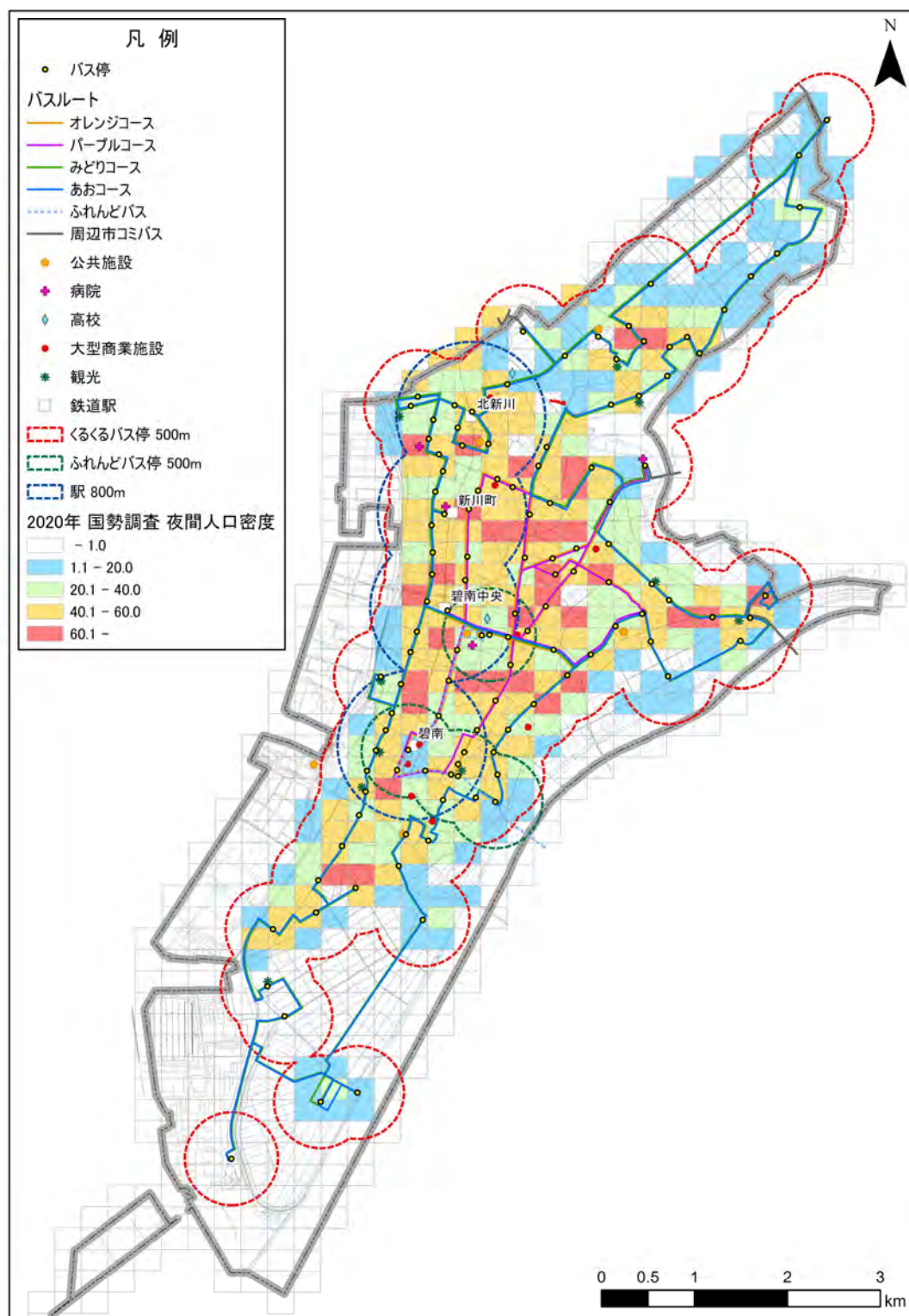
（資料：国勢調査）

(3) 公共交通網

- 公共交通利用圏域の人口カバー率は 99.8%
- 主要施設は公共交通利用圏域内に立地

鉄道駅から 800m、バス停から 500m を利用圏域として算出した公共交通利用圏域では、本市の人口の 99.8% をカバーしており、買物や病院など主要な施設についても圏域に内包しています。

図 3-5 公共交通の人口カバー圏域図



(資料：国勢調査、国土数値情報、大型小売店データ、愛知県観光レクリエーション統計、碧南市)

図 3-6 碧南市の公共交通路線網図



3) 公共交通や移動サービスの現状整理

(1) サービス水準の整理

①名鉄三河線

表 3-2 名鉄三河線の運行概要

路線名	運行区間	方面	運行本数（本／日）		碧南市内駅 発着時間帯	運賃
			平日	休日		
三河線	碧南―知立	碧南方面	71	70	6～24 時台	距離制
		知立方面	71	70	5～23 時台	
所要時間	碧南―知立：30 分～37 分（時間帯により変動）					

（資料：名古屋鉄道(2022 年 12 月現在)）

②ふれんどバス

表 3-3 ふれんどバスの運行概要

運行区間	方面	運行本数（便／日）				運行時間帯 （平日）	運賃
		平日		休日			
		往路	復路	往路	復路		
碧南高校 吉良高校	吉良高校―碧南駅	4	5	4	1	始発 5:24 終着 22:36	1 乗車 200 円 (小児半額)
	吉良吉田駅―碧南高校	6	10	4	4		
	吉良高校―碧南高校	7	2	1	1		
	吉良吉田駅―碧南駅	8	7	8	11		
所要時間	吉良高校―碧南高校：34～57 分（系統により変動）						

（資料：名鉄バス(2022 年 12 月現在)）

③くるくるバス

表 3-4 くるくるバスの運行概要

運行区間	コース	運行本数（便／日）	運行時間帯	運賃
		平日・休日		
市役所 市役所 (循環)	オレンジコース	8	始発 6:45 終着 18:31	無料
	パープルコース	4		
	みどりコース	5		
	あおコース	5		
所要時間	オレンジコース・パープルコース：1 時間 13 分～1 時間 16 分 みどりコース・あおコース：2 時間 32 分～2 時間 51 分（時間帯により変動）			

（資料：碧南市(2022 年 12 月現在)）

④タクシー

- 本市に営業所を設置しているタクシー事業者は 2 社で、合計 24 輦で営業
- 2022 年 3 月までは 3 社の事業者が市内に営業所を設けていた
- 営業時間は 6:00～25:00
- 碧南駅、碧南中央駅、北新川駅にタクシーのりばを設置

（資料：事業者ヒアリング（2022 年 11 月実施））

⑤近隣市コミュニティバス（くるくるバスと接続している路線）

- 安城市の「あんくるバス」は碧南市民病院、安城榎前でくるくるバスと接続
- 西尾市の「六万石くるりんバス」は鷲塚住宅でくるくるバスと接続
- 高浜市の「いきいき号」はサンビレッジ衣浦でくるくるバスと接続

表 3-5 安城市「あんくるバス」の運行概要

路線名	運行区間	運行本数（便／日）		運行時間帯	運賃
		平日・休日			
		往路	復路		
3 南部線	碧南市民病院— 安城更生病院	6	6	始発 7:05 終着 18:09	1 乗車 100 円
4 高棚線	高棚—安城更生病院	7	7	始発 7:00 終着 19:00	
所要時間	南部線：37 分～40 分／高棚線：19 分～41 分（系統・時間帯により変動）				

（資料：安城市(2022 年 12 月現在)）

表 3-6 西尾市「六万石くるりんバス」の運行概要

路線名	運行区間	運行本数（便／日）		運行時間帯	運賃
		平日・休日			
		往路	復路		
6 西野町線	西尾駅—碧南鷲塚	5 (碧南市内では 4)	5 (碧南市内では 4)	始発 7:30 終着 17:24	1 乗車 200 円
所要時間	西野町線：10～20 分（系統・時間帯により変動）				

（資料：西尾市(2022 年 12 月現在)）

表 3-7 高浜市「いきいき号」の運行概要

路線名	運行区間	運行本数（便／日）		運行時間帯 (平日)	運賃
		平日	土曜日		
港コース	市役所玄関前— 市役所玄関前（循環）	6	3	始発 8:23 終着 17:37	1 回 100 円
所要時間	港コース：平日 33 分、土曜日 32 分				

（資料：高浜市(2022 年 12 月現在)）

図 3-7 あんくるバス(南部線)



⑥移動を支援する福祉サービスや企業送迎バス等

【福祉有償運送】

2022 年 12 月現在、市内では 2 つの NP0 法人によって福祉有償運送*が実施されています。

【外出支援事業】

● 福祉タクシー料金助成事業

電車やバスなどの交通機関を利用することが困難な障害のある人が、通院などにタクシーを利用する場合、基本料金を助成する利用券を交付しています。

対象は、身体障害者手帳 1～3 級を持つ人・療育手帳 A・B 判定を持つ人・精神障害者保健福祉手帳 1・2 級を持つ人のいずれかに該当する人で、交付枚数は 1 か月あたり 2 枚です。

● 高齢者タクシー料金助成事業

外出に支援が必要な在宅の高齢者に、タクシーを利用する場合、1 枚につき 700 円まで助成する利用券を交付しています。

対象は、市民税非課税世帯または生活保護受給世帯・要支援認定者または要介護認定者のいずれにも該当する人で、交付枚数は 1 か月あたり 2 枚です。（福祉タクシー券対象者や自動車税・軽自動車税の減免を受けている場合を除きます）

● 高齢者外出支援サービス事業

一般の公共交通機関の利用が困難なひとり暮らしの高齢者等の送迎をするサービスを実施しています。（委託先は市内の NP0 法人）

事業内容は、65 歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯、またはこれに準じる人で、下肢・視覚・精神的障害のために一般の公共交通機関を利用することが困難な人を、週に 1 回まで福祉車両（車いす対応、リフト付き等）4 台を用いて送迎するものです。

● 車いす専用車両貸出事業

市内に住所を有する車いす使用者または市内の福祉団体、福祉施設に対して、福祉車両（車いす対応）を貸し出す事業を実施しています。（事業主体は碧南市社会福祉協議会）

1 回あたり 4 日以内の貸し出しで、30km までは 300 円、10km 増すごとに 100 円を加算することで借りられます。

*のついた用語は 75 ページに解説があります

【企業等送迎バス】

2023 年 2 月現在、碧南駅・碧南中央駅のロータリー周辺、北新川駅周辺から市内や半田市の衣浦港周辺に立地する工場・学校等へ向けて、送迎バスが運行されています。

表 3-8 鉄道駅周辺からの企業等送迎バス発着状況

駅	事業者数	台数
碧南駅	4	大型・中型バス : 3 台 小型・マイクロバス : 2 台 ワゴン車 : 1 台
碧南中央駅	5	大型・中型バス : 8 台 小型・マイクロバス : 5 台
新川町駅	0	—
北新川駅	2	大型・中型バス : 1 台 小型・マイクロバス : 1 台

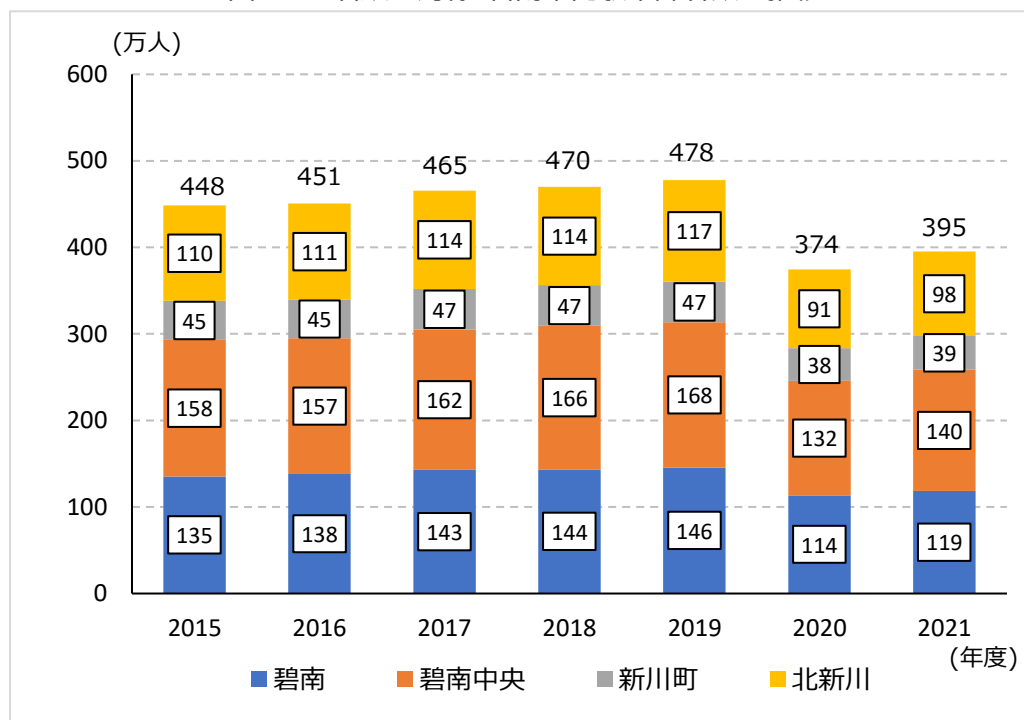
(資料：実態調査(2023 年 2 月実施))

(2) 利用実態の整理

①名鉄三河線

- 新型コロナウイルス感染症拡大前の 2019 年度までは増加傾向
- 2020 年度には新型コロナウイルス感染症の影響により約 100 万人の減少があったが、2021 年度は増加に転じる

図 3-8 名鉄三河線 碧南市内駅乗降者数の推移

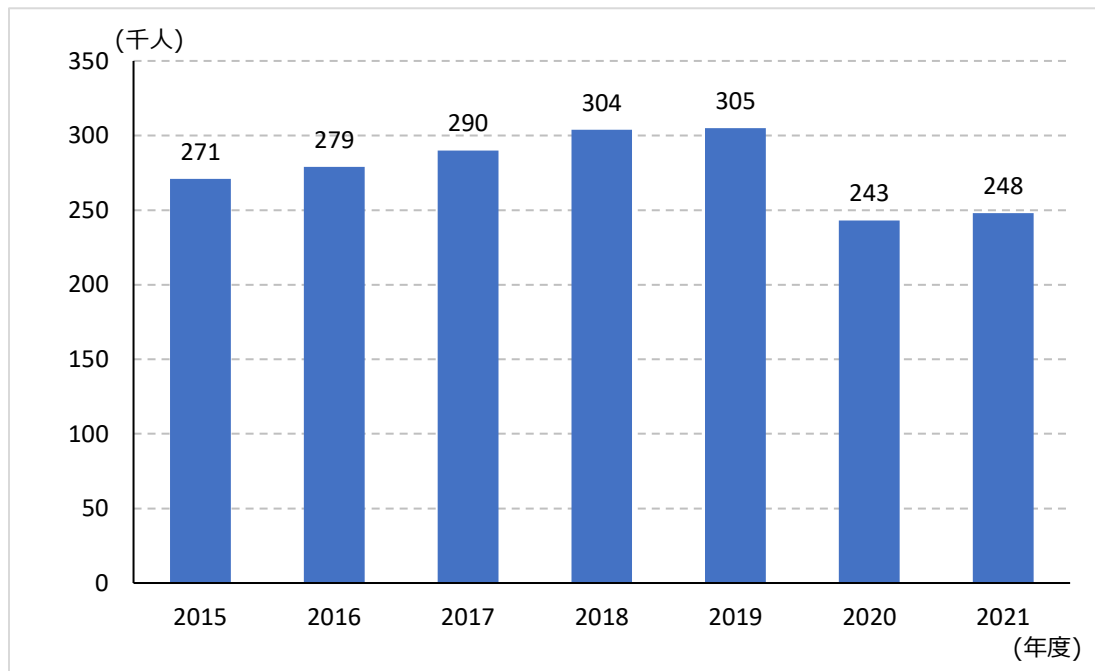


(資料：名古屋鉄道)

②ふれんどバス

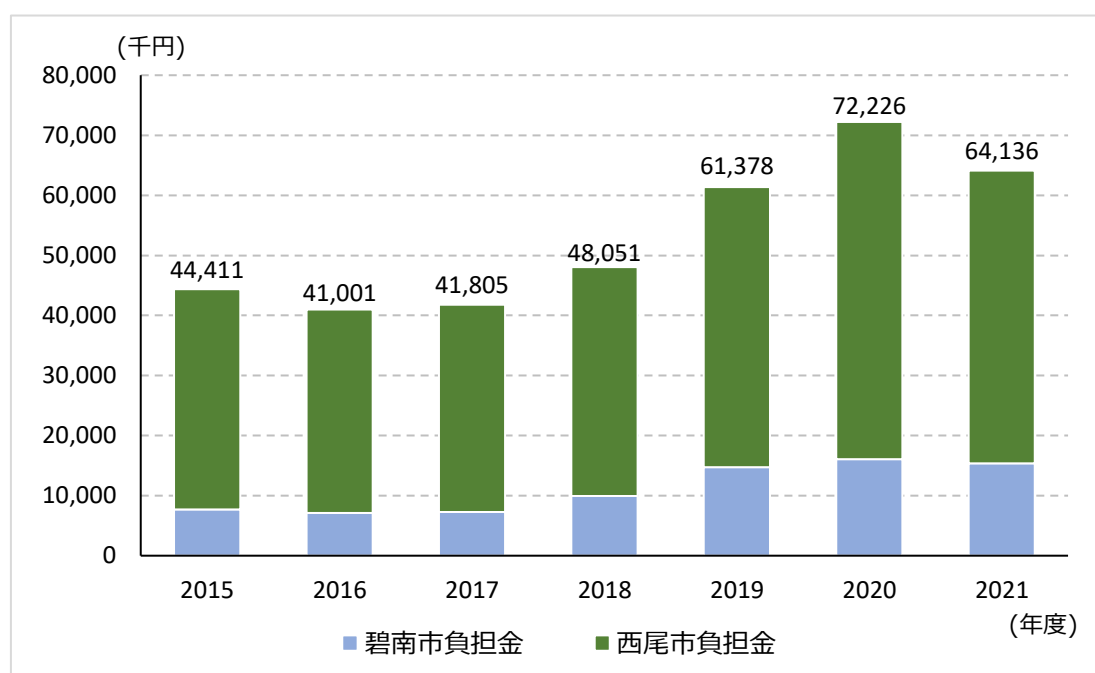
- 新型コロナウイルス感染症拡大前の 2019 年度までは増加傾向
- 2020 年度には新型コロナウイルス感染症の影響により約 2 割の減少したものの、2021 年度は増加に転じる
- 沿線市町の運行補助金は 2019 年に碧南高校へ延伸したことや、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者・運賃収入が減少したことにより増加

図 3-9 ふれんどバス 利用者数の推移



※ふれんどバスの利用者数はバス年度（10月～翌年9月）で集計
（資料：名鉄バス）

図 3-10 ふれんどバス 沿線市町運行補助金の推移

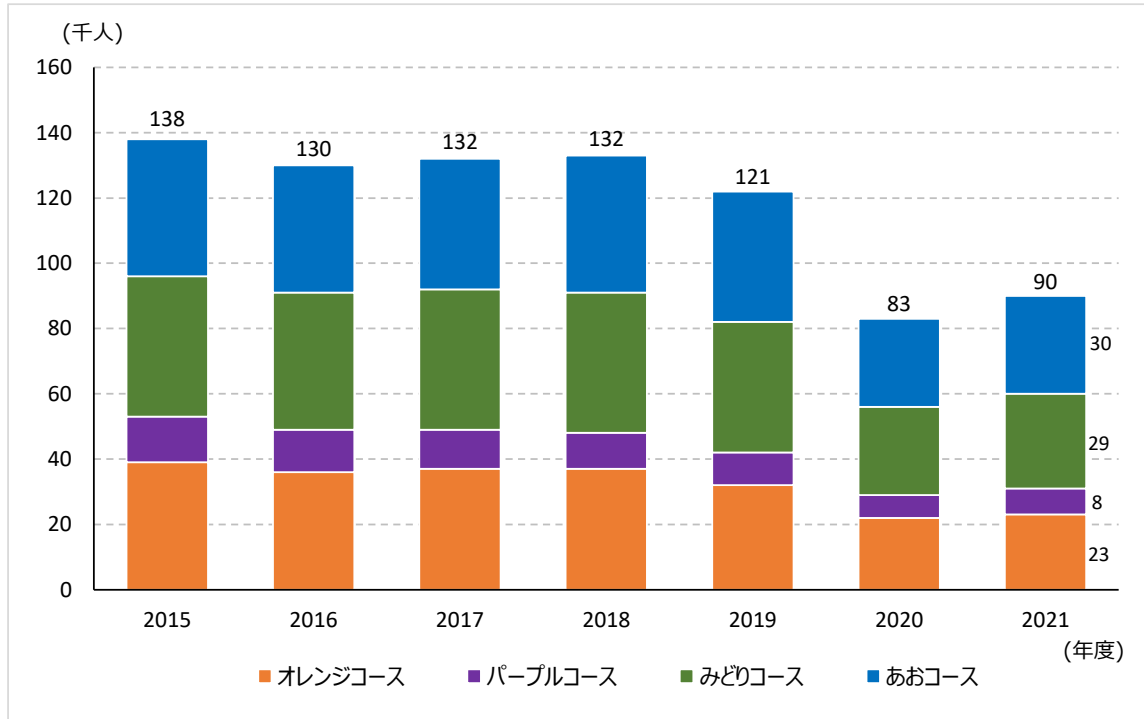


（資料：碧南市）

③くるくるバス

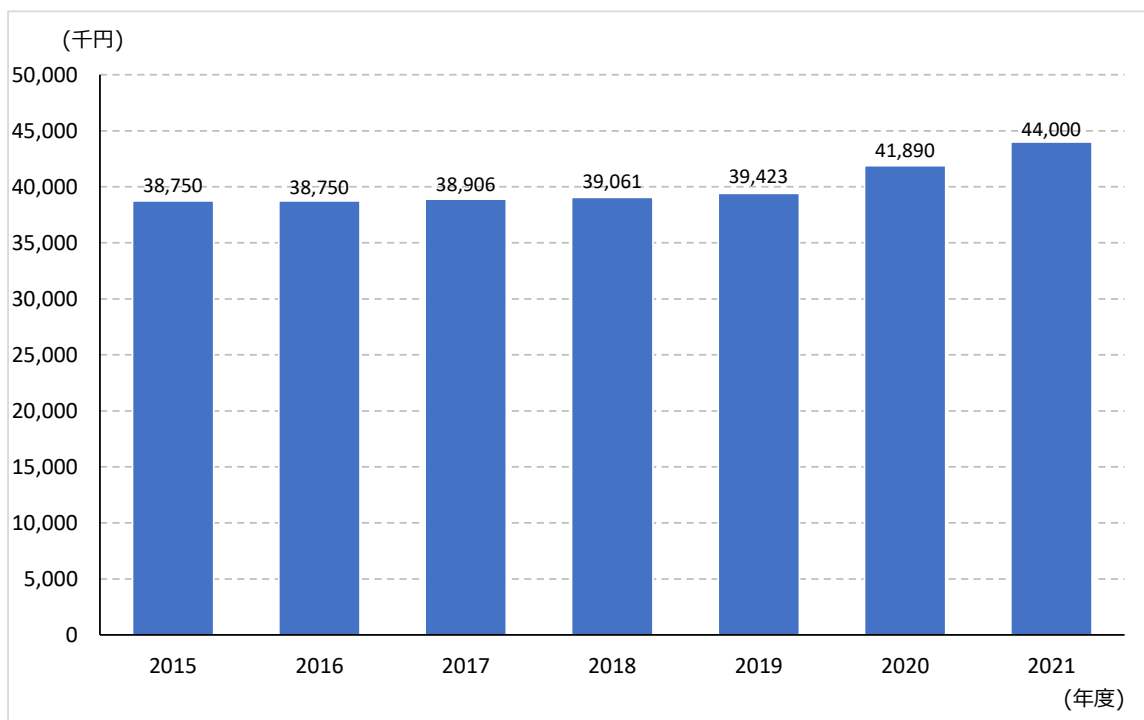
- 2013年度からは13万人台で横ばい傾向だったが、2019年度2月以降の新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少
- 2020年度には新型コロナウイルス感染症の影響により10万人を下回ったが、2021年度は増加に転じる
- 運行委託費は人件費の上昇などにより近年増加傾向

図3-11 くるくるバス 利用者数の推移



(資料：碧南市)

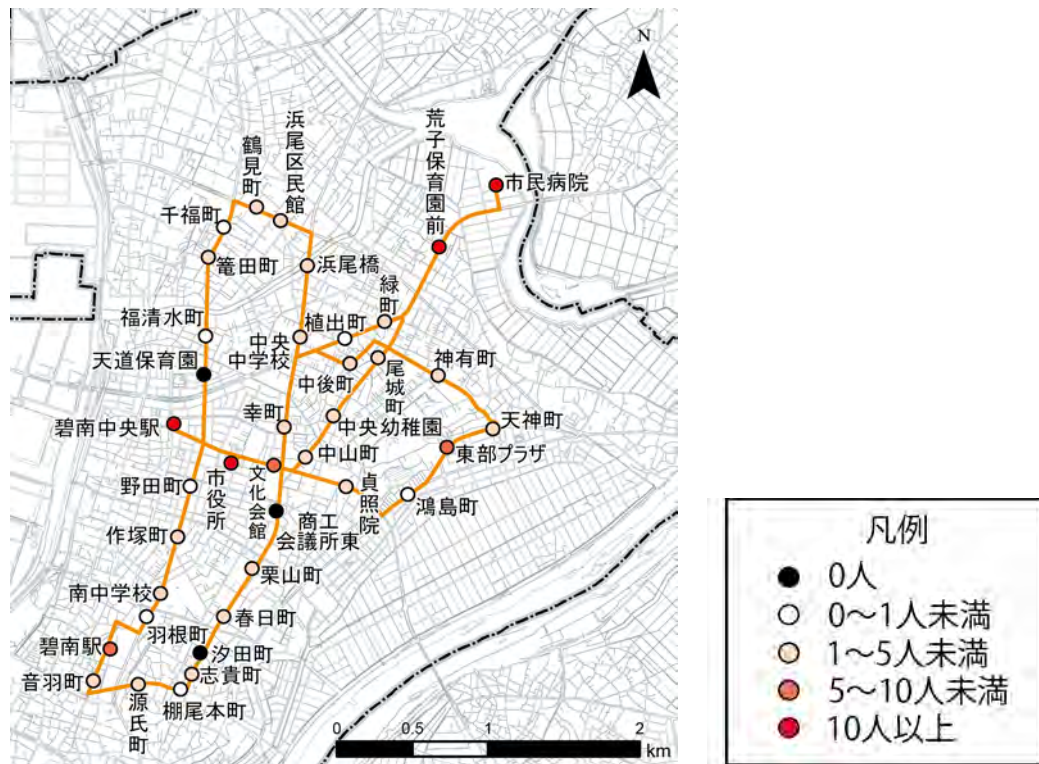
図3-12 くるくるバス 運行委託費の推移



(資料：碧南市)

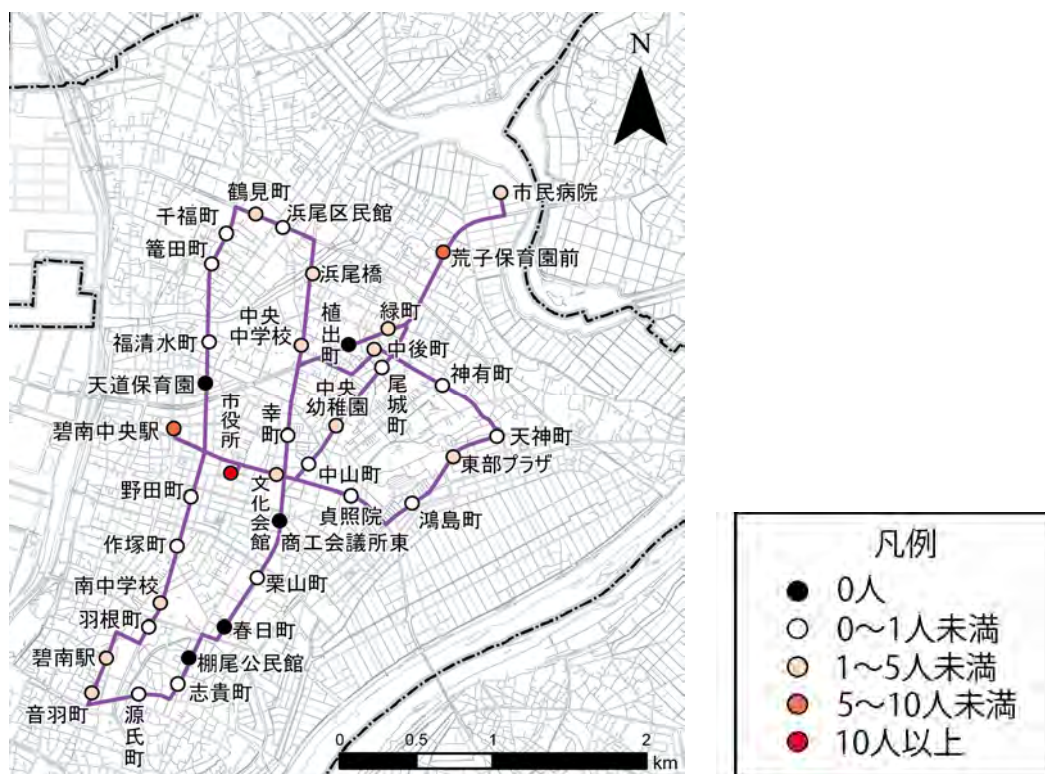
- 7日間の調査における1日あたりのバス停別利用者数は、市役所や碧南中央駅、市民病院、東部プラザ、サンビレッジ衣浦等の公共系施設のバス停や、市営・県営住宅周辺のバス停で利用が多い
- 7日間の調査期間中に乗車がないバス停も点在している

図 3-12 1日あたりのバス停利用者数（くるくるバス オレンジコース）



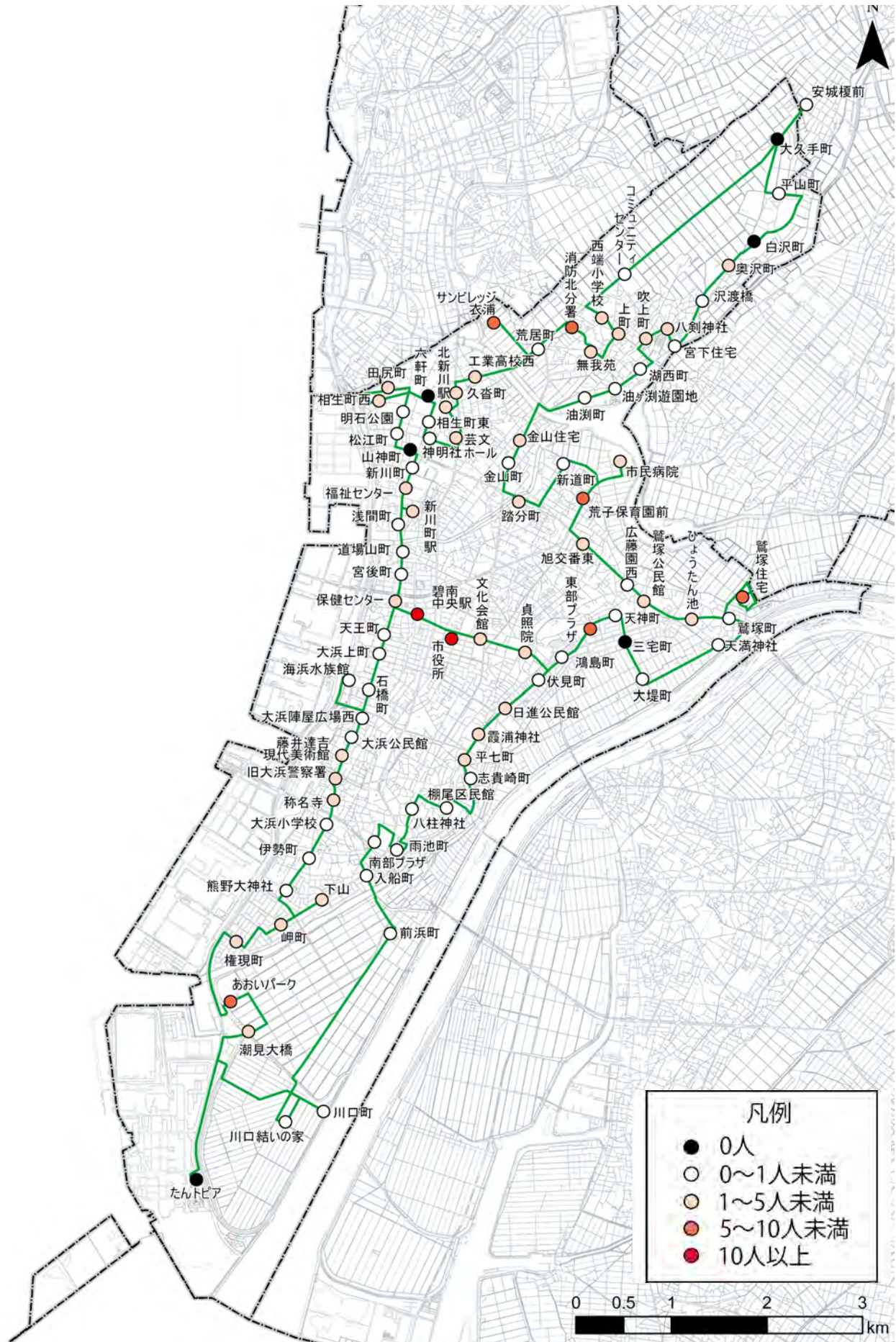
(資料：碧南市(2022 年度乗降調査))

図 3-13 1日あたりのバス停利用者数（くるくるバス パープルコース）



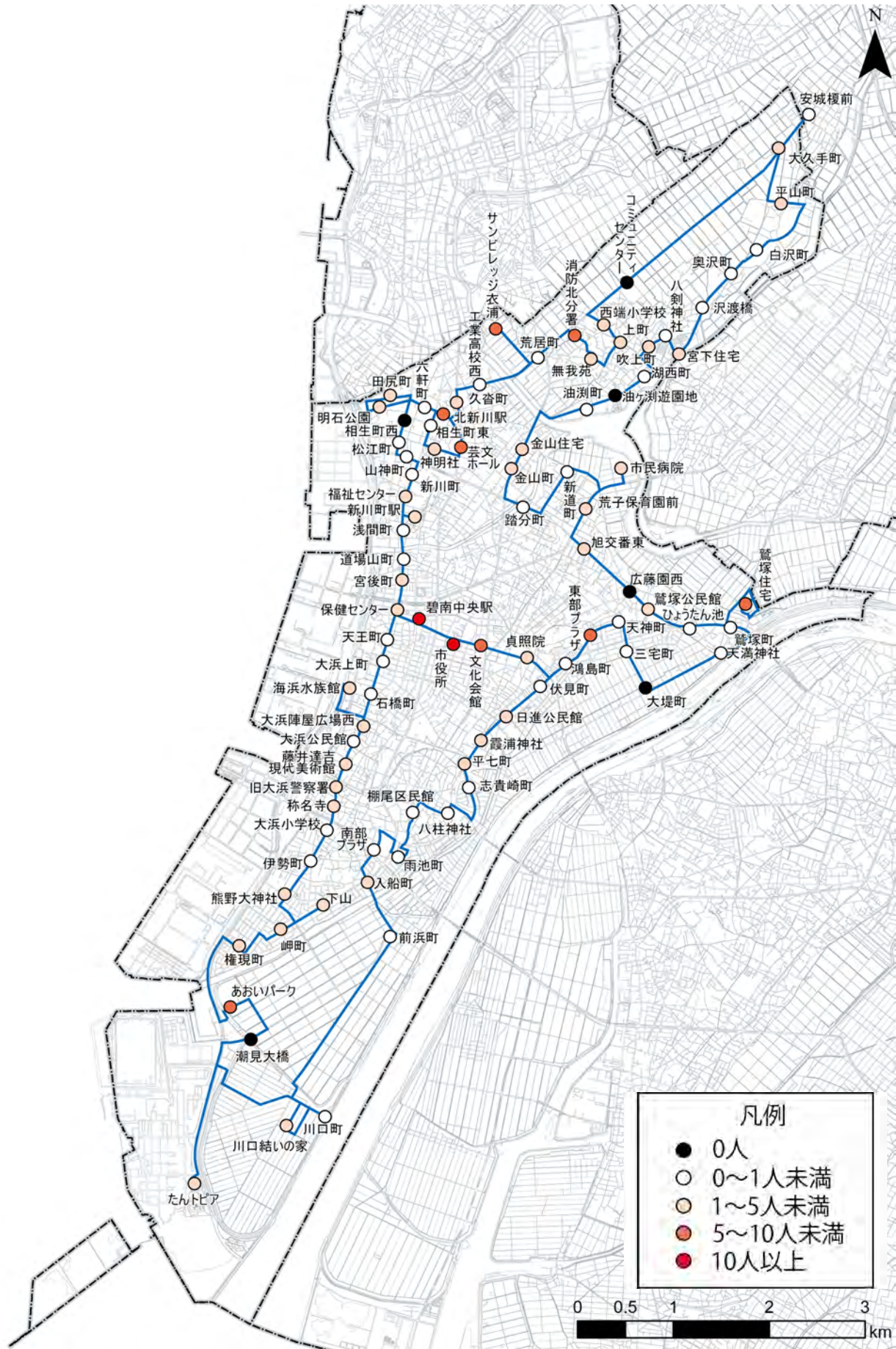
(資料：碧南市(2022 年度乗降調査))

図 3-14 1日あたりのバス停利用者数（くるくるバス みどりコース）



(資料：碧南市(2022 年度乗降調査))

図 3-15 1日あたりのバス停利用者数（くるくるバス あおコース）

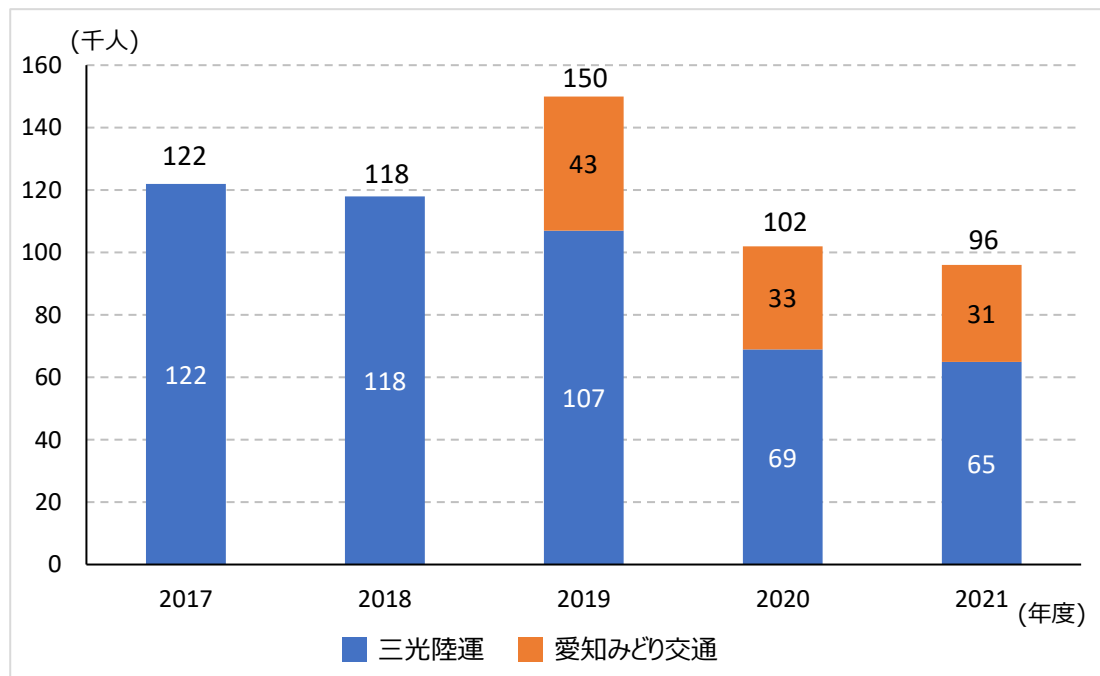


（資料：碧南市(2022 年度乗降調査)）

④タクシー

- 市内に営業所を開設しているタクシー事業者の利用者数は、2017 年度から減少傾向が続いていたが、2019 年度 2 月以降の新型コロナウイルス感染症の影響により減少幅が拡大

図 3-16 タクシー 利用者数の推移



(資料：三光陸運㈱、愛知みどり交通㈱)

※2017・2018 年度は三光陸運㈱のみの集計、2019 年度より 2 社の合計値

⑤移動を支援する福祉サービス

【福祉有償運送】

	2019年度	2020年度	2021年度
延べ輸送回数	107回	116回	104回
延べ輸送距離	485.5km	462.1km	413.9km
延べ会員数	10人	10人	10人
合計運転者数	29人	29人	25人
合計車両台数	25台	26台	22台

【外出支援事業】

- 福祉タクシー料金助成事業（2020 年度）

利用者	タクシー券交付枚数	利用枚数
509人	12,377枚	4,827枚

- 高齢者外出支援サービス事業（2020 年度）

延べ利用人数
37人

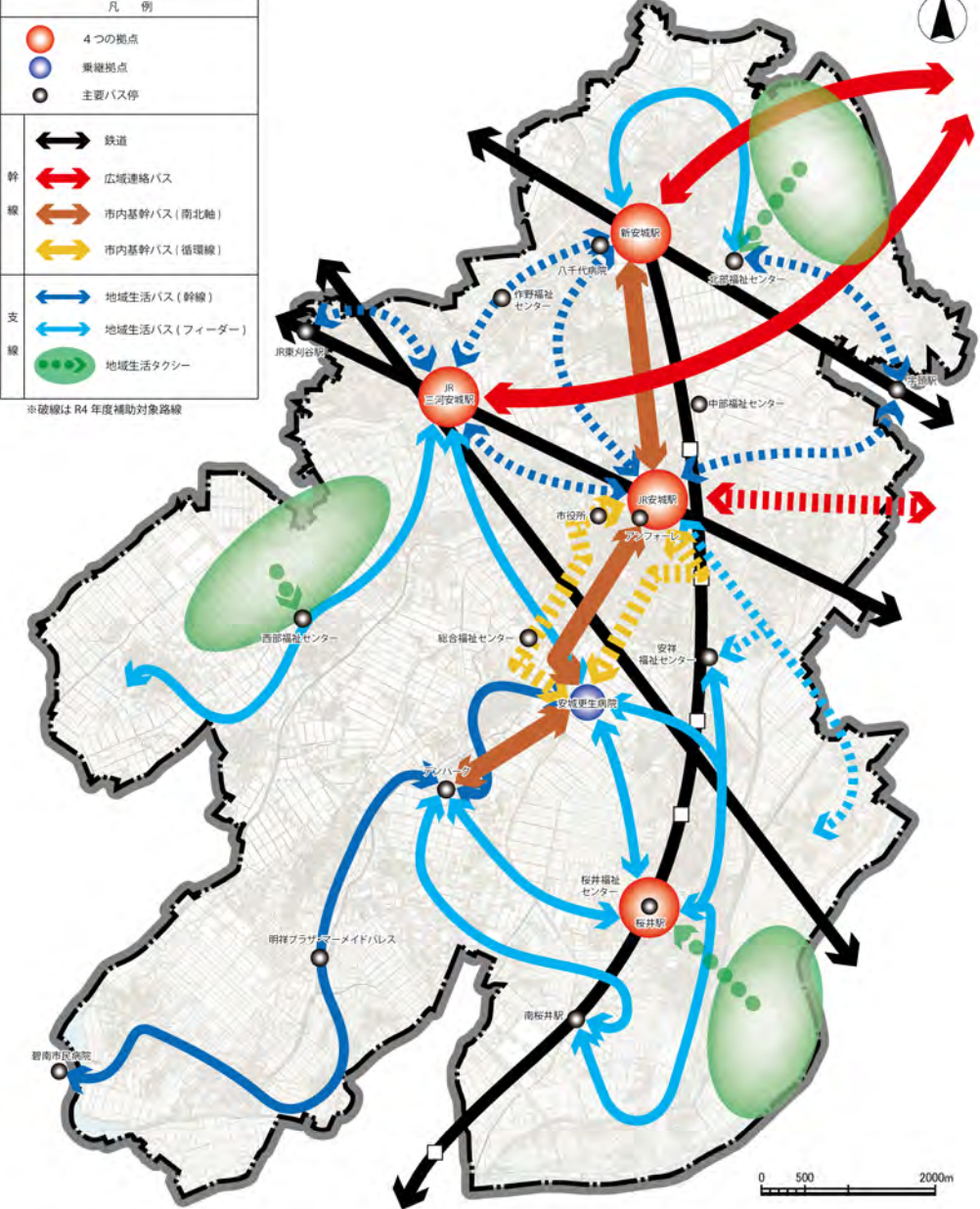
- 車いす専用車両貸出事業（2020 年度）

延べ利用回数	延べ利用人数
339回	783人

（資料：令和3年度第1回碧南市福祉有償運送運営協議会 資料）

4) 周辺市町の公共交通計画・体系の整理

①安城市地域公共交通計画

公共交通が 目指す姿	日常生活になじむ公共交通をみんなが利用することによって、 気軽におでかけできるまち
公共交通体系の イメージ	 凡 例 4つの拠点 - 乗継拠点 - 主要バス停 幹 線 - 鉄道 - 広域連絡バス - 市内基幹バス(南北軸) - 市内基幹バス(循環線) 支 線 - 地域生活バス(幹線) - 地域生活バス(フィーダー) - 地域生活タクシー ※破線はR4年度補助対象路線
広域公共交通 ネットワークに 関する記載	● 鉄道、広域連絡バス、市内基幹バス、地域生活バス、地域生活タクシー、一般タクシー、レンタサイクルが有する機能および地域公共交通の役割に応じた運行を実施するとともに、公共交通相互の連携を強化することで安城市内の移動ニーズに対応するとともに、近隣自治体との連携を図ります。 ● 名鉄バス岡崎・安城線は、広域的な交通基幹軸としての機能を担っていることから、市域をまたぐ現行の路線及びサービスを維持するため、交通事業者や岡崎市との協議を継続して実施しながら、利用者獲得に向けた更なる利用促進に取り組みます。

②知立市地域公共交通網形成計画

交通将来像

「安らぎ・にぎわう 住みよさを誇るまち 知立」

公共交通体系のイメージ

- 公共交通軸（鉄道）は、名古屋市・豊橋市方面や豊田市・刈谷市方面を結ぶ都市間ニーズに対応し、交通事業者が主体となって運行します。
- 名鉄名古屋本線及び名鉄三河線を公共交通軸（鉄道）とした公共交通ネットワークを形成します。

③西尾市地域公共交通計画

地域公共交通 体系の将来像	公共交通が市民の暮らしと交流を支えるまち
公共交通体系の イメージ	※名鉄東部交通バス、ふれんどバスは、地域間幹線系統の補助路線
広域公共交通 ネットワークに 関する記載	● 名鉄西尾・蒲郡線の存続 ● ふれんどバスの維持・利便性向上 ● 市外のバスネットワークとの接続を強化し、ネットワークの充実を図る

第4章 各種二一ズ調査・利用実態調査の分析

1) 各種調査の概要

(1) 市民アンケート調査	
対 象	16 歳以上の市民（市内在住）2,000 名
期 間	配布：2022 年 10 月 13 日（木）～ 返送締切：2022 年 10 月 27 日（木）
方 法	郵送配布、郵送・Web 回答併用方式
回収数	郵送：864 票、Web：105 票、回収率：48.5%
(2) バス利用者アンケート調査	
対 象	・ふれんどバス（抽出便（1 時間に 1 便以上の実施）） ・くるくるバス（全 4 コースの全便実施）
期 間	配布：平日 2022 年 10 月 18 日（火）、休日 2022 年 10 月 23 日（日） 返送締切：2022 年 10 月 31 日（月）
方 法	バスの利用者へ手渡し配布（いずれかの調査日で 1 人 1 票）、郵送回収
回収数	・ふれんどバス配布数：平日 329 票 休日 128 票 合計 457 票 回収数：平日 48 票 休日 14 票 合計 69 票（受取日不明を含む） 回収率：平日 14.6% 休日 10.9% 合計 15.1% ・くるくるバス配布数：平日 124 票 休日 85 票 合計 209 票 回収数：平日 43 票 休日 19 票 合計 78 票（受取日不明を含む） 回収率：平日 34.7% 休日 22.4% 合計 37.3%
(3) バス乗降調査	
対 象	・ふれんどバス（抽出便（1 時間に 1 便以上の実施））の全利用者 ・くるくるバス（全 4 コースの全便実施）の全利用者
期 間	②バス利用者アンケートと同時に実施
方 法	バスの利用者乗車時に手渡し配布（乗車ごとに 1 人 1 票）、降車時に回収
回収数	ふれんどバス：平日 416 票 休日 175 票 合計 591 票 くるくるバス：平日 226 票 休日 180 票 合計 406 票
(4) 交通事業者ヒアリング調査	
対 象	市内で公共交通を運行する鉄道・バス・タクシー事業者
期 間	2022 年 11 月 24 日（木）、25 日（金）、29 日（火）
方 法	質問シートを送付したのち、面会してヒアリング
(5) 地区ミーティング	
対 象	市内で活動する団体の代表・役員、地区代表（意見を集約）
期 間	2022 年 10 月 6 日（木）中央地区、11 日（火）新川地区、17 日（月）棚尾地区、 18 日（火）旭地区、28 日（金）西端地区、11 月 1 日（火）大浜地区
方 法	事前質問制、市三役・各部長が出席し質問へ回答

2) 調査結果

※各図中で枠取りは説明文の根拠部分を示しています

(1) 市民アンケート調査

① 自家用車の保有状況と普段の外出で利用する移動手段

「個人で利用できる自家用車を所有している」人の割合は71.8%となっており、「家族共用で利用できる自家用車を所有している」人を含めると89.4%となります。

20歳代以下や70歳以上では「個人で利用できる自家用車を所有している」人の割合が、碧南市全体を下回っています。

また、自分で運転する自家用車を普段の外出で利用する人の割合は73.8%です。

図 4-1 自家用車の保有状況

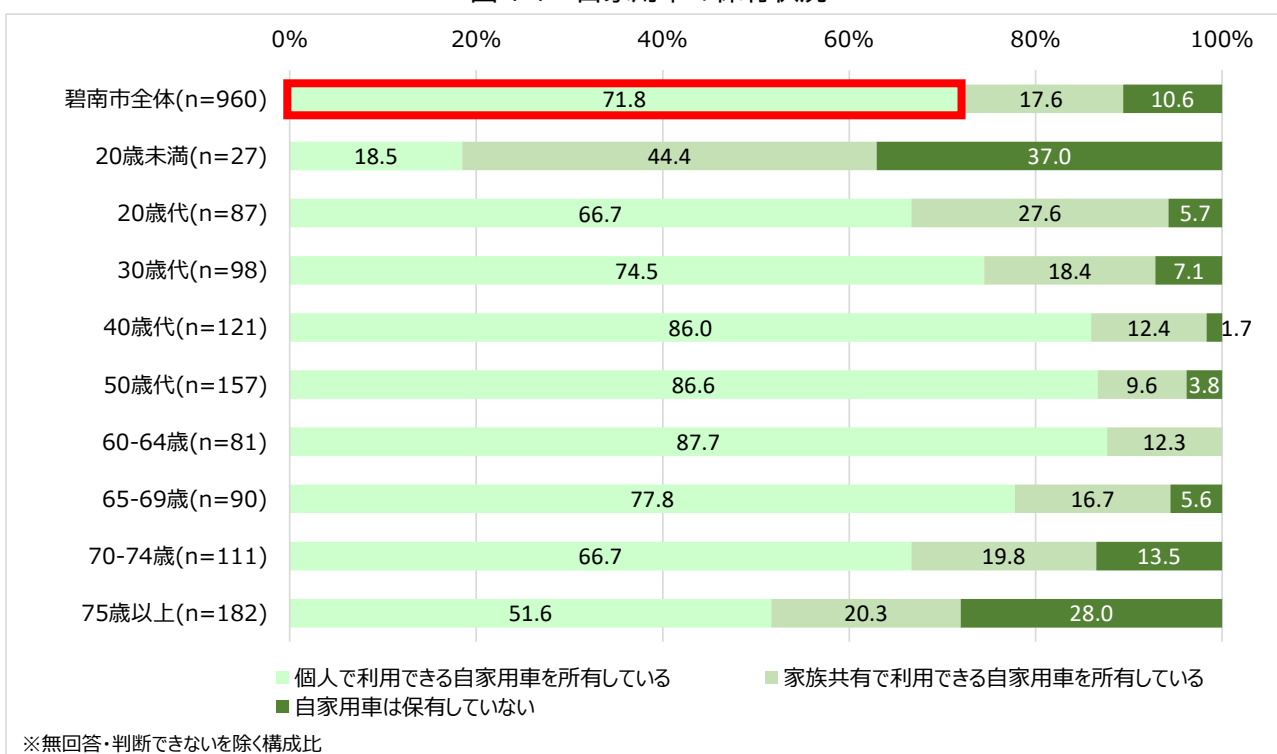
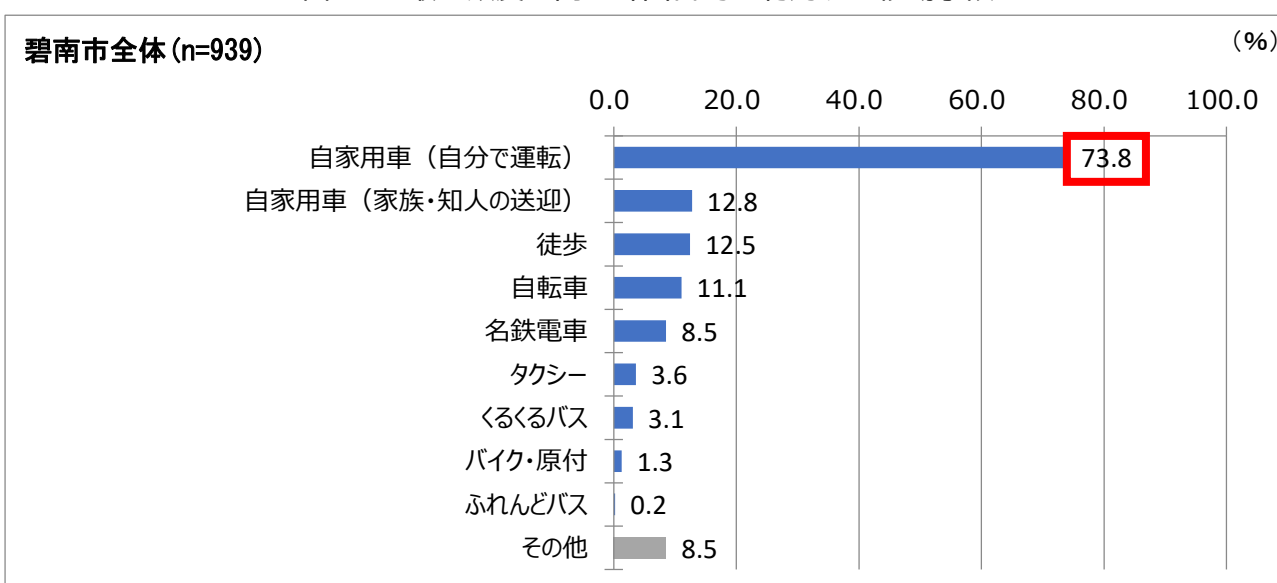


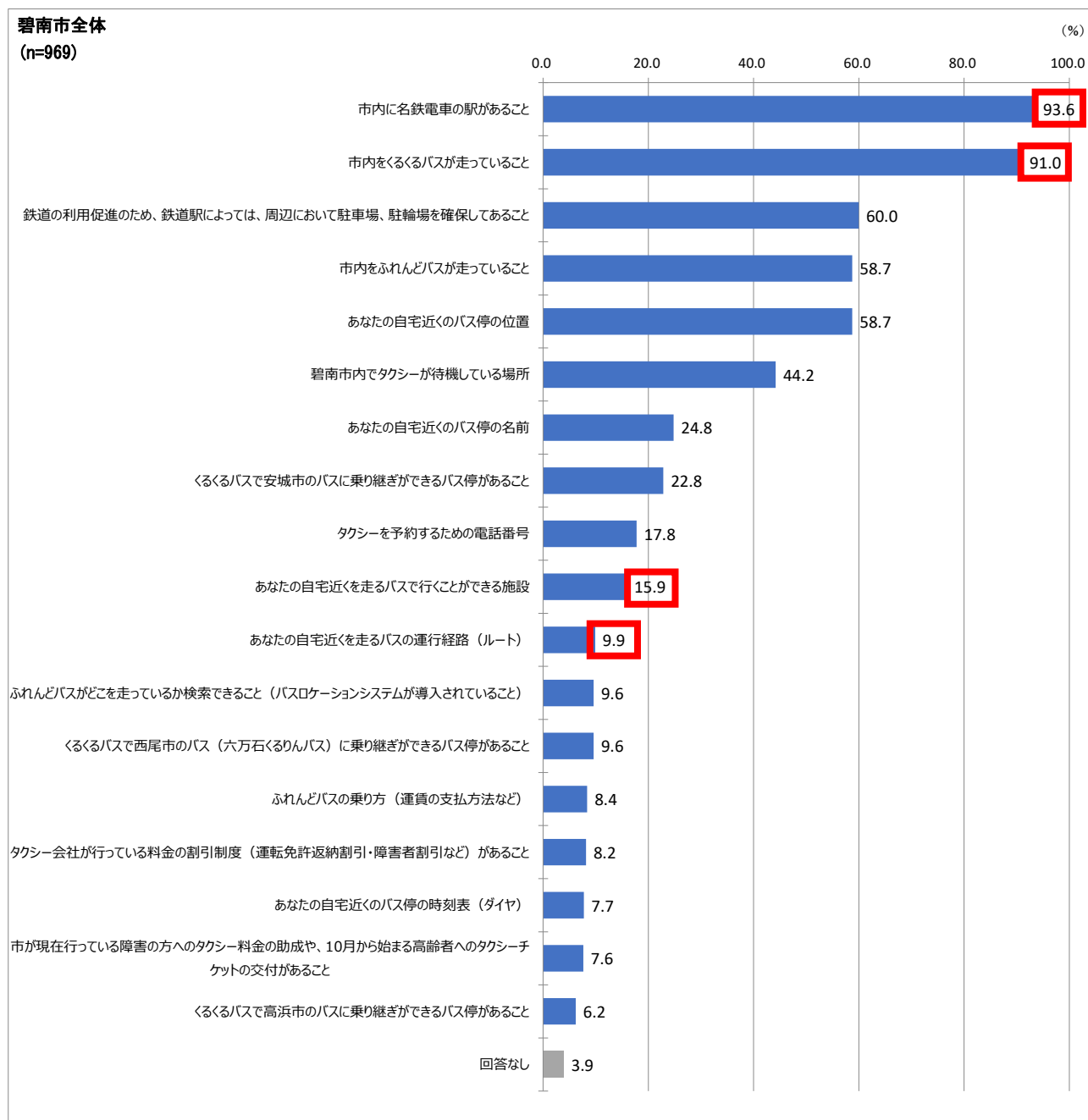
図 4-2 最も頻度の高い外出目的で利用する移動手段



②公共交通の認知度

名鉄電車の駅があることの認知度は93.6%、くるくるバスの運行に対する認知度は91.0%と高い一方で、バスサービスの内容である、自宅近くを走るバスで行くことができる施設の認知度は15.9%、自宅近くを走るバスの運行経路は9.9%となっています。

図 4-3 公共交通についての認知度



③公共交通の満足度と期待する役割

各公共交通を年に数日以上利用している人の満足度は、どの公共交通も満足度（満足＋やや満足）が不満割合（不満＋やや不満）を上回っています。

また、名鉄電車やふれんどバスでは「通勤・通学するための交通手段」、くるくるバスやタクシーでは「自家用車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段」として期待されています。

図 4-4 公共交通の満足度

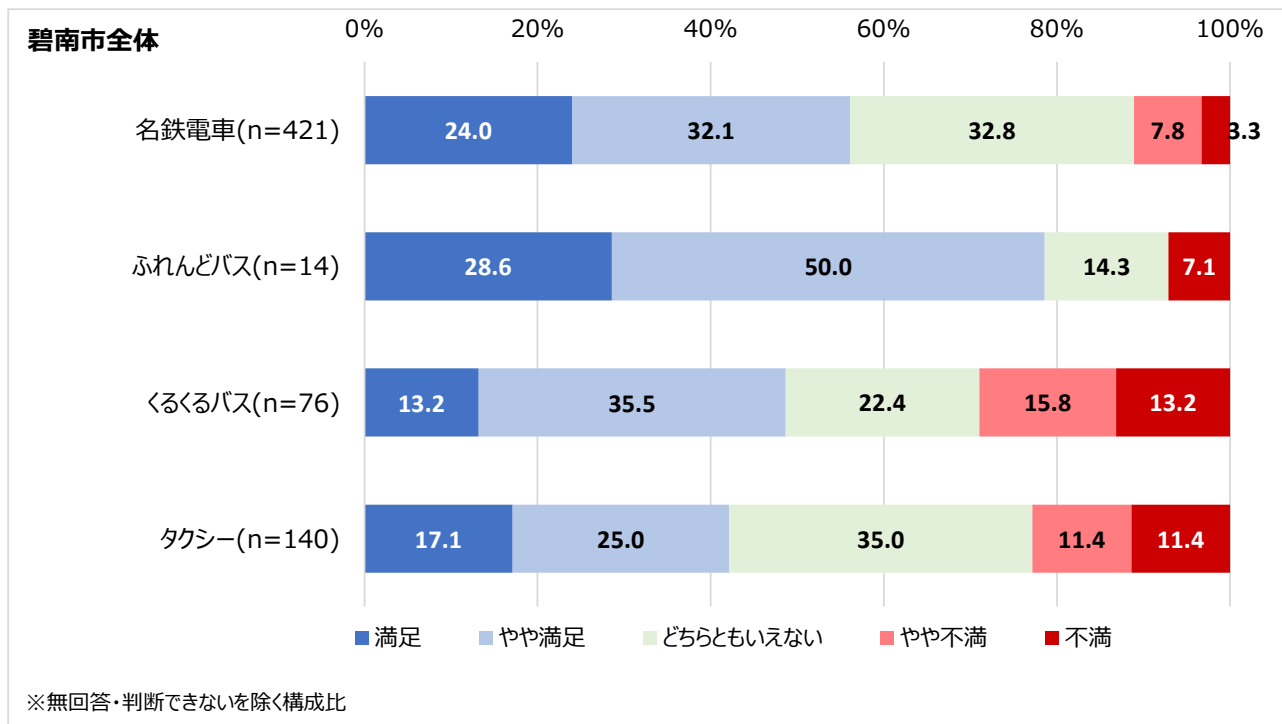
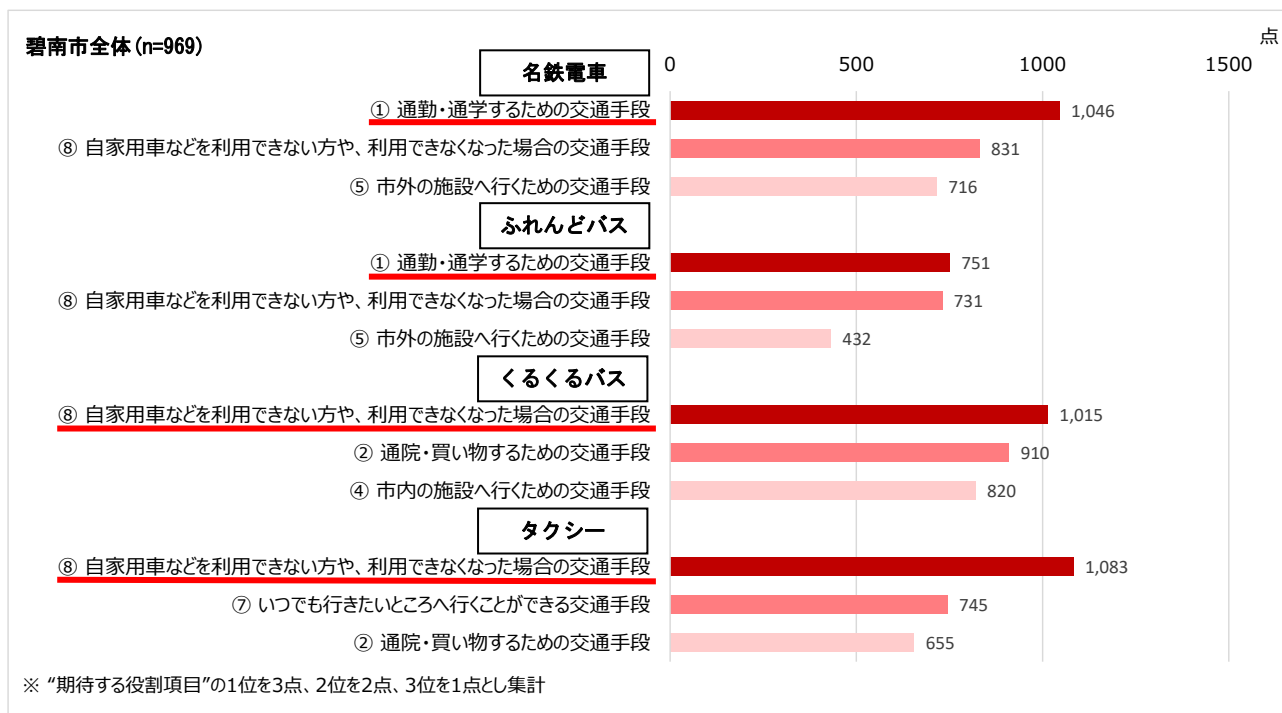


図 4-5 公共交通に期待する役割

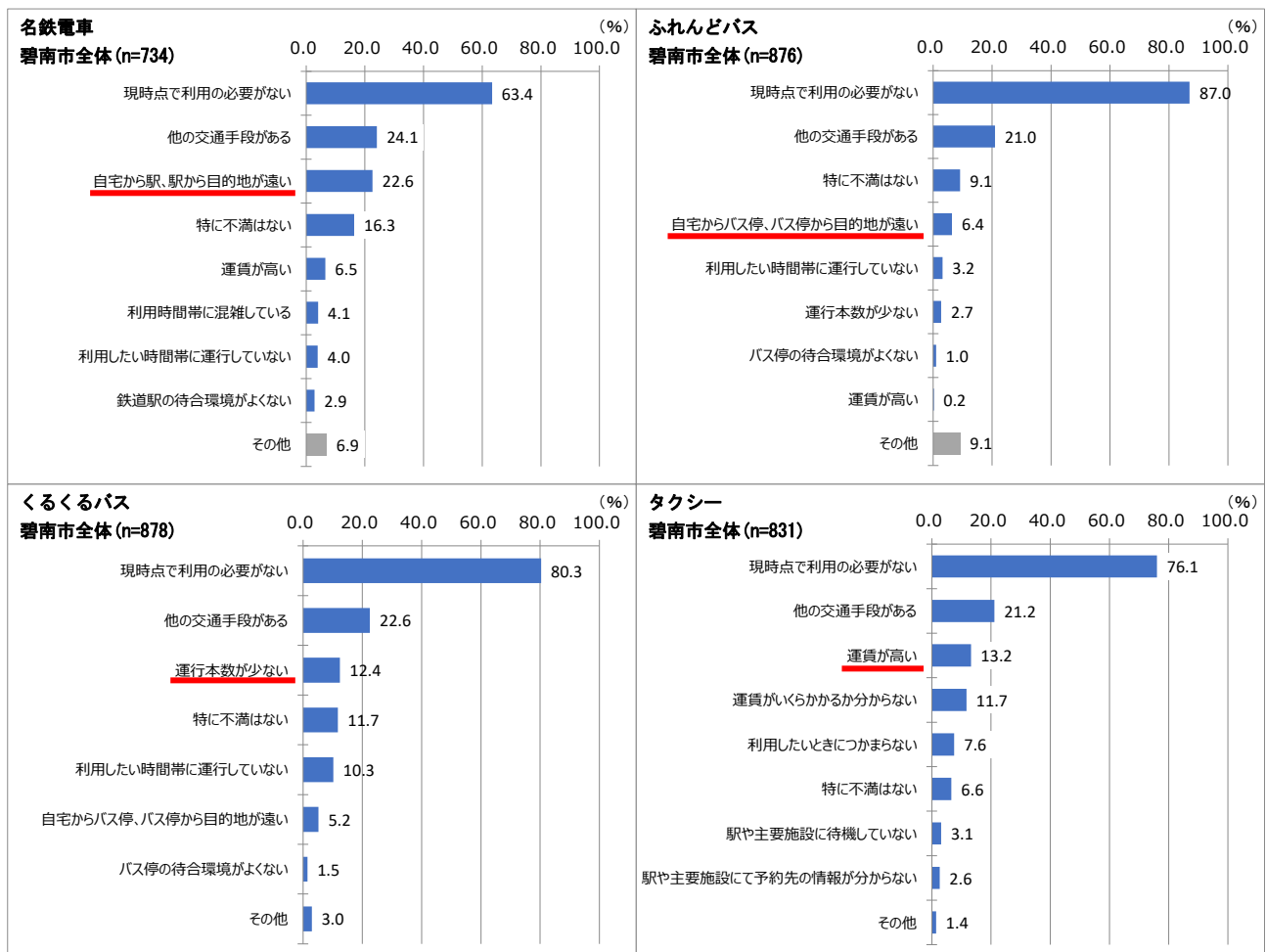


④公共交通を利用しない理由や不満に思う理由

各公共交通いずれも「現時点で利用の必要がない」が最も割合が高くなっています。

「現時点で利用の必要がない」や、「他の交通手段がある」、「特に不満はない」を除いた場合、名鉄電車では「自宅から駅、駅から目的地が遠い」、ふれんどバスでは「自宅からバス停、バス停から目的地が遠い」、くるくるバスでは「運行本数が少ない」、タクシーでは「運賃が高い」が上位となっています。

図 4-6 公共交通を利用しない理由・不満に思う理由

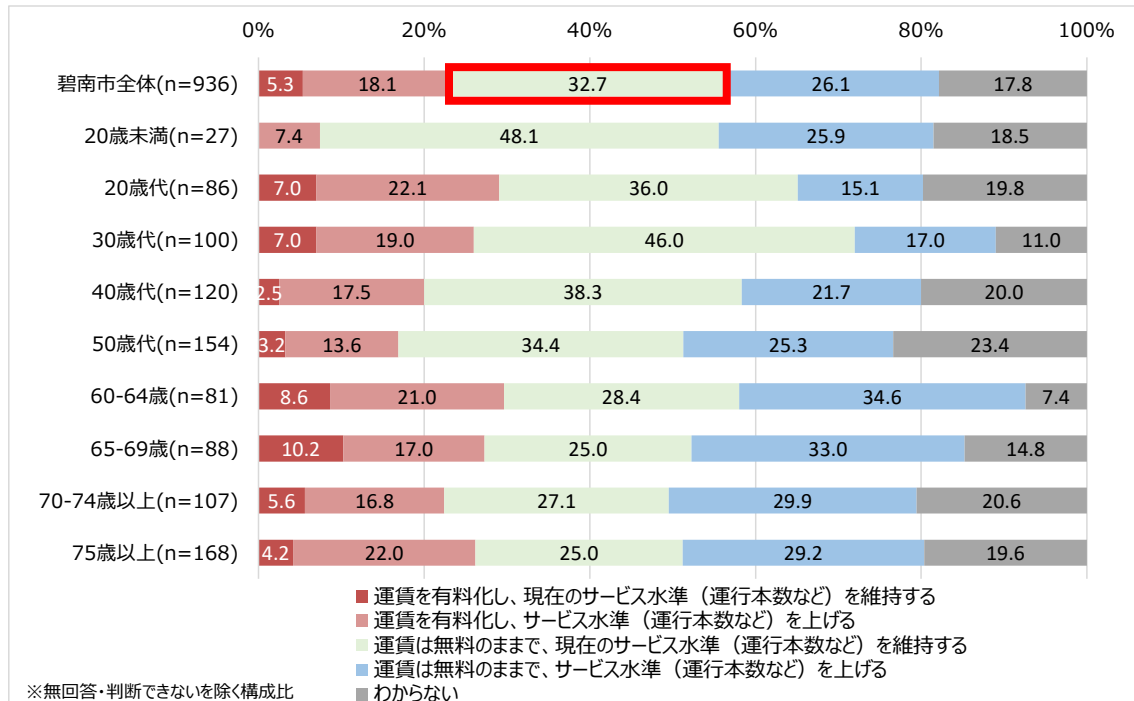


⑤くるくるバスの今後の運行について

単一の回答項目では「運賃は無料のままで、現在のサービス水準（運行本数など）を維持する」が32.7%で最も多い割合を占めています。

この選択肢の割合を年代別にみると、年代が高くなるほど割合が低くなる傾向があります。

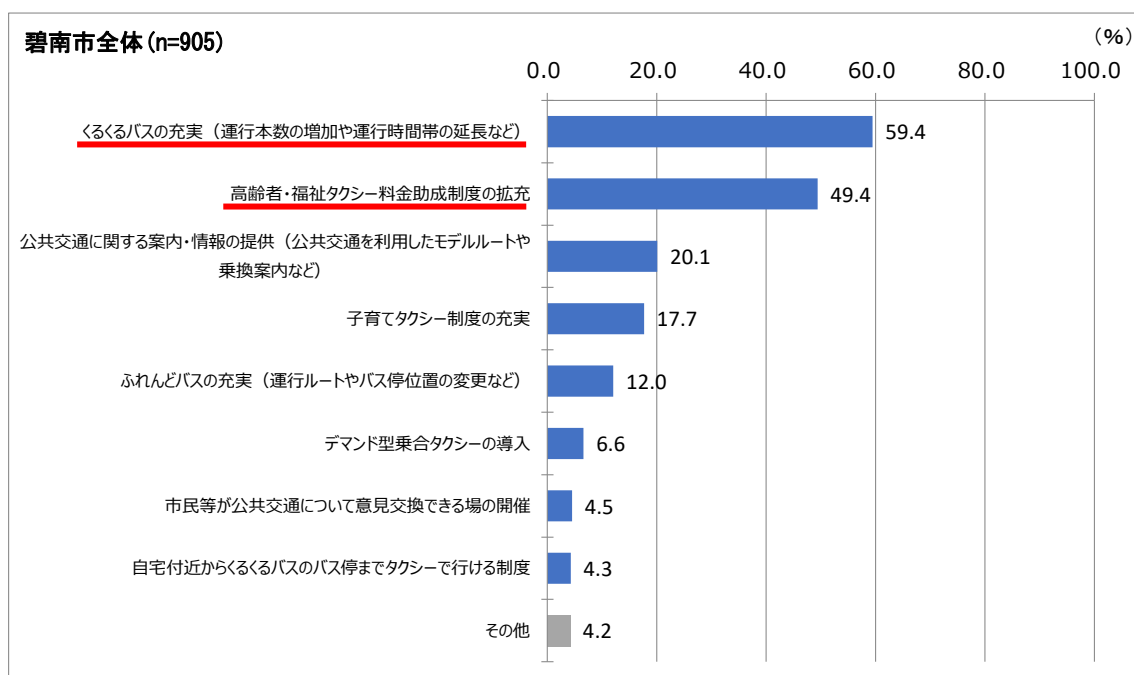
図 4-7 くるくるバスの今後の運行について（市民）



⑥碧南市の公共交通を充実させるための取組みについて

くるくるバスの充実やタクシー料金助成の拡充など、現状のサービスや制度を充実させる回答が多くなっています。

図 4-8 碧南市の公共交通を充実させるための取組みについて

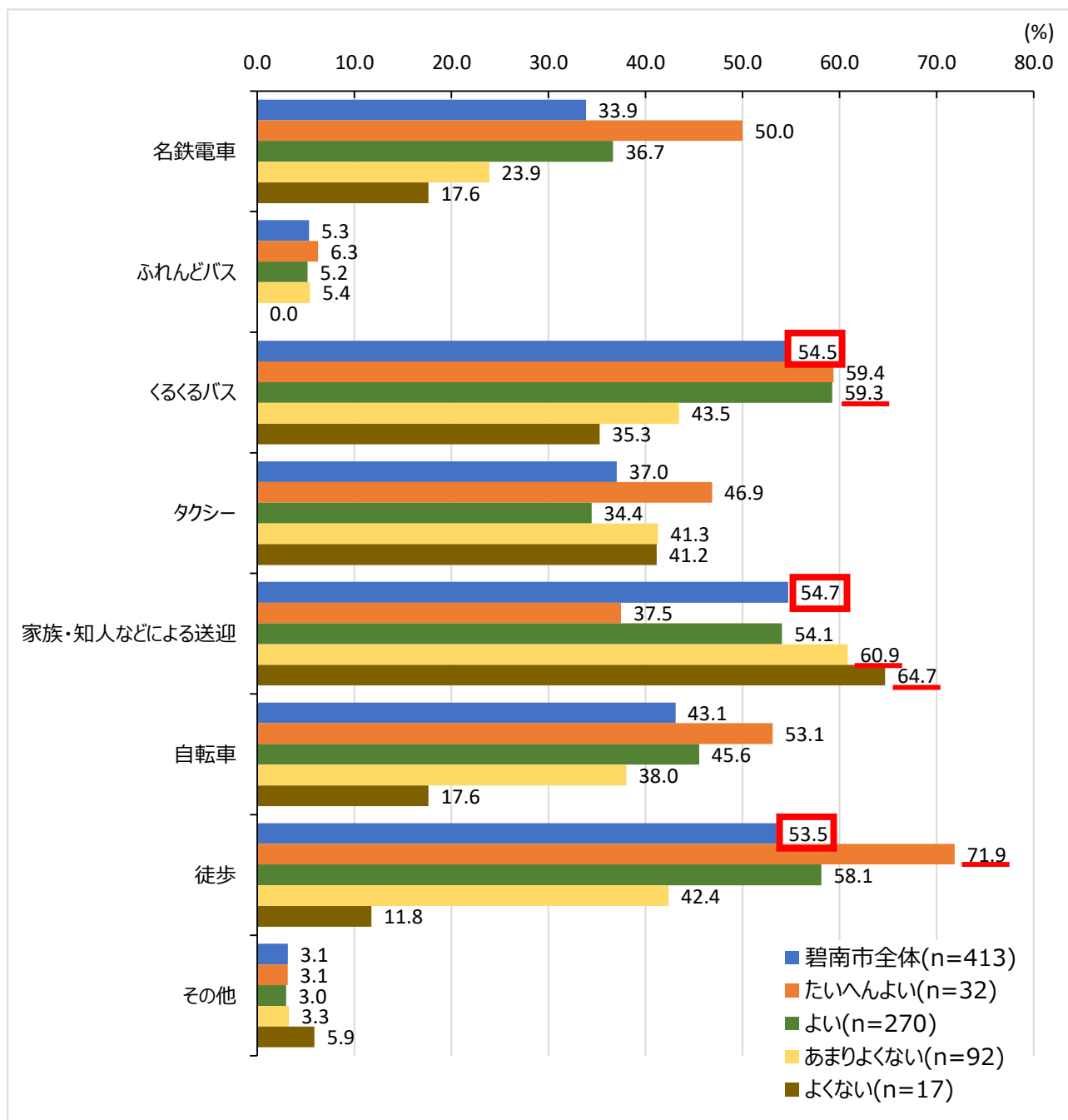


⑦免許返納後に利用したい（利用している）移動手段（60歳以上の方）

免許返納後に利用したいと考えている、または利用している移動手段について、碧南市全体では「家族・知人などによる送迎」が54.7%、「くるくるバス」が54.5%、「徒歩」が53.5%の順となっています。

自身の健康状態別にみると、“たいへんよい”という人では「徒歩」、「よい」という人では「くるくるバス」、「あまりよくない」や「よくない」という人では「家族・知人などによる送迎」の割合が最も高くなっています。

図 4-9 免許返納後に利用したい（利用している）移動手段

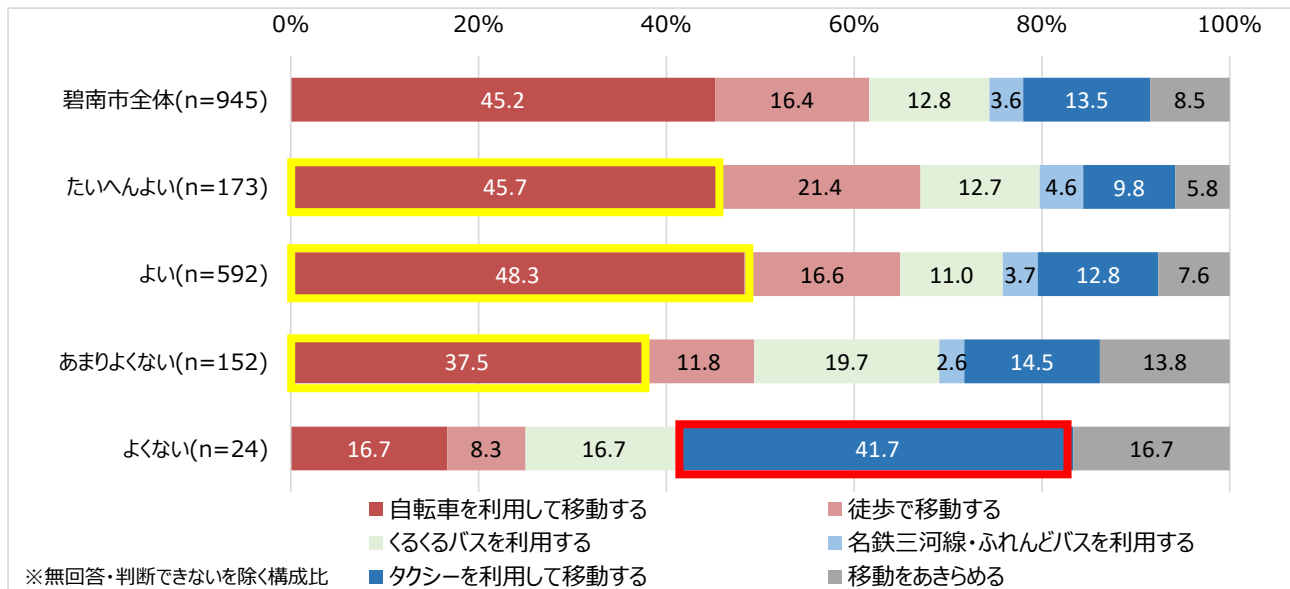


⑧自家用車を利用しない場合の市内での移動手段

自家用車を利用しない場合の市内での移動手段について、自身の健康状態別にみると、“たいへんよい”や“よい”では「自転車」の回答が半数近くを占めています。

健康状態が“たいへんよい”、“よい”、“あまりよくない”までは「自転車」の割合が最も多いですが、“よくない”では「タクシー」の割合が最も高くなっています。

図 4-10 自家用車を利用しない場合の市内での移動手段

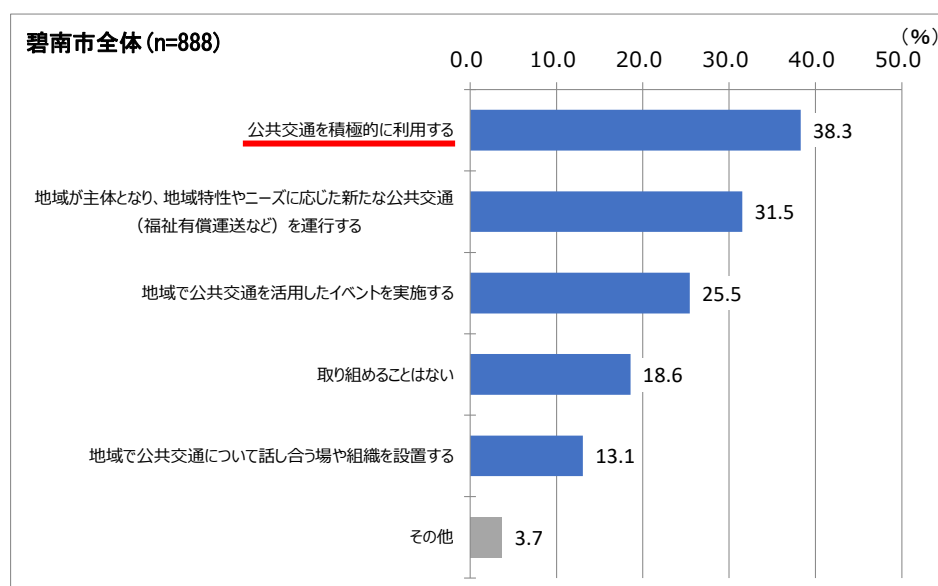


※3km 程度の市内移動を想定

⑨地域の公共交通を維持するために、あなた自身や地域で取り組んでもよいと思うもの

公共交通の維持のために取り組める内容は、「公共交通を積極的に利用する」の割合が 38.3% で最も高くなっています。

図 4-11 地域の公共交通を維持するために、あなた自身や地域で取り組んでもよいと思うもの



(2) バス利用者アンケート調査

①ふれんどバス、くるくるバスの満足度

総合的な満足度（満足＋ほぼ満足）はふれんどバスが72.2%、くるくるバスが68.2%となっており、いずれも不満割合（不満＋やや不満）を上回っていますが、ふれんどバス、くるくるバスともに「運行本数」など、不満割合が高い項目もみられます。

図 4-12 ふれんどバスのサービス項目別満足度

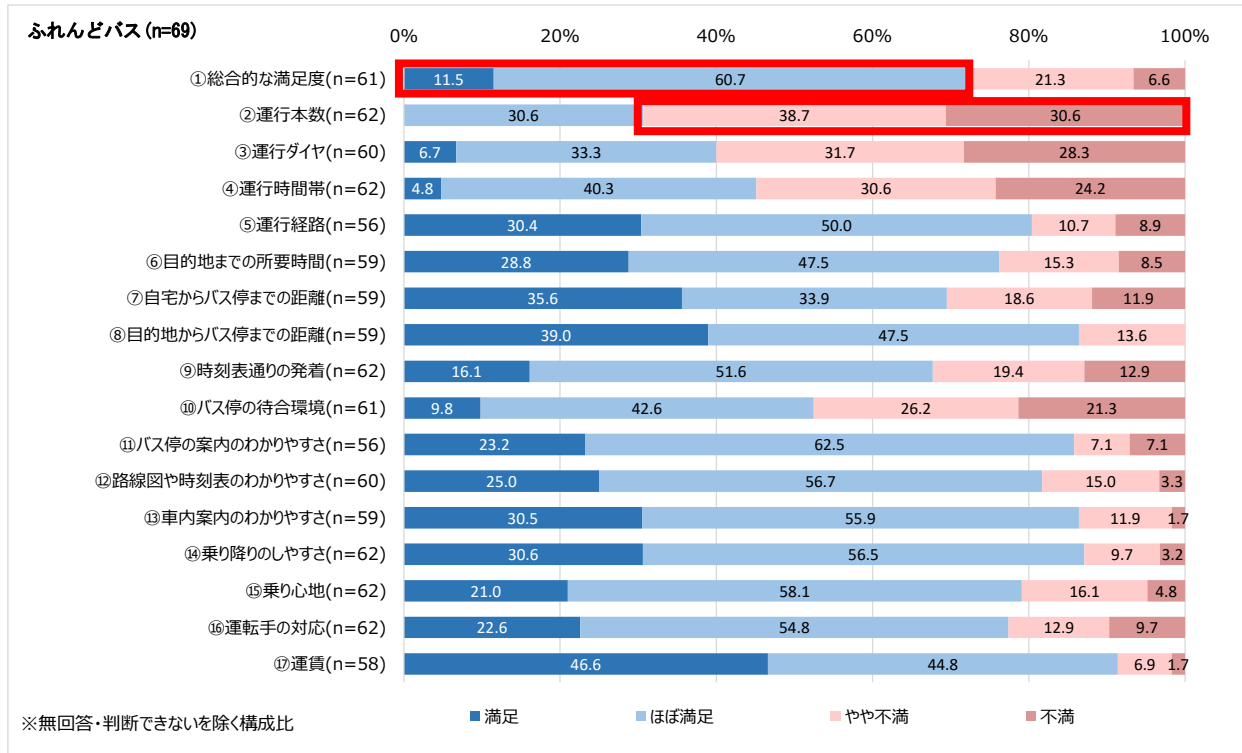
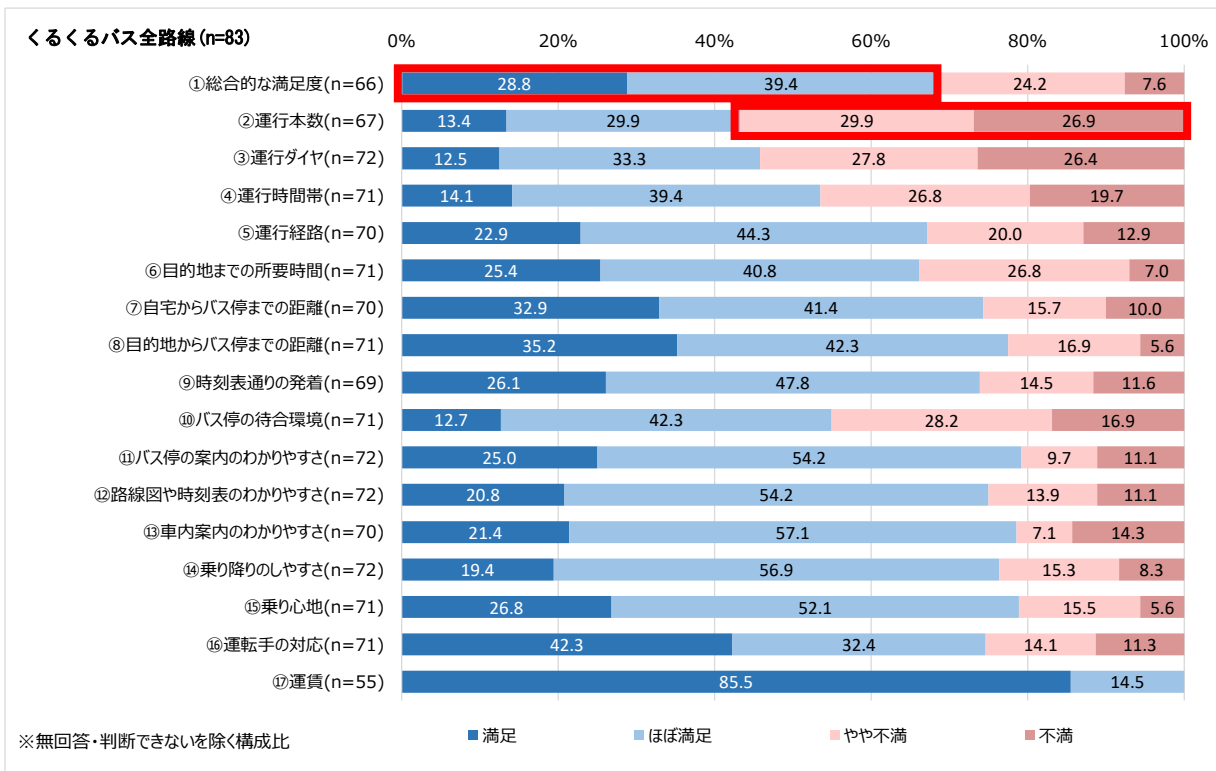


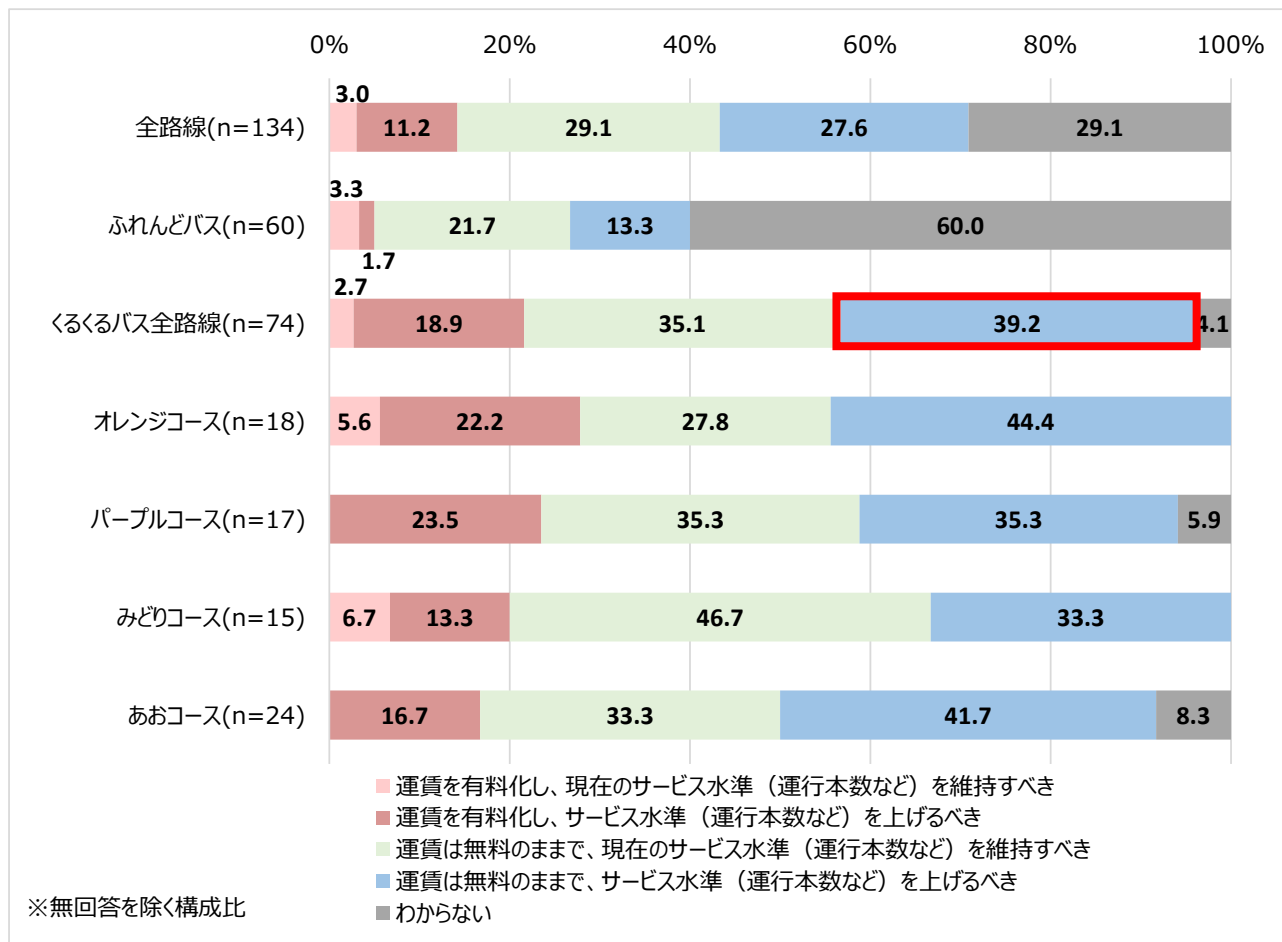
図 4-13 くるくるバスのサービス項目別満足度



②くるくるバスの今後の運行

「運賃は無料のままで、サービス水準（運行本数など）を上げるべき」が39.2%で最も多く、次いで「運賃は無料のままで、現在のサービス水準（運行本数など）を維持する」が35.1%となっています。

図 4-14 くるくるバスの今後の運行について（利用者）



(3) バス乗降調査

①利用目的

ふれんどバスの利用目的は、平日では「通学」が70.4%と主体を占めています。休日においても「通学」が20.0%で最も多い割合となっていますが、「買い物・飲食」などの自由目的での利用が平日と比較して増加しています。

くるくるバスの利用目的は、平日・休日ともに「買い物・飲食」の割合が最も多くなっています。

図 4-15 ふれんどバスの利用目的

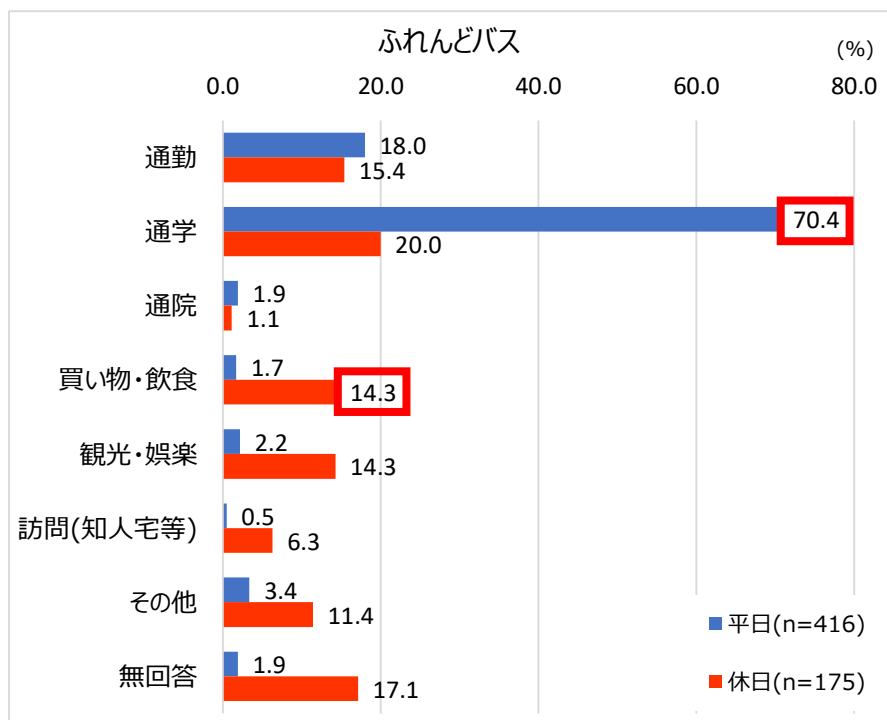
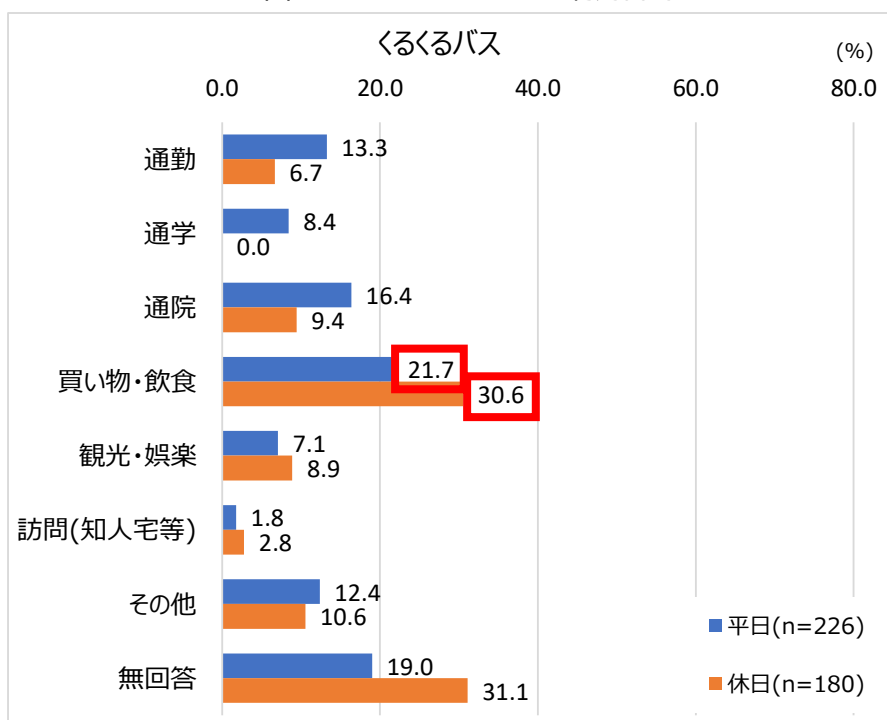


図 4-16 くるくるバスの利用目的

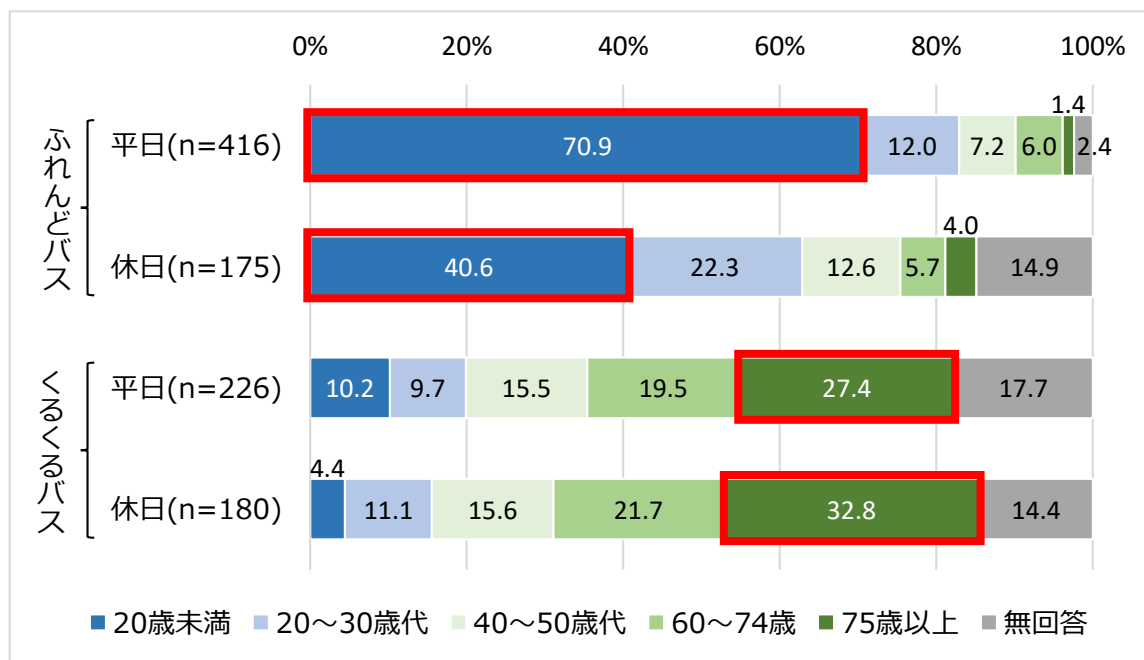


②利用者の年齢

ふれんどバスでは「20 歳未満」が平日・休日ともに最も多くなっています。くるくるバスでは「75 歳以上」が平日・休日ともに最も多くなっています。

くるくるバスは 60 歳以上の利用者が平日では 46.9%、休日では 54.5%を占めますが、30 歳代以下の利用者も平日では 19.9%、休日では 15.5%あります。

図 4-17 利用者の年齢



③利用者OD*

ふれんどバスのODは碧南方面・吉良方面ともに、乗車・降車どちらも鉄道駅（碧南駅・吉良吉田駅）や、沿線の高校（碧南高校・一色高校西・吉良高校）の最寄りバス停の利用が多くなっています。

くるくるバスのODは市役所周辺や東部プラザ・南部プラザ等の行政施設をはじめ、市民病院や鉄道駅を起終点とした移動が多くなっています。

図 4-18 ふれんどバス（平日・碧南方面行）バス停間OD

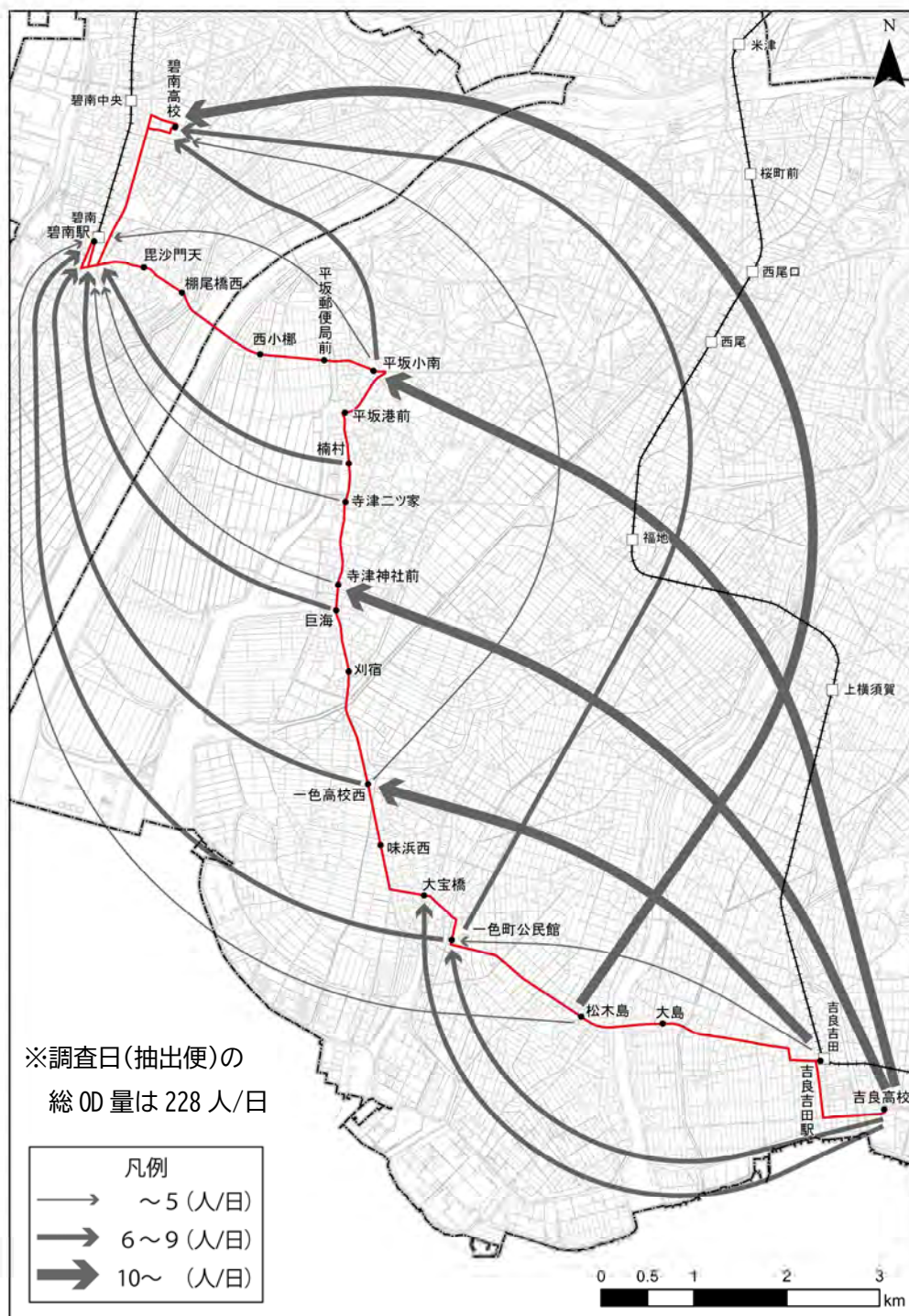


図 4-19 ふれんどバス（平日・吉良方面行）バス停間 OD

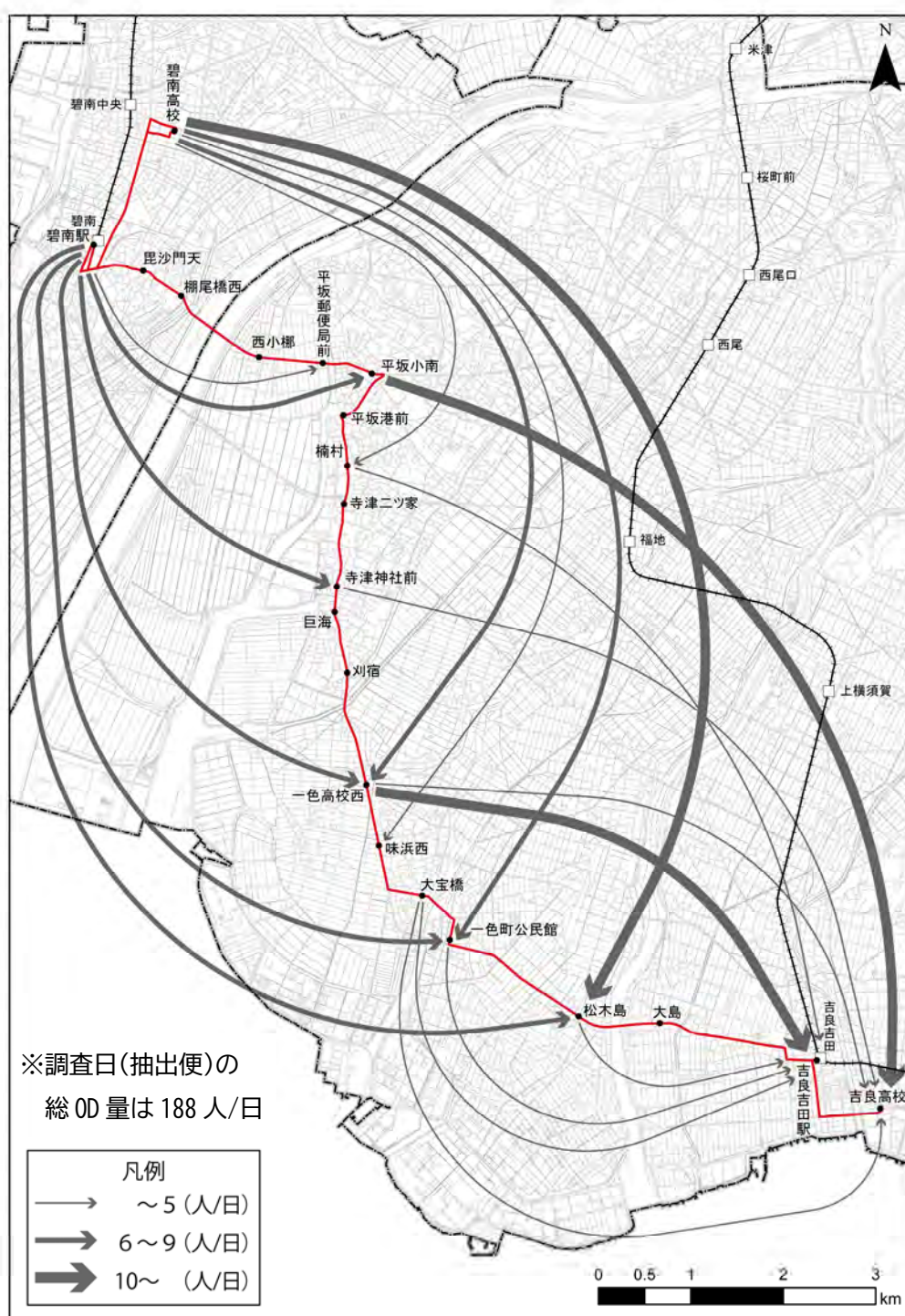


図 4-20 くるくるバス（平日・オレンジコース）バス停間 OD

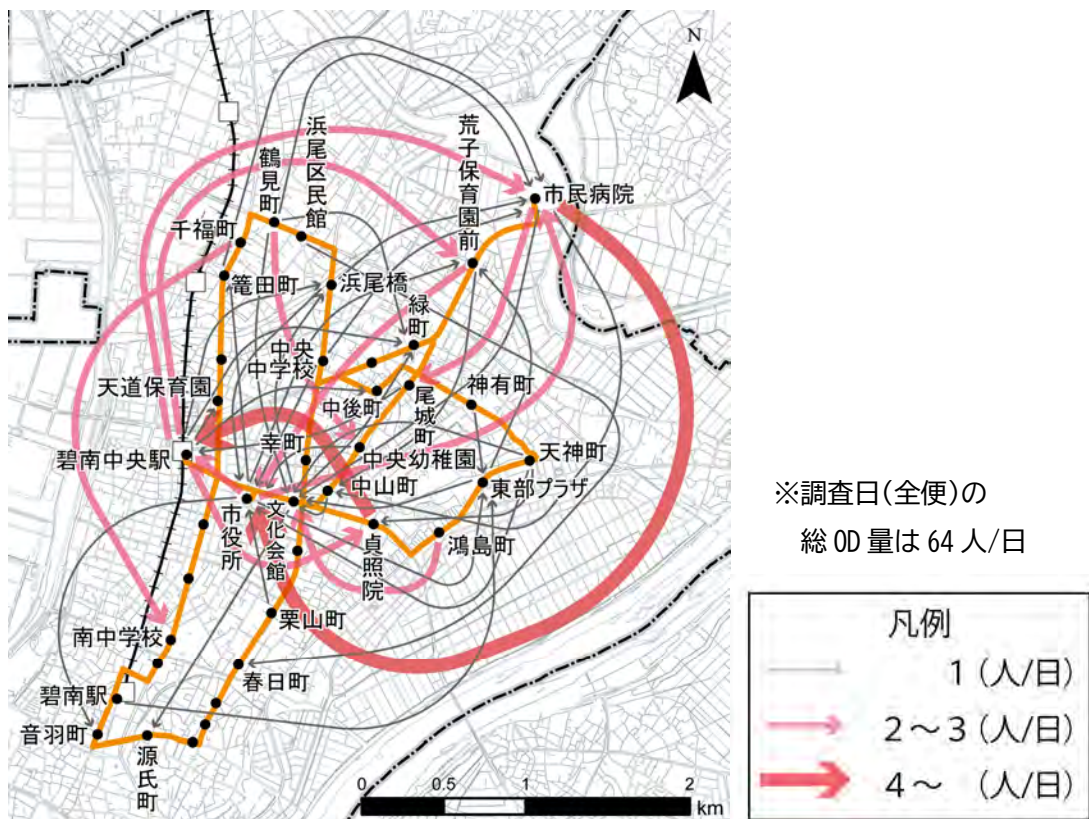


図 4-21 くるくるバス（平日・パープルコース）バス停間 OD

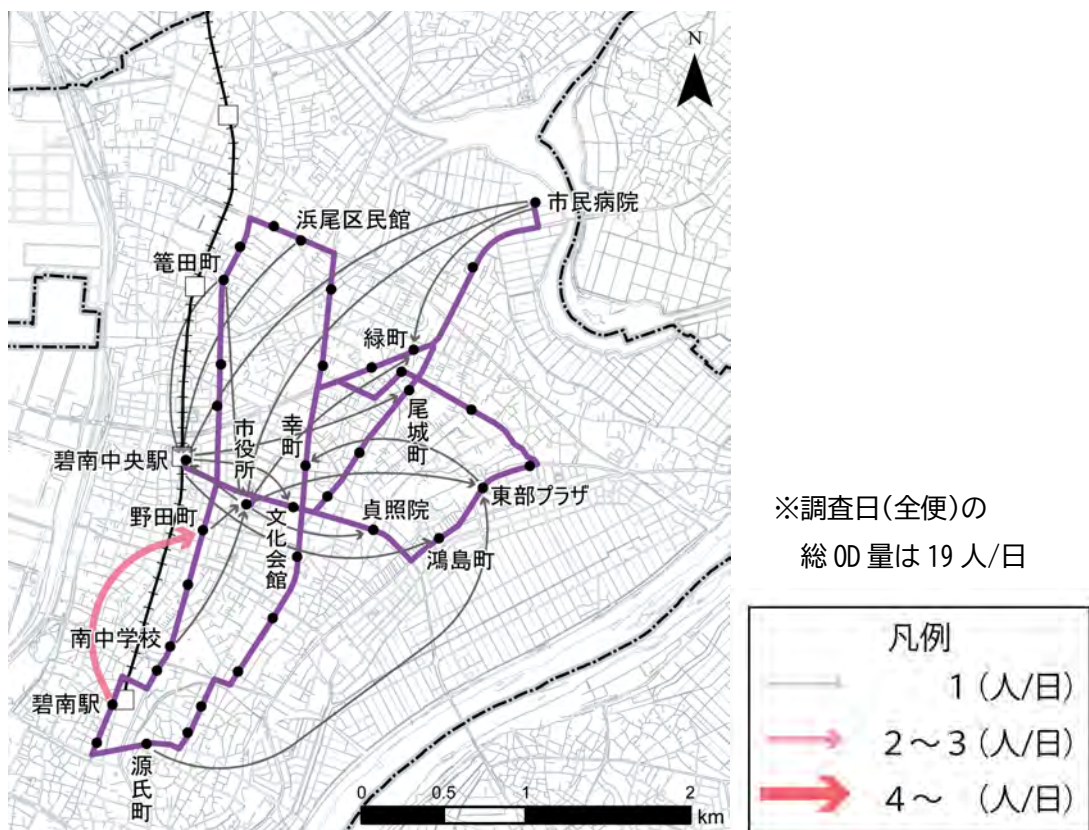


図 4-22　くるくるバス（平日・みどりコース）バス停間 OD

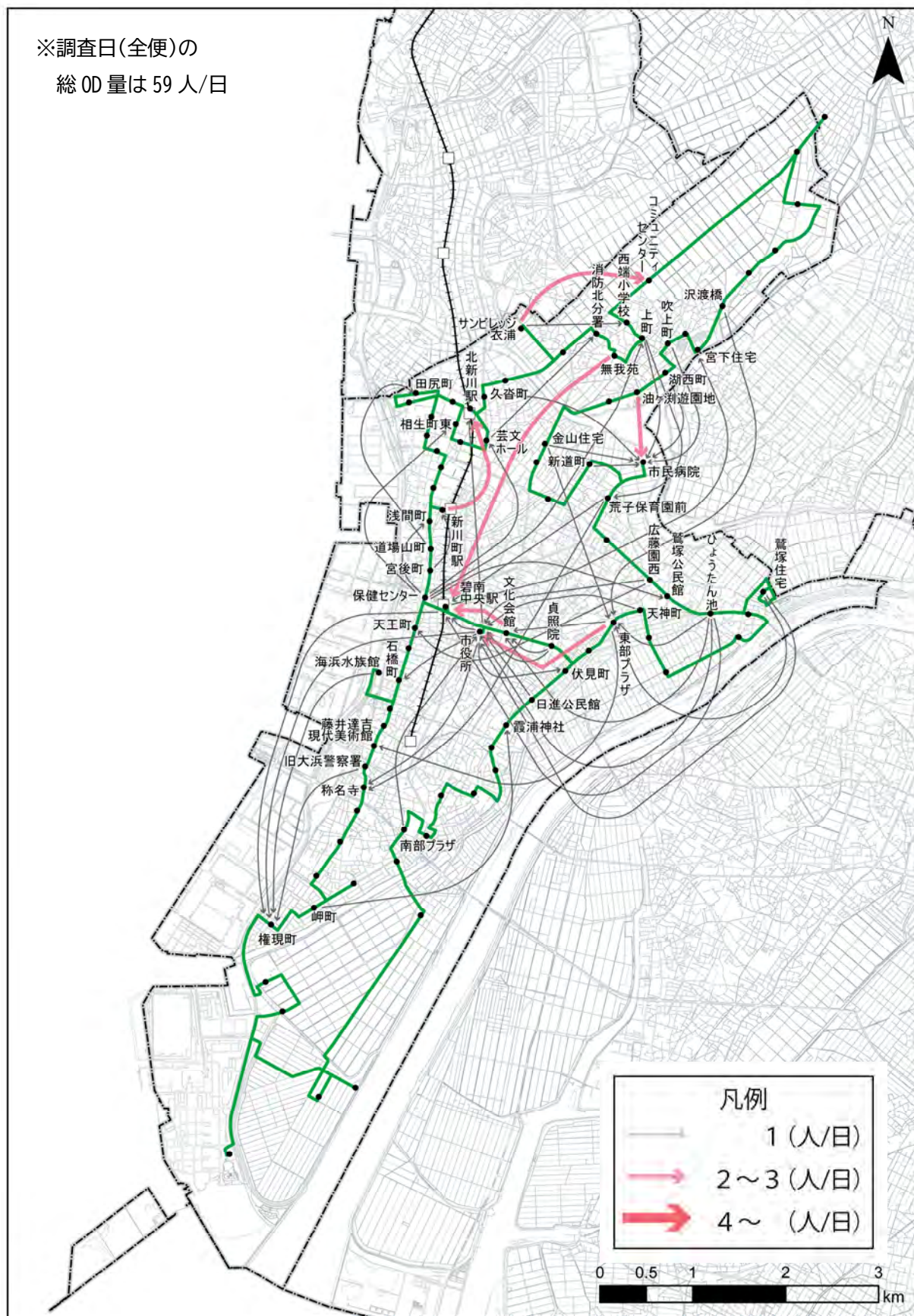
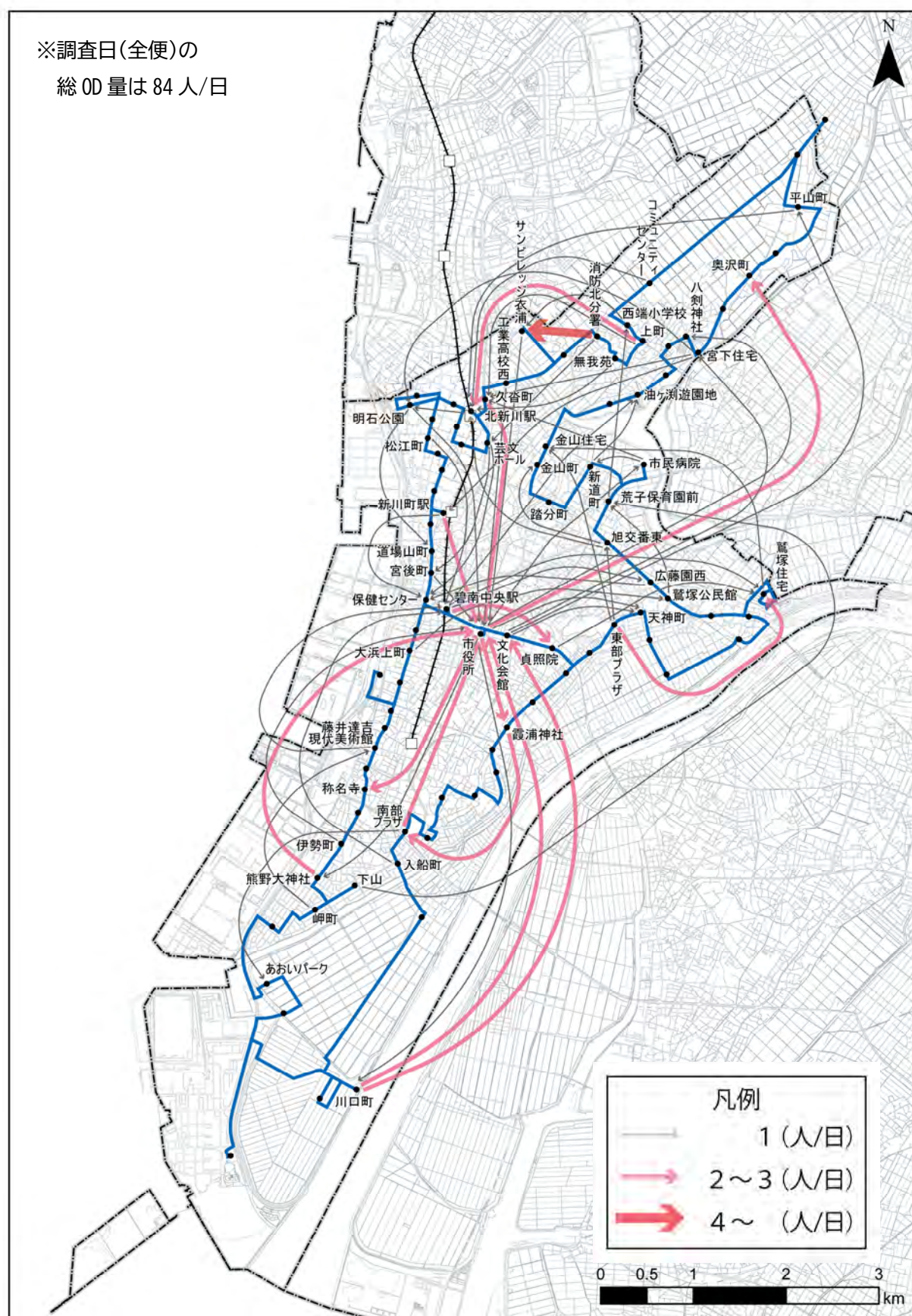


図 4-23 くくるバス（平日・あおコース）バス停間 OD



(4) 交通事業者ヒアリング調査

1. 利用者の現状や新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の見通し	
鉄道	・沿線企業の通勤需要が大幅に減少し、コロナ禍前の70%程度の利用状況で、他路線と比較しても回復傾向が鈍い
バス	・2022年度はコロナ禍前の9割程度まで回復している ・2020年度を底として、確実に回復傾向にある
タクシー	・利用のピークは6～8時と17～18時及び19～20時 ・2020, 2021年度と比較すると70～85%程度に回復した ・夜の利用が回復していない
2. 利用者や沿線住民から寄せられる意見など	
鉄道	・コロナ禍ではマナーに関する意見が増加した
バス	・碧南高校を始発地とする便の増発により、高校から利便性が上がったとの声を聞いている ・バスがなくなると困るため、運行を継続してほしいとの声が多い ・バス停で待つ際のマナーや周辺の清掃についての意見がある
タクシー	・ジャンボタクシーや介護タクシーの問合せがある
3. 公共交通全体の利便性を高める取組み	
鉄道	・エリア版MaaS*アプリ「CentX」のリリースや、沿線キャンペーン・ハイキング等を実施している（碧南市での実績あり）
バス	・沿線高校の入学式での定期券出張発売を実施している（碧南市での実績あり） ・市主催のイベントへの参加（利用促進イベントの実施） ・バスロケーションシステム*の導入による利便増進
タクシー	・乗車需要を満たすことができるよう乗車傾向等の分析を実施している ・運賃についての問い合わせが多いので、運賃に対して安心感があれば利用が伸びる可能性がある
4. その他	
バス	・碧南駅～碧南高校間での新規バス停の設置を提案
タクシー	・福祉交通の利用案内等について行政と連携

(5) 地区ミーティング

【C・S地区ミーティングで出された公共交通に対する主な意見】

- バス停前にガードレールの切れ間がなく、車道側に出てバスを待つ利用者がいて危険
バス待ちスペースが全体的に小さいのではないかと
- 免許返納後の高齢者や足の不自由な人、交通の便が悪い地域の人、外国人等に便利に使ってもらえるものにしてほしい
- 乗車料金が無料なことはありがたいが、本数が少なければ使い勝手がよくない

*のついた用語は75ページに解説があります

第5章 碧南市における地域公共交通の課題

1) 現況や各種調査からみた碧南市の地域公共交通の状況と集約課題

分類	現況や各種調査における傾向や動向	集約課題との対応		
		①	②	③
社会情勢や 上位関連計画	● 新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通利用者数は感染症拡大前と比較して 20%程度の減少の状態で推移している		○	
	● 高齢者を中心とした運転免許証の自主返納が進んでおり、返納後の移動手段の確保が必要とされている	○	○	○
	● 第6次碧南市総合計画における公共交通に関する施策は、「都市の発展に向けた活力を生み出すまち」に位置付けている		○	○
	● 碧南市都市計画マスタープランでは、鉄道駅周辺における駐車場・駐輪場の確保により、パークアンドライドの利用を推進するとともに、ふれんどバス・くるくるバスについて、他の交通との適切な役割分担を図ることを記載している	○		○
	● 第2期碧南市まち・ひと・しごと創成総合戦略【総合戦略】では、駅周辺の整備によりまちの賑わいを創出するとともに、市内公共交通の充実により、観光などでの来客の利便性も向上し、基本目標2「新しい人の流れづくり」の達成につながるとしている	○		○
碧南市の概況	● 碧南市の人口は 2005 年ごろから横ばいで推移しており、碧南市人口ビジョンにおいても、この先同様の傾向が続くとされている	○		
	● 高齢化率は 2020 年度では 23.8%となっており、今後も増加傾向が続くことが推計されている	○		
	● 公共交通全体での人口カバー率は 99.8%となっている（駅から半径 800m、バス停から半径 500m の利用圏域）	○		○
	● 通勤・通学流動は約 6 割が市内の移動となっており、通勤流動では近隣市の西尾市や安城市、通学流動では名古屋市との結びつきが強い	○		○
公共交通や 移動サービスの 状況	● 名鉄三河線の利用者数は 2019 年度の約 478 万人まで微増傾向が続いていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により 2020 年度においては年間で約 100 万人の減少となった		○	○
	● ふれんどバスの利用者数は 2021 年度で約 248 千人だが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた 2020 年度以降、回復基調にある		○	○
	● くるくるバスは 4 コースで運行しており、合計利用者数は 2021 年度で約 90 千人だが、新型コロナウイルス感染症大きく受けた 2020 年度以降、回復基調にある	○	○	
	● 市内に営業所を開設しているタクシー事業者は 2 社あり、合計 24 輦で運行している	○		
	● タクシーの利用者は、新型コロナウイルス感染症流行前の 2019 年度では約 151 千人であったが、2021 年度では約 96 千人となっている	○	○	
	● 市内の各駅にくるくるバスのバス停が設置されているほか、碧南駅ではふれんどバスのバス停、碧南駅・碧南中央駅・北新川駅ではタクシー待機所があり、鉄道駅が交通結節点としての役割を果たしている	○		○
	● 近隣市のコミュニティバスは、サンビレッジ衣浦に高浜市「いきいき号」、碧南市民病院に安城市「あんくるバス」、鷺塚住宅に西尾市「六万石くるりんバス」が碧南市内に乗り入れており、くるくるバスと接続している		○	○
	● 碧南市内の福祉有償運送は 2 つの NPO 法人によって運行されており、2021 年度では延べ 104 回の利用がある	○	○	
	● 碧南市が実施している外出支援事業の年間利用実績は、①福祉タクシー料金助成事業が 509 名・タクシー券 4,827 枚、②高齢者外出支援サービス事業が延べ 37 名、③車いす専用車両貸出事業が延べ 339 回・713 人（いずれも 2020 年度）となっている	○	○	
	● 碧南市内では主に碧南駅から企業送迎バスが発着しており、衣浦港周辺の工業地帯に向けて運行されている		○	○
市民アンケート	● 碧南市内では 7 割以上の方が個人で利用できる自家用車を所有しており、20 歳代以下や 70 歳以上ではその割合が低い	○		
	● 最も頻度の高い外出目的で利用する移動手段は、7 割以上の方が自分で運転する自家用車を利用している	○		
	● 60 歳以上の市民では、80 歳ごろに運転免許を返納する意向がある人が 37.3%で最も多く、返納後に利用したい移動手段は「家族・知人などによる送迎」「くるくるバス」「徒歩」の順となっている	○		
	● 各公共交通の利用率（年に数日程度以上利用）は「名鉄電車」は 49.7%、「タクシー」は 17.6%、「くるくるバス」は 9.9%、「ふれんどバス」は 1.7%の順となっている	○	○	○
	● 公共交通のサービス内容などの認知度として「あなたの自宅近くバス停の位置」は 58.7%である一方、「あなたの自宅近くを走るバスで行くことができる施設」は 15.9%となったほか、くるくるバスから乗り継げる先のコミュニティバスでは「あんくるバス（安城市）」は 22.8%、「六万石くるりんバス（西尾市）」は 9.6%、「いきいき号（高浜市）」は 6.2%の順となっている		○	
	● 公共交通の認知度として「市内をくるくるバスが走っていること」は 91.0%で、「市内に名鉄電車の駅があること」の 93.6%とともに 9 割を超えている		○	

碧南市における
地域公共交通の課題
＜集約課題＞

① 増加する
高齢者をはじめ、
幅広い世代が
利用しやすく
分かりやすい
市内公共交通
サービスの提供

② 公共交通に関わる
全ての関係者が
連携して、
公共交通に対する
意識を醸成しつつ、
利用して元気になる
取組みの実践

③ 碧海 5 市や西尾市・
名古屋市等の
広域的な移動ニーズ
に対応した公共交通
の維持・活性化

分類	現況や各種調査における傾向や動向	集約課題との対応		
		①	②	③
市民アンケート	● 各公共交通を利用している人の満足度（満足＋やや満足）は「名鉄電車」は56.1%、「タクシー」は32.1%となっている	○	○	○
	● 各公共交通を利用しない理由としては、「現時点で利用の必要がない」がどの公共交通も回答割合が最も多い		○	
	● タクシーを利用しない・不満な理由としては、「運賃が高い」が13.2%、「運賃がいくらかかるか分からない」が11.7%となっている	○		
	● 名鉄電車、ふれんどバスに期待する役割は「通勤・通学するための交通手段」が最も高く、次いで「自家用車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段」、「市外の施設へ行くための交通手段」の順となっている			○
	● くるくるバスに期待する役割は「自家用車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段」が最も高く、次いで「通院・買い物するための交通手段」、「市内の施設へ行くための交通手段」の順となっている	○		
	● タクシーに期待する役割は「自家用車などを利用できない方や、利用できなくなった場合の交通手段」が最も高く、次いで「いつでも行きたいところへ行くことができる交通手段」、「通院・買い物するための交通手段」の順となっている	○		○
	● くるくるバスの今後の運行について、「運賃は無料のままで、現在のサービス水準を維持する」と回答した人の割合が最も多く32.7%、次いで「運賃は無料のままで、サービス水準を上げる」が26.1%、「運賃を有料化し、サービス水準を上げる」が18.1%となっている	○		
	● 免許返納後に利用したい移動手段について、健康状態がよいと答えた人が「くるくるバス」を多く選択しており、健康状態がよい人ほど「家族・知人などによる送迎」の割合が高くなっている	○		
	● 碧南市の公共交通を充実させるための取組みについて、「くるくるバスの充実（運行本数の増加や運行時間帯の延長など）が59.4%で最も多く、「高齢者・福祉タクシー料金助成制度の拡充」が49.4%の順となっている	○	○	
	● 公共交通の維持のために取り組める内容は、「公共交通を積極的に利用する」の割合が最も高い		○	
利用者アンケート	● ふれんどバスの総合的な満足度（満足＋やや満足）は72.2%で、今後重要なサービス項目は「運行本数」、「運行時間帯」、「運行ダイヤ」の順で重要度（重要＋やや重要）が高い		○	○
	● くるくるバスの総合的な満足度（満足＋やや満足）は68.2%で、今後重要なサービス項目は「運行本数」、「運行ダイヤ」、「運転手の対応」の順で重要度（重要＋やや重要）が高い	○	○	
	● くるくるバスの今後の運行について、「運賃は無料のままで、サービス水準を上げる」と回答した人の割合が最も多く39.2%、次いで「運賃は無料のままで、現在のサービス水準を維持する」が35.1%、「運賃を有料化し、サービス水準を上げる」が18.9%となっている	○		
乗降調査	● ふれんどバスのODは平休日ともに乗車・降車どちらも鉄道駅（碧南駅・吉良吉田駅）が多く、平日では沿線の高校の最寄りバス停（碧南高校・一色高校西・吉良高校）、休日では一色町公民館や松木島の利用も多い			○
	● くるくるバスのODは市役所周辺やサンビレッジ衣浦、東部プラザ・南部プラザ等の行政施設をはじめ、市民病院や鉄道駅を起終点とした移動が多い	○		
	● ふれんどバスの利用者は、30歳代以下が平休日ともに6割を超えており、「通学」が平日は70.4%、休日は20.0%で最も多い利用目的となっている。休日では「買い物・飲食」や「観光・娯楽」の利用もそれぞれ14.3%みられる			○
	● くるくるバスの利用者は、60歳以上が平休日ともに約5割となっており、「買い物・飲食」が平日は21.7%、休日は30.6%で最も多い利用目的となっている。30歳代以下の利用者についても平日では19.9%、休日では15.5%みられる	○		
事業者ヒアリング	● 名鉄の他路線と比較して、三河線では新型コロナウイルス感染症の影響で減少した利用者の戻りが鈍い特徴がある。現在、駅を中心としたまちづくりや自治体と連携したイベント等の取組みを実施している		○	○
	● ふれんどバスの利用者は高校生が多く、利用者数はコロナ禍前の9割程度まで戻っている。沿線自治体・学校・住民との連携で運行の見直しやイベント実施等、利用促進事業を実施している		○	○
	● くるくるバスは生活密着型の路線として運行しており、市民生活に重要な公共交通だと感じている。利用者が安心して利用できる取組みを進めたい（バスロケーションシステムやバス停環境の整備等）	○	○	
	● タクシー事業者として福祉交通の利用案内等について行政と連携していきたい。また、タクシーの運賃面における利用者の抵抗感を減らすことで利用増進につながる可能性がある	○	○	
地区ミーティング	● くるくるバスが無料で運行していることに対する理解が得られた一方で、運行本数の増加を求める意見や、バスを安心して待てる環境が必要である意見が出された	○	○	

碧南市における
地域公共交通の課題
＜集約課題＞

① 増加する
高齢者をはじめ、
幅広い世代が
利用しやすく
分かりやすい
市内公共交通
サービスの提供

② 公共交通に関わる
全ての関係者が
連携して、
公共交通に対する
意識を醸成しつつ、
利用して元気になる
取組みの実践

③ 碧海5市*や西尾市・
名古屋市等の
広域的な移動ニーズ
に対応した公共交通
の維持・活性化

*のついた用語は75ページに解説があります

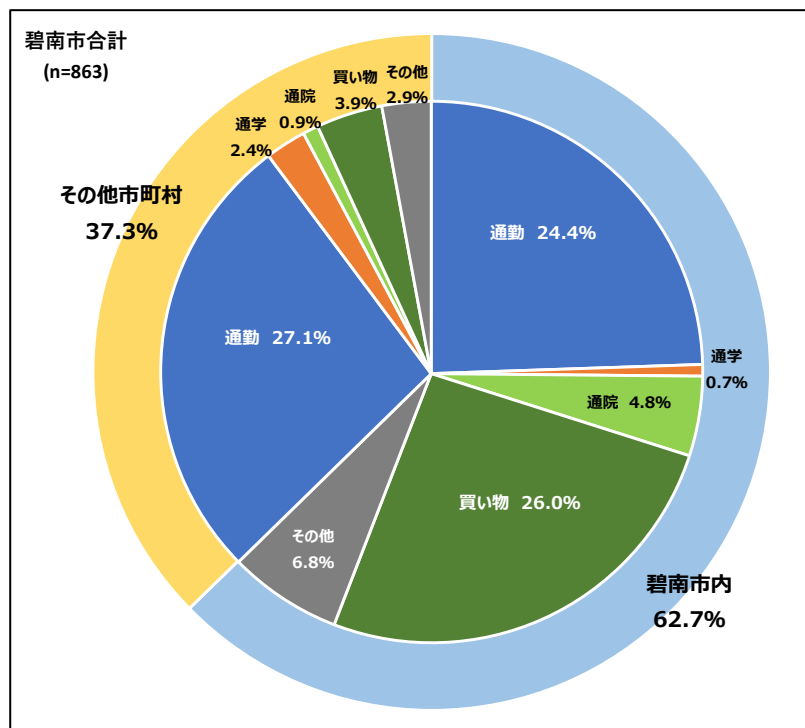
48

2) 個別課題から導かれる集約課題

集約課題① 増加する高齢者をはじめ、幅広い世代が 利用しやすく分かりやすい市内公共交通サービスの提供

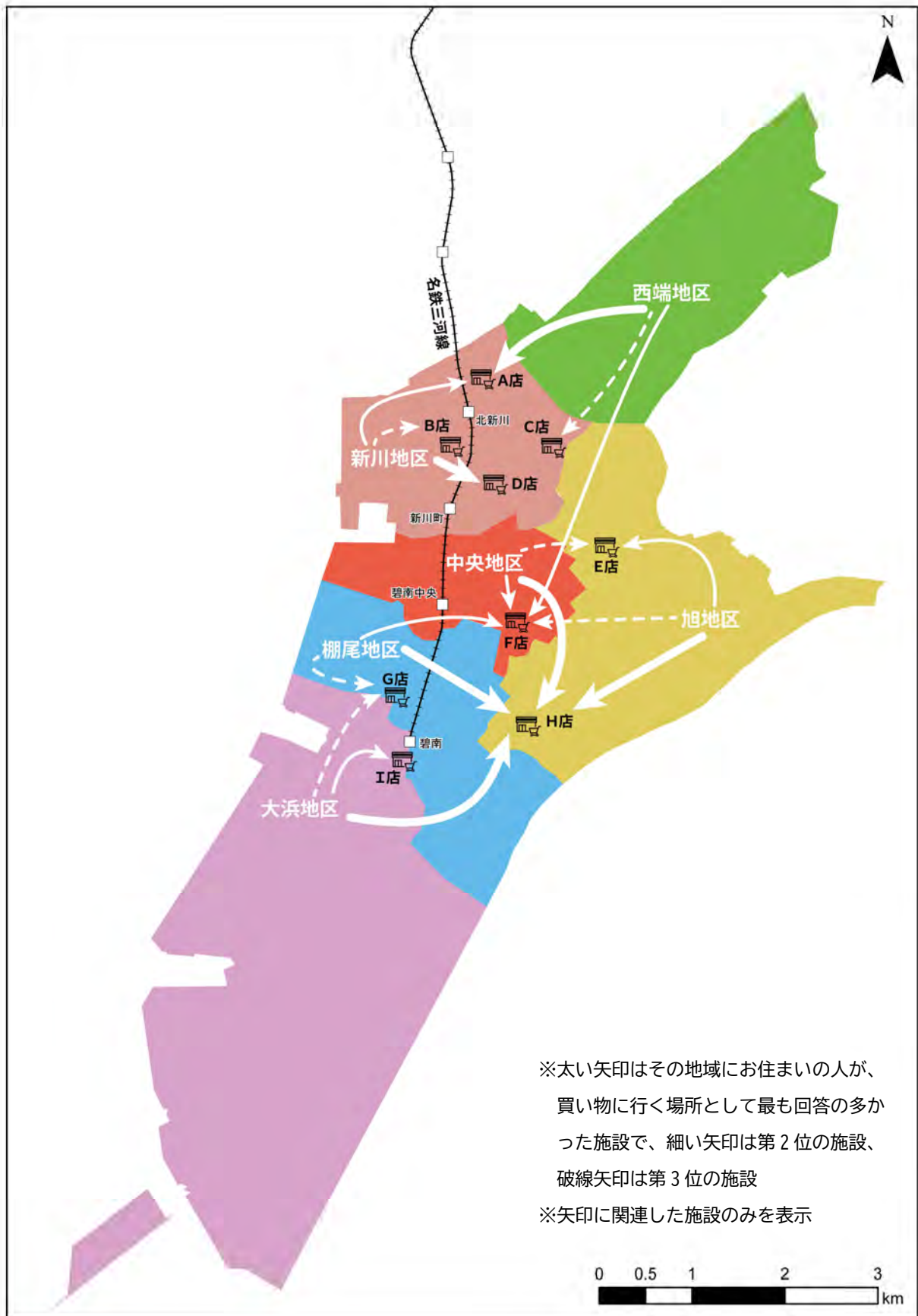
- 市民の普段の外出先では市内の割合が高いため、市内の主要施設と各地域を結ぶ公共交通ネットワークの形成が必要です。
- 本市の高齢化率は増加傾向にあり 2020 年度では 23.8%ですが、将来推計人口から今後も高齢化が進むことが予測されており、運転免許証の自主返納が考えられる高齢者の移動ニーズに対応した公共交通の運行が求められます。
- くるくるバスは、65 歳以上の高齢者を中心に買い物や通院などで利用されているほか、30 歳代以下の利用も一定程度みられ、広く市民の移動手段として定着しており、利用者の満足度も 68.2%と高いことから、今後も市民・利用者のニーズを取り入れながら継続的な運行が求められます。
- タクシー運賃に関する不安を取り除くことなど、市内それぞれの公共交通の利用促進につながる取組みが必要です。
- 市内でサービスされている各種公共交通や福祉、企業等の移動手段について、移動目的や目的地に応じた役割の明確化が重要です。

図 5-1 最も頻度の高い外出目的とその目的地



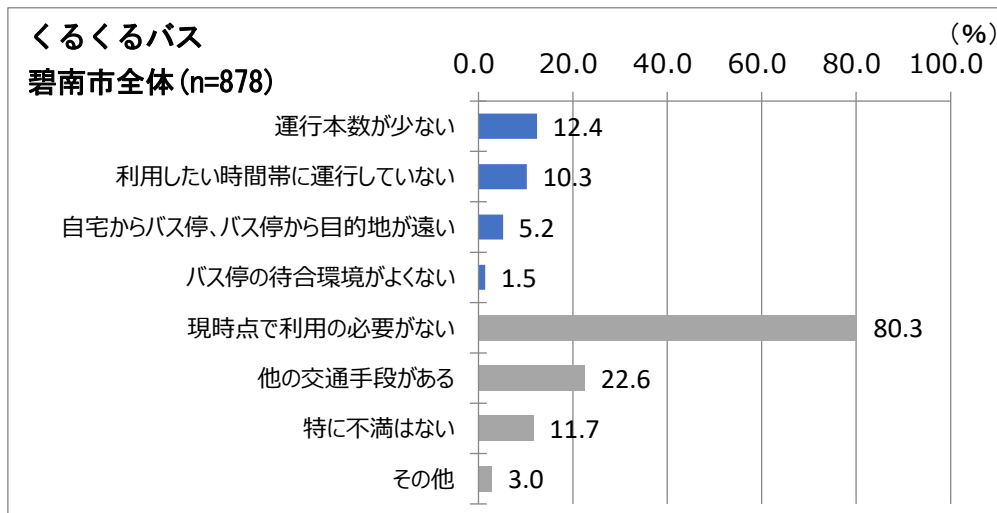
(資料：市民アンケート調査)

図 5-2 普段の「買い物」目的での市内の目的地



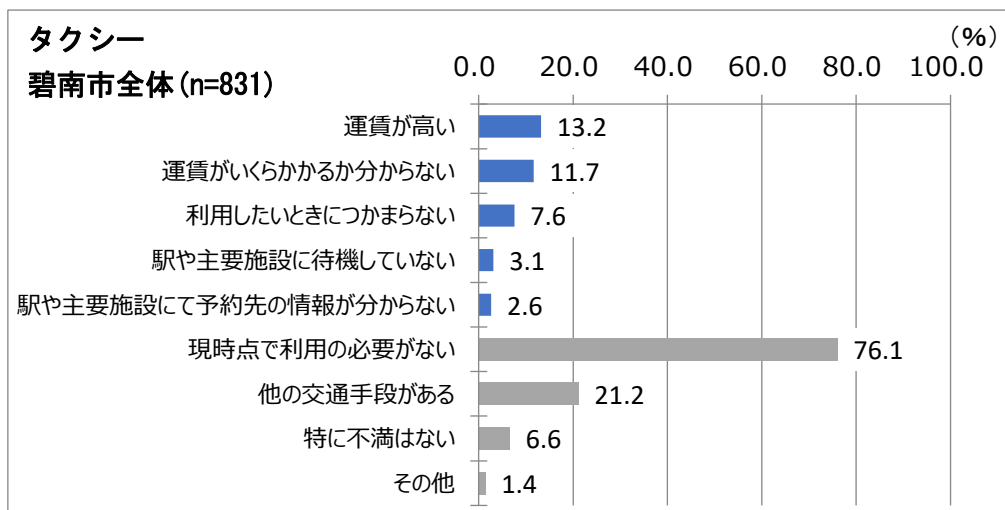
(資料：市民アンケート調査)

図 5-3 公共交通を利用しない理由・不満な理由（くるくるバス）（再掲）



（資料：市民アンケート調査）

図 5-4 公共交通を利用しない理由・不満な理由（タクシー）（再掲）

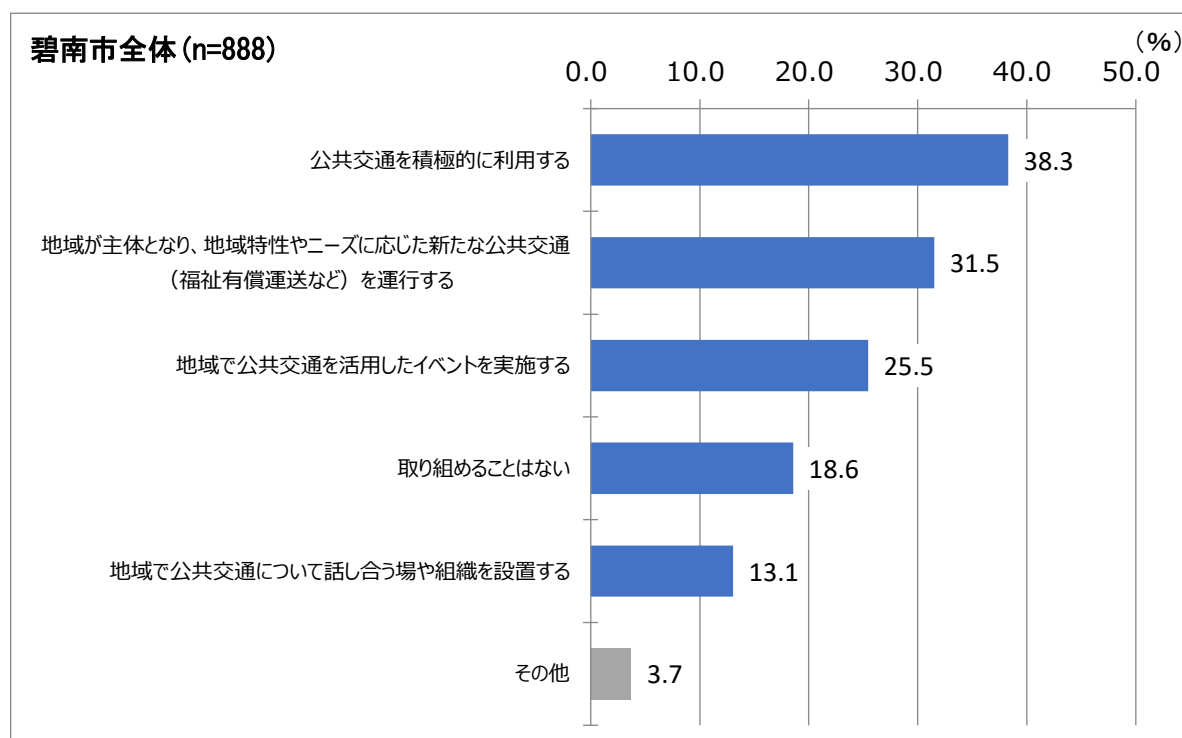


（資料：市民アンケート調査）

集約課題② 公共交通に関わる全ての関係者が連携して、公共交通に対する意識を醸成しつつ、利用して元気になる取組みの実践

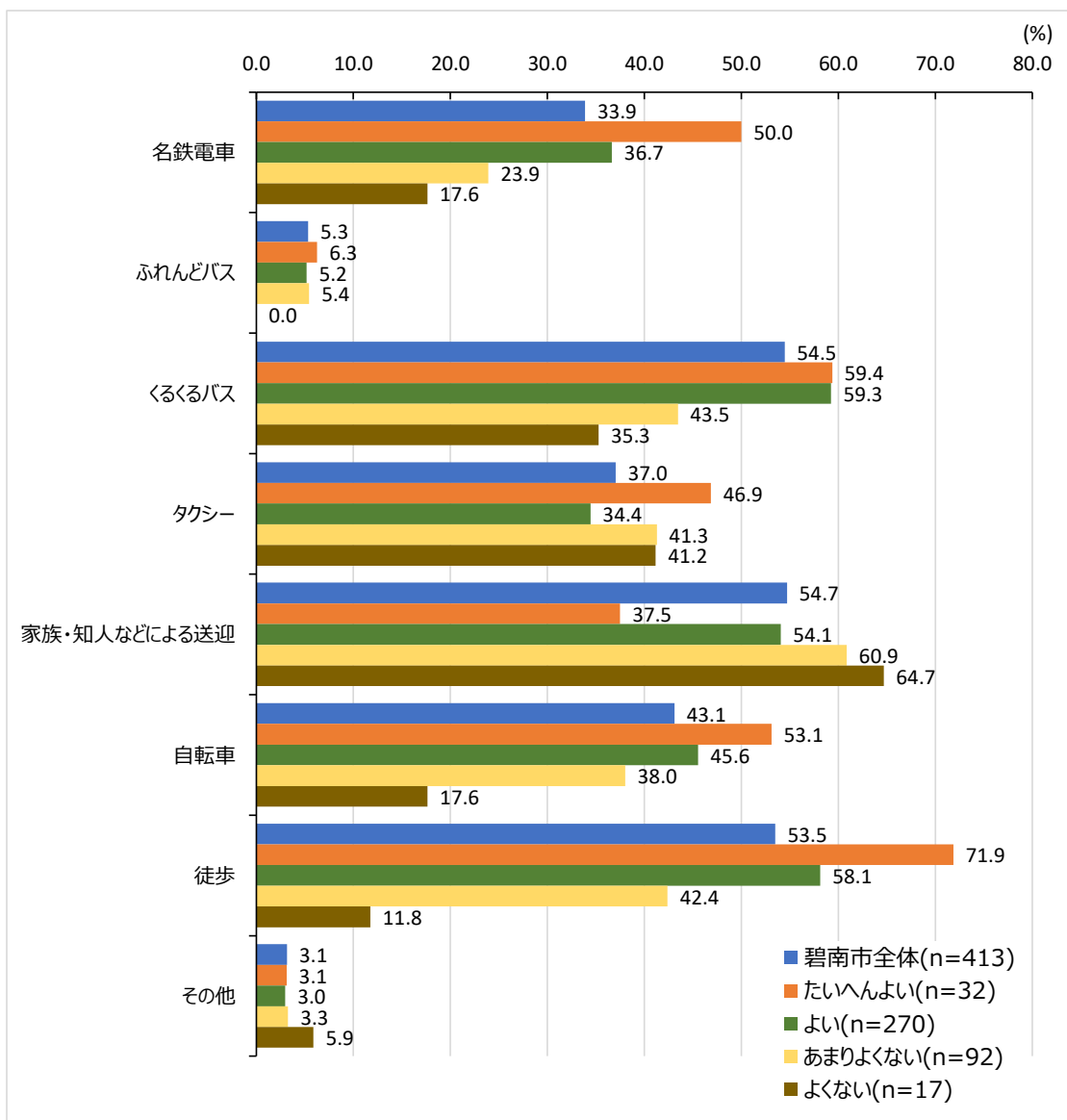
- 持続可能な公共交通を確保するためには、公共交通に関わる全ての関係者が連携したうえで、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少した状況からの回復策に取り組む必要があります。
- 公共交通の利用意識には健康状態が関わっており、元気なうちに公共交通の利用機会を作ることが重要です。
- 各公共交通が運行していることに対する認知度は高い水準にあるものの、タクシーの待機場所やバスで行くことができる施設の認知度については半数を下回っていることから、市内の公共交通がどのような状況で、どのような運行をしているかについて行政や運行事業者は発信・共有し、市民はその情報を受け取るとともに、公共交通を利用することで、公共交通に対する意識を醸成する取組みが求められます。

図 5-5 地域の公共交通を維持するために、あなた自身や地域で取り組んでもよいと思うもの



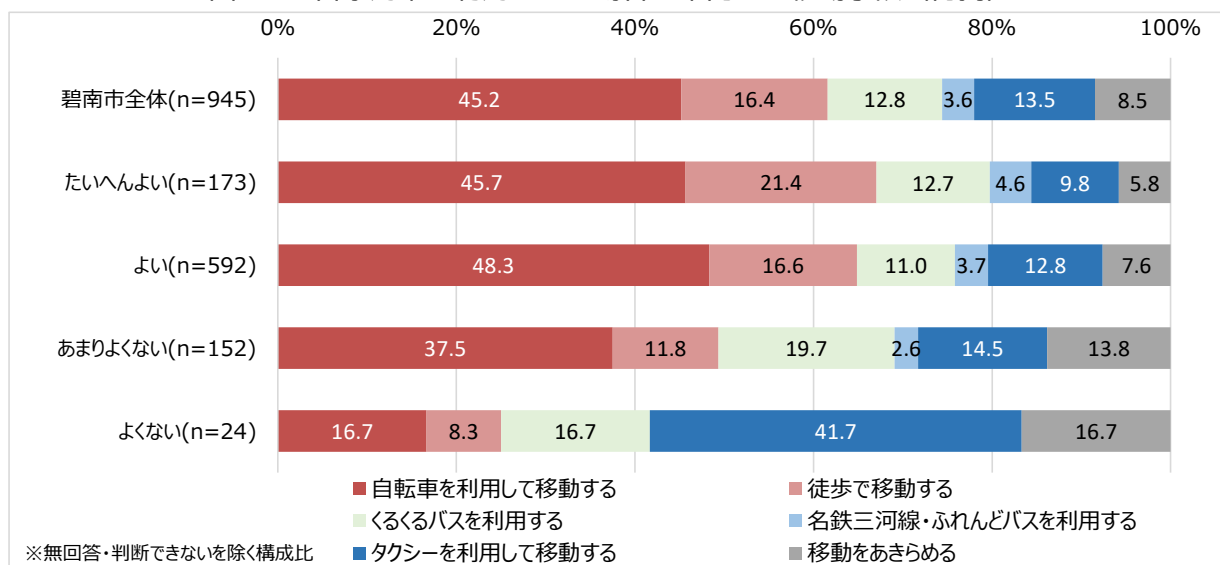
(資料：市民アンケート調査)

図 5-6 免許返納後に利用したい（利用している）移動手段（再掲）



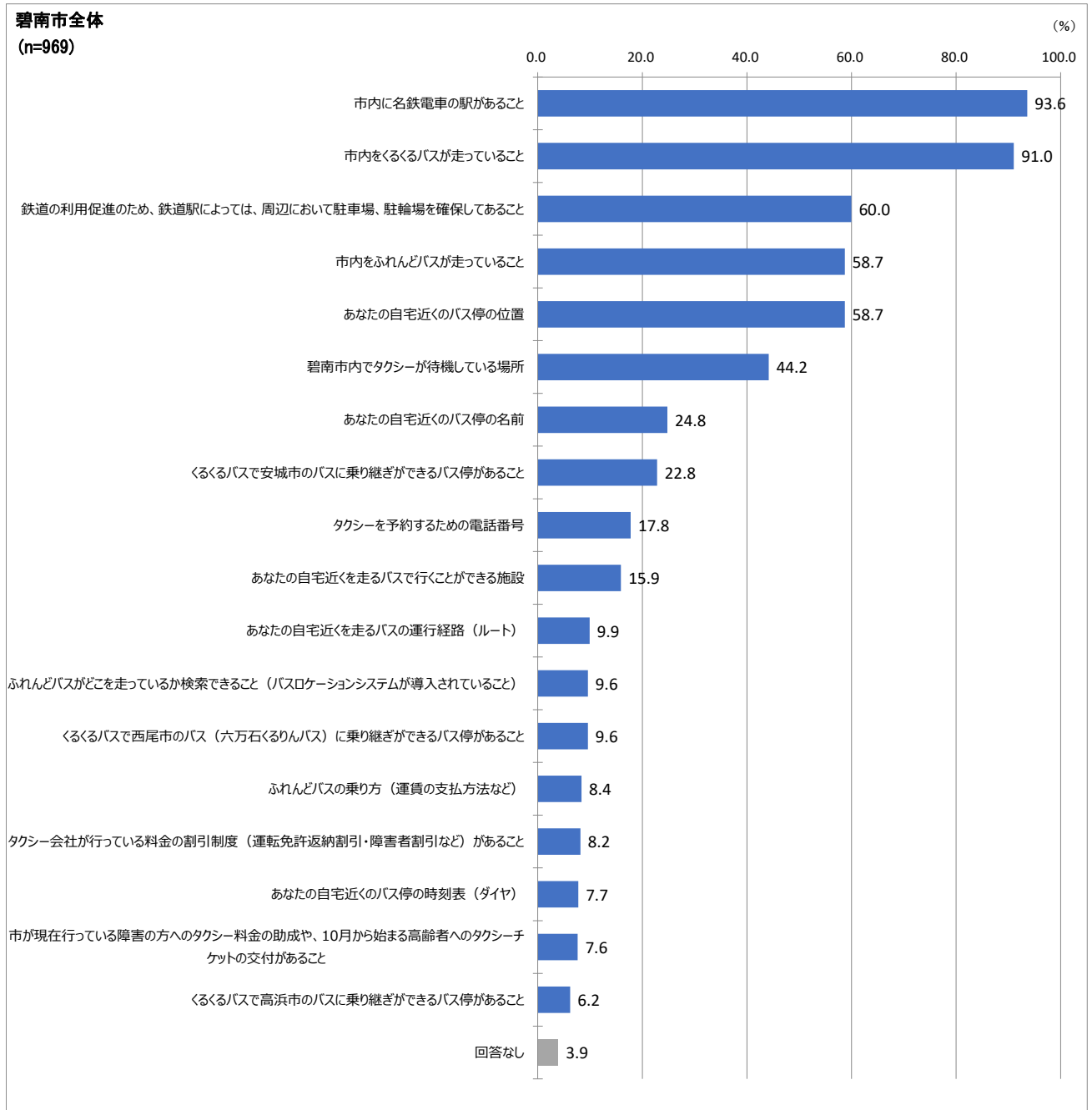
(資料：市民アンケート調査)

図 5-7 自家用車を利用しない場合の市内での移動手段（再掲）



(資料：市民アンケート調査)

図 5-8 公共交通に関する認知度（再掲）

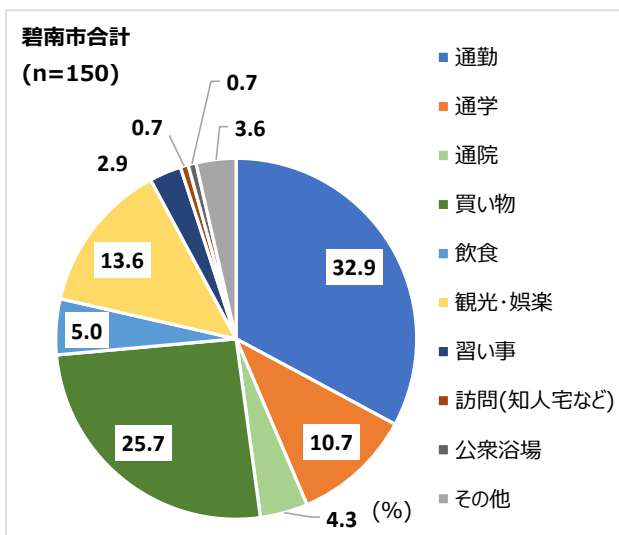


（資料：市民アンケート調査）

集約課題③ 碧海5市及び西尾市・名古屋市等の広域的な移動ニーズに対応した公共交通の維持・活性化

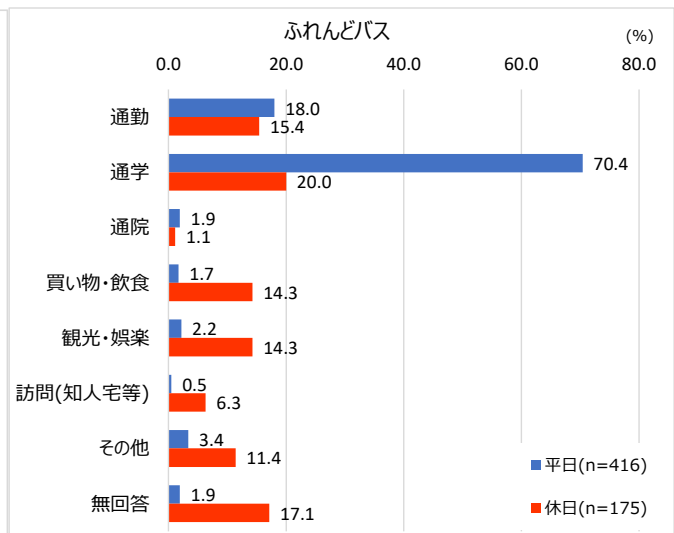
- 安城市や刈谷市といった碧海5市及び西尾市を含めた近隣市との結びつきや、名古屋市への移動需要が存在しているため、広域的な公共交通の維持・活性化が必要です。
- 名鉄電車は、刈谷市や名古屋市方面への通勤・通学目的での移動に利用されているとともに、市外への買い物や観光などといった目的での利用がありますが、自宅や目的地から駅までが遠いという意見があります。
- ふれんどバスは、碧南高校をはじめとした沿線3校の高校生が利用の主体を占め、碧南駅と市外の高校や住宅地を結んでおり、利用者の満足度は72.2%と高いことから、継続的な運行が求められます。

図 5-9 名鉄電車を利用して外出する目的



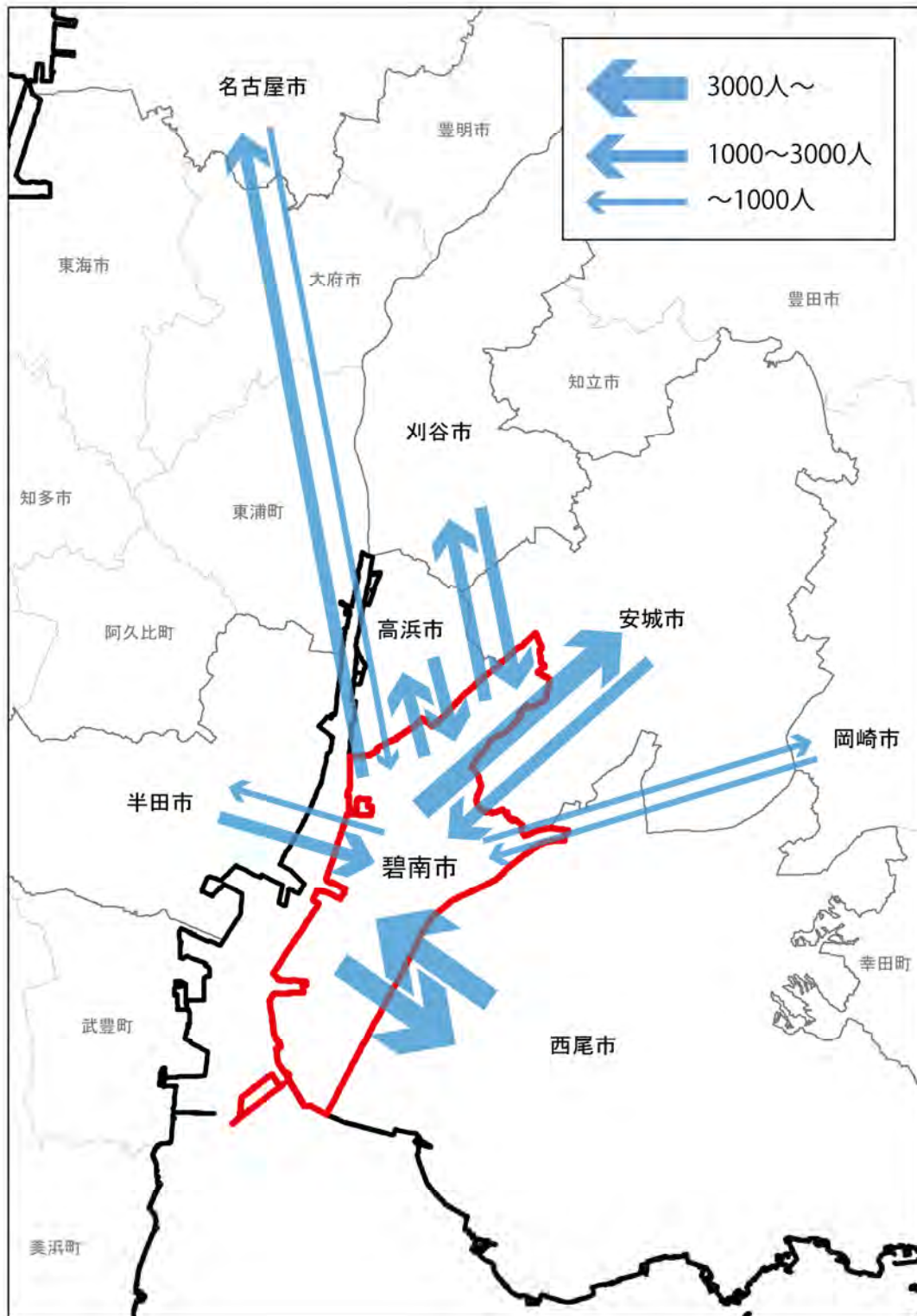
(資料：市民アンケート調査)

図 5-10 ふれんどバスの利用目的（再掲）



(資料：利用者アンケート調査)

図 5-11 碧南市に関連した通勤・通学流動図（再掲）



（資料：2020 年国勢調査）

第6章 碧南市地域公共交通計画

1) 計画対象地域及び計画期間

(1) 計画対象地域

本計画は、本市内を運行する公共交通全体を一体的に取り扱うことから、対象地域を碧南市全体とします。

なお、周辺市町との公共交通相互の連携等に当たっては、個別に協議・調整を図ることとします。

(2) 計画期間

本計画の期間は、2024年度～2028年度までの5年間とします。

なお、計画期間内であっても、社会情勢の変化への対応や、公共交通の運行・利用に関する安全性に配慮した見直しについては、必要に応じて見直しを図ります。

2) 地域公共交通の基本的な方針

第6次碧南市総合計画では、まちづくりの基本理念を市民憲章の理念としており、地域公共交通では市民憲章の理念のうち「安心して住める町に」や、「活気ある町に」に貢献できるものと考えます。

また、市民をはじめとした本市に関連する人たちが利用しやすく、元気を保つことができる公共交通ネットワークを形成し、地域公共交通に関連する全ての関係者が連携・協働した、「**みんなが使う公共交通で支える 活気あるまち へきなん**」を地域公共交通の基本的な方針と定めます。

<地域公共交通の基本的な方針>

みんなが使う公共交通で支える 活気あるまち へきなん

▼集約課題

集約課題①

増加する高齢者をはじめ、幅広い世代が利用しやすく分かりやすい市内公共交通サービスの提供

集約課題②

公共交通に関わる全ての関係者が連携して、公共交通に対する意識を醸成しつつ、利用して元気になる取組みの実践

集約課題③

碧海5市及び西尾市・名古屋市等の広域的な移動ニーズに対応した公共交通の維持・活性化

▼基本目標

基本目標 1

市内の移動を支える公共交通の利用環境を改善します

基本目標 2

関係者が連携・協働し、みんなが元気になる取組みを展開します

基本目標 3

人の流れに対応した広域公共交通ネットワークを維持・活性化します

3) 地域公共交通の役割と位置付け

本市は鉄道駅を4駅有しており、鉄道が高浜市や刈谷市、知立市方向の広域的な移動手段として機能しています。また、中心市街地や碧南駅からは名鉄三河線の廃止区間代替バスであるふれんどバスが運行され、西尾市への移動手段となっています。

碧南市が運行するくるくるバスは、中心部では周縁部よりも頻度の高い運行となっていますが、どちらも市民の市内生活移動に対応しています。

また、市内ではタクシーが営業しており、上記公共交通を補完する役割を担っています。

このように本市で運行されている公共交通は、広域的な移動を支えるものから段階的なネットワークを形成するものとしします。

図 地域公共交通の
将来ネットワークイメージ

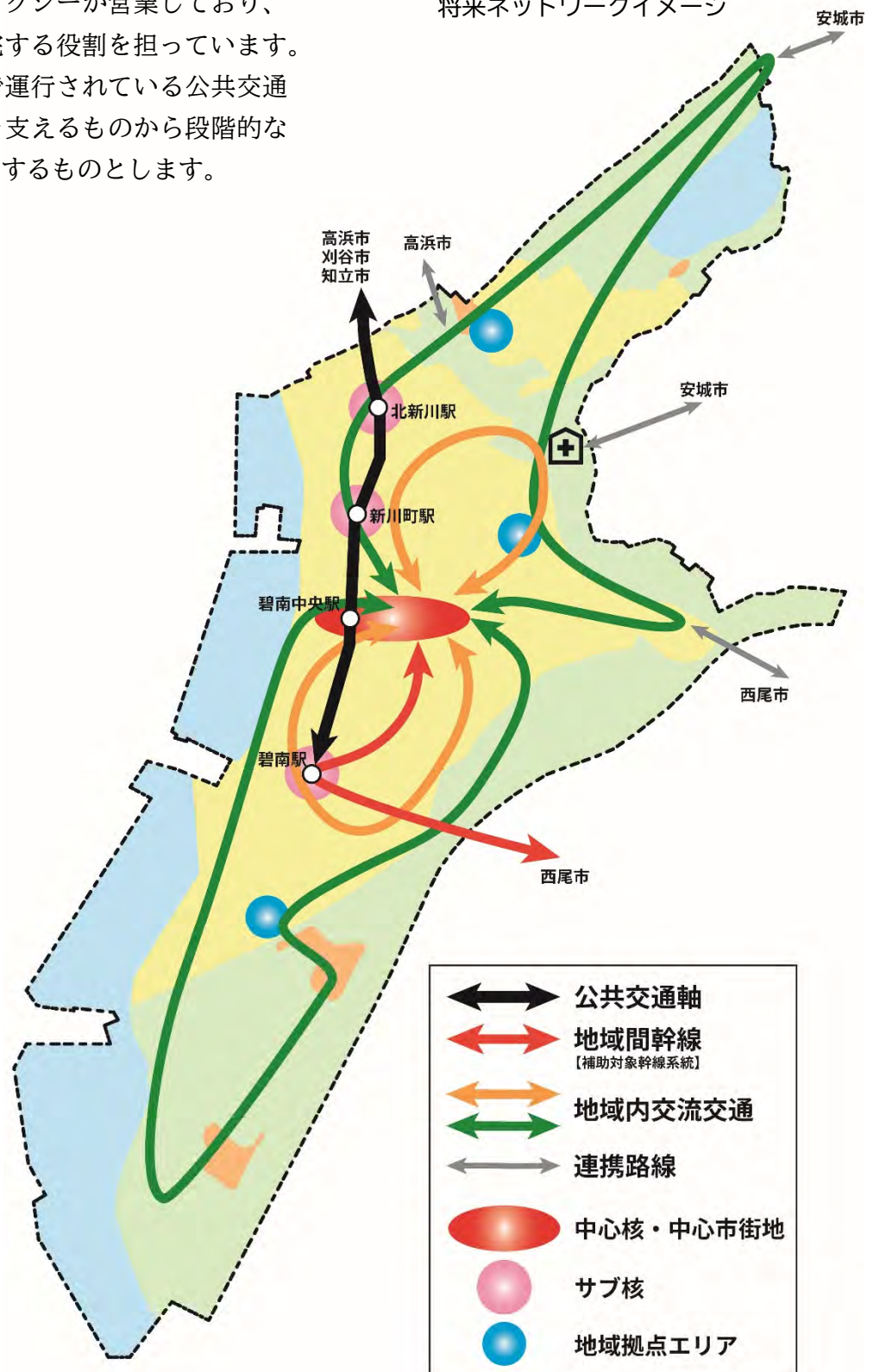


表 碧南市における地域公共交通の役割と位置付け

位置付け	路線・系統		起点	経由	終点	事業許可区分	運行態様	実施主体	補助事業	役割	確保・維持の方法
公共交通軸	名鉄三河線		碧南	知立	猿投	第一種鉄道事業	定期運行	交通事業者	—	● 通勤・通学を主体としつつ、買物や観光など様々な移動目的に対応する路線 ● 広域的な移動需要に対応する	交通事業者と協力した取組みにより一定以上の需要や運行水準を確保する
地域間幹線	ふれんどバス	①系統	碧南駅	吉良吉田駅	吉良高校	一般乗合旅客自動車運送事業	路線定期運行	交通事業者	幹線補助	● 碧南高校をはじめとした沿線に立地する高校への通学を主体としつつ、通勤や買物など様々な移動目的に対応する路線 ● 鉄道駅や本市中心部などの交通結節点において、他の移動手段と連絡する	利用促進事業による運賃収入の確保や沿線市からの運行費補助に加え、地域公共交通確保維持事業（幹線補助）を活用し、持続可能な運行を目指す
			碧南駅	大宝橋	吉良吉田駅						利用促進事業による運賃収入の確保や沿線市からの運行費補助により、持続可能な運行を目指す
		②系統	碧南高校	吉良吉田駅	吉良高校				—		
			碧南高校	碧南駅	吉良吉田駅						
地域内交流交通	くるくるバス	オレンジコース【中央巡回】	市役所	南左回り～北右回り	市役所	(無償運送)	路線定期運行	碧南市	—	● 買物や通院目的を主体とした移動目的に対応する路線 ● 利用可能な範囲で通勤・通学目的での利用にも対応する ● 市内の生活移動に対応する	本市が主体的に運行する路線で、利用促進の取組みを進め、効率性を高めることにより、持続可能な運行を目指す
		パープルコース【中央巡回】	市役所	北左回り～南右回り	市役所						
		みどりコース【市内外周】	市役所	北右回り～南左回り	市役所						
		あおコース【市内外周】	市役所	南右回り～北左回り	市役所						
連携路線	あんくるバス	3 南部線	碧南市民病院	デンパーク	安城更生病院	一般乗合旅客自動車運送事業	路線定期運行	安城市	—	● 本市と周辺市を結ぶ路線 ● 本市内の公共交通と連携する	(周辺市が運行する路線であるため、本計画での取組みの直接の対象としないが、必要に応じ連携・調整を図る)
		4 高棚線	高棚	三河安城駅中央口	安城更生病院						
	六万石くるりんバス	6 西野町線	碧南鷲塚	御城下	西尾駅			西尾市			
	いきいき号	港コース	高浜市役所	【循環】サンビレッジ衣浦	高浜市役所			高浜市			
個別輸送	一般タクシー		市内全域			一般乗用旅客自動車運送事業	—	交通事業者	—	● 上記の公共交通では時空間的に対応できないニーズに対応	交通事業者と連携した取組みにより、一定以上の需要や運行水準を確保する

■地域公共交通確保維持事業の必要性と補助系統に係る事業及び実施主体の概要

【ふれんどバス①・②系統について】
ふれんどバス①・②系統（赤系統）は、本市の中心核・中心市街地やサブ核と、西尾市の交通結節点（一色町公民館・吉良吉田駅等）を連絡しており、沿線に立地する碧南高校・一色高校・吉良高校への通学目的が利用の主体を占めています。また、鉄道と連絡する性質があることから、より広域な通勤・通学目的や観光目的での利用にも対応しているとともに、休日では市域を超えた買物目的での利用もみられます。
路線沿線の自治体はもちろん、路線沿線を超える広域的な公共交通ネットワークにおいても重要な役割を担っているものの、沿線自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が困難であり、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。

4) 基本目標と目標指標

(1) 基本目標

基本目標 1

市内の移動を支える公共交通の利用環境を改善します

- ・くるくるバスについては、市内の地域内交流交通における路線として位置づけ、サービス水準を維持するとともに、利用特性に合った見直しとして、商業施設最寄りバス停の移設などによるコース変更を実施し、利便性の向上を図ります。
- ・名鉄電車やふれんどバスについては、広域的な移動を担う路線と位置付け、利用ニーズに対応した駅前広場や駐輪場の整備などを通じて、乗継ぎ環境の改善に向け、調査・研究を行います。
- ・タクシーについては、上記にて賄えない移動を支える個別移動手段として位置付け、事業者と連携し、事業運営の維持及び利便性の向上につながる施策を検討します。
- ・複合的な公共交通の利用を促進するため、Google Maps 等を活用した検索方法の周知を進め、鉄道やバスのルートや時刻表だけでなく、タクシーのりばなどが掲載された見やすくわかりやすい総合交通マップを作成し、情報の提供を充実させます。
- ・外国人にも利用しやすい公共交通とするため、多言語に対応した情報発信の取組を進めます。
- ・市内の生活移動を支える地域内交流交通について、民間事業者と協力・連携し、活性化を検討します。

基本目標 2

関係者が連携・協働し、みんなが元気になる取組を展開します

- ・すべての市民が公共交通を主体として支える意識や愛着を醸成する取組を実施するとともに、公共交通の活性化に努めます。
- ・公共交通を利用した外出につながる取組を実施し、公共交通の利用促進に努めます。
- ・利用者ニーズに対応した効率的な運行に向け、事業者や地域と連携し利用促進を図ります。
- ・環境に配慮した公共交通のあり方を検討します。

基本目標 3

人の流れに対応した広域公共交通ネットワークを維持・活性化します

- ・名鉄三河線については南北方向、ふれんどバスについては東西方向の広域的な移動を担う路線であり、両路線を本市の幹線公共交通として位置付けるとともに、市内の公共交通や周辺市と連携しながら路線の維持・活性化を図ります。
- ・ふれんどバスの活性化のため、市内区間における利便性向上などを検討します。

(2) 目標指標

計画の進捗状況や、基本目標の達成度を評価するため、本計画では以下の通りの目標指標を定めます。

	目標指標	現況値 [2022・2023]	目標値 [2028]	データ取得方法
基本 目標 1	①地域内交流交通の利用者数	94,664 人/年	120,000 人/年	運行データ
	②一般タクシーの利用者数	126,698 人/年	150,000 人/年	運行データ
	③くるくるバス「商業施設」 バス停の利用者数	25.4 人/日	32 人/日	乗降調査 (毎年8月実施)
基本 目標 2	④関係者間で連携・協働して 実施した利用促進事業の件数	—	3 件/年	碧南市公共交通 活性化協議会
	⑤環境に配慮した車両の導入数 (くるくるバス)	0 台	2 台	碧南市
基本 目標 3	⑥名鉄三河線の利用者数 (市内4駅)	4,185,118 人/年	4,770,000 人/年	運行データ
	⑦ふれんどバスの利用者数	276,002 人/年※	300,000 人/年	運行データ
	⑧「ふれんどバスが走っていること」 の認知度	58.7%	67%	市民アンケート

※⑦ふれんどバスの利用者数は 2023 年度となっており、2022 年 10 月～2023 年 9 月の値

【現況値・目標値の算出根拠】

- ①・②・⑥・⑦の目標値は、新型コロナウイルス感染症流行前の2019年度の数値を基に設定しています。

表 令和元年度の利用者数

	2019年度 実績値		目標値
① 地域内交流交通（くるくるバス）	121,154 人	→	120,000 人
② 一般タクシー	150,854 人		150,000 人
⑥ 名鉄三河線	4,778,528 人		4,770,000 人
⑦ ふれんどバス	304,706 人		300,000 人

※ 一般タクシー・名鉄三河線は4月～3月の会計年度、ふれんどバスは10月～9月のバス年度

- ③の「商業施設」バス停利用者数は、2022年度実施の市民アンケート調査において、買物目的の外出先として、各地域の上位に挙げられた9施設（p.50 参照）の最寄りバス停を抽出し、毎年8月に実施する乗降調査の数値から利用者数（乗車人数・降車人数）を算出しています。

目標値は①が約3割増であることから、3割増加を目標値としています。

※ $120,000 \text{ 人} \div 94,664 \text{ 人} = 1.27$ $25.4 \text{ 人} \times 1.27 = 32.3 \text{ 人}$

<最寄りバス停>

オレンジコース・パープルコース…音羽町、中山町、鶴見町

みどりコース・あおコース……………大浜陣屋広場西、霞浦神社、旭交番東、久沓町、山神町、金山住宅

- ④は市の公共交通担当課と連携して実施した利用促進事業についてカウントします。
- ⑤は電気自動車などの車両を導入した数をカウントします。
- ⑧は2022年度実施の市民アンケート調査において認知度を調査しており、3人に2人以上の認知度となるよう設定しました。

5) 目標を達成するために実施する事業

この計画の目標を達成するために実施する事業について、実施するスケジュールや実施主体について整理します。

A くるくるバスの利用環境の改善	
主な内容	市内の生活移動を支えるくるくるバスについて移動の利便性を高めるため、商業施設などの最寄りバス停の移設をはじめとした、利便性向上のためのコース修正を行います。 また、安心してバスを待つことができる環境整備や運行状況を確認できるバスロケーションシステムの導入などを検討します。
主 体	碧南市・関係事業者・運行事業者

【実施内容例】

- ・商業施設などの最寄りバス停の移設
- ・協力施設にバス待合施設の設置
- ・バスロケーションシステムの導入検討
- ・利用しやすく、安心・安全な運行に向けたダイヤの見直し
- ・くるくるバスの車両数や運行本数の適正化検討

【事業事例等】

宗像市では、コミュニティバス「ふれあいバス」の「くりえいと3丁目」停留所について、近隣の商業施設への利便性を向上させるため、停留所の移設を行いました。

図 商業施設への利便増進コミュニティバス停留所の移設



(資料：福岡県宗像市 令和3年度 第1回宗像市地域公共交通会議 資料)

B 利用者目線の分かりやすい情報案内

主な内容	公共交通の利用者が分かりやすく経路や乗り換えを検索できるよう、Google Maps 等を活用した検索方法を周知します。 また、総合交通マップの作成や車内放送によるバス停周辺施設の紹介をするなど、分かりやすい情報発信に取組みます。
主 体	碧南市・運行事業者

【実施内容例】

- ・市内の公共交通情報を掲載した総合交通マップの作成・配布
- ・市内在住者及び転入者への公共交通情報の提供
- ・多言語での公共交通の情報案内
- ・バス車体への分かりやすいコース表示方法等の検討
- ・Google Maps 等を活用した運行時刻検索方法の広報・周知
- ・碧南市公式 LINE によるくるくるバスの運行情報の PR
- ・車内放送におけるバス停周辺施設の紹介

【事業事例等】

本市では、経路検索アプリをはじめ、Google Maps といった地図アプリによる経路検索に対応しているため、便利な経路検索方法についての広報・周知を進めます。

図 Google Maps によるくるくるバスの経路検索結果



C タクシー運行の活性化	
主な内容	市内の個別移動手段として位置付けたタクシーについて、運転手不足などの課題に対して事業者と連携を推進します。
主 体	碧南市・運行事業者

【実施内容例】

- ・くるくるバスのバス停へのタクシー事業者の電話番号を掲載
- ・高齢者タクシー助成の拡充
- ・障害者タクシー助成の継続実施
- ・運転手に関する就職説明会等への事業者の参加促進

【事業事例等】

刈谷市では、公共施設連絡バス「かりまる」のバスガイドにおいて、市内を営業区域とするタクシー事業者の電話番号を掲載しています。

図 刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」バスガイド

2021.8.1 改正

かりまるバスガイド

刈谷市公共施設連絡バス

毎日運行 (但し、12月29日～1月3日運休)

刈谷市公共施設連絡バス『かりまる』は、どなたでも無料で自由にご利用できます。車椅子の方もお気軽にご利用下さい。

利用上のお願い

- ・満員の場合、乗車できない場合があります。
- ・道路事情により遅れる場合があります。
- ・悪天候により運行をとりやめる場合があります。

右記の QR コードを読み込んでいただくと、公共施設連絡バスの運行状況（バス走行位置、遅延情報等）がリアルタイムで取得できるバスロケーションシステムをご利用できます。
(QRコードはデンソーウェブの登録商標です)

お忘れ物・遅延等のお問合せ先は時刻表上部をご覧ください。

1. 東境線	2. 西境線	3. 一ツ木線
4. 運動公園・東刈谷線	5. 小畑江・徳佐表線	6. 東刈谷・逢妻線

お急ぎの方は、タクシーをご利用ください。

刈谷交通 (株)	大興タクシー (株)
0566-21-4503	0566-21-3418

連絡先

(昼間) 刈谷市役所都市交通課 0566-95-0004
(夜間) 刈谷市役所休日・夜間窓口 0566-62-1080

(資料：刈谷市ホームページ)

D 地域内交流交通を補完する交通手段の検討

主な内容	地域内交流交通として運行するくるくるバスのほかに、バス停まで歩くことができない方などが利用できる補完的な交通手段について、民間事業者と協力・連携して検討を行い、その検討結果を踏まえ、地域内交流交通としての導入に向けた協議・調整を進めます。
主 体	碧南市・運行事業者・関係事業者

【実施内容例】

- ・一般乗用タクシー等を活用した地域に根ざした交通の導入検討

【事業事例等】

路線バスやコミュニティバスよりも地域に根ざした交通については、全国各地で導入が進んでおり、地域により様々なパターンが存在しています。

表 各地の事例一覧

市区町村	名称	サービス概要	対象者	料金	運行エリア
西尾市	いこまいかー	・既存空きタクシーを活用した移動サービス ・自宅から駅やバス停までの距離が遠い方、通院・買い物などの移動が難しい方へむけたサービス	・市内在住者 (未就学児のみの利用は不可)	片道300円	原則、各小学校区内
東郷町	デマンドタクシー	・既存空きタクシーを活用した移動サービス ・バス停まで移動することが困難な人への新たな交通手段	・65歳以上の方 ・身体障害者手帳等をお持ちの方 ・妊娠中～出産後6か月以内の方	片道300円	東郷町内
豊明市	チョイソコとよあけ	指定停留所で乗降する乗合送迎サービス	・運行エリアにより対象者が変動 (65歳以上、障害者手帳所持者、指定地域在住者など)	1回200円	①仙人塚・間米エリア ②沓掛エリア
名古屋市千種区	mobi	半径2kmの生活圏内の移動を「相乗り」、「定額料金」、「AIによる効率的なルート設定」により運行するモビリティサービス	・契約者、または家族オプション会員 (子どもだけでの利用可)	①5,000円/月 ②300円/回 家族料金・子ども料金あり	千種区内の一部地域
富山県朝日町	ノッカルあさひまち	近所の方の自家用車でのお出掛けに、ついでに「乗っかる」ことができる、助け合いの気持ちをカタチにしたサービス	・だれでも利用可	あさひまちバス回数券が必要 (1人利用は3枚(600円))	町内各地区と中心部を結ぶコースを中心に運行

E 利用者が元気になる取組みの展開

主な内容	公共交通を利用した外出機会の増加・創出に向けて、ハイキング・スタンプラリーイベントの実施や、観光モデルコースの作成、市内イベントと合わせた利用促進策の実施などに取組みます。 また、公共交通の利用促進策について、事業者と実施に向けた協議・調整を行います。
主 体	碧南市・運行事業者・関係事業者・地域・市民

【実施内容例】

- ・公共交通利用者への特典配布などの利用促進策の実施
- ・ハイキング、スタンプラリーイベントの実施
- ・バス乗車体験会や運転士体験などの利用促進策の実施
- ・公共交通を利用して出かける観光モデルコースの作成

【事業事例等】

知立市では、コミュニティバス「ミニバス」の利用促進事業として、ミニバスを利用したお出かけモデルコース集を作成しています。コースの範囲は知立市内だけでなく、隣接する刈谷市や安城市のバスを活用するコースも収録しています。

図 知立市「ミニバス de お出かけ モデルコース」



ミニバス de お出かけ モデルコース

2022.10 作成



♪桜の名所とハイウェイオアシスにお出かけ♪
春の行楽コース

所要時間: 約8時間 乗車料金: 300円(大人)
ミニバス(小学生以下は乗車無料) かりまる: 利用料金はどなたも無料 高岡ふれあいバス: 小学生100円、未就学児は無料

ミニバス	9:15 発	知立駅	乗車料金 100円
かりまる	9:39 着	東刈谷駅北口	
徒歩	約3分		
ミニバス	9:46 発	東刈谷駅北口	乗車料金 100円
かりまる	10:37 着	刈谷市体育館	
徒歩	約3分		
ミニバス	11:49 発	司町4丁目	乗車料金 100円
かりまる	12:07 着	刈谷駅南口	
徒歩	約3分		
ミニバス	12:38 発	刈谷駅南口	乗車料金 100円
かりまる	13:35 着	洲原公園北口	
徒歩	約5分		
ミニバス	14:30 発	洲原公園北口	乗車料金 100円
かりまる	14:44 着	刈谷ハイウェイオアシス	
徒歩	約3分		
ミニバス	16:31 発	ハイウェイオアシス東	乗車料金 200円
かりまる	17:03 着	知立駅	

① 亀城公園
 所在地: 刈谷市城崎1-1-1
 刈谷城址であり、桜の名所としても知られ、四季折々の花も美しく、小鳥のさえずりも聞こえる公園です。

② 洲原公園
 所在地: 刈谷市井ヶ谷洲原4-1
 洲原池を中心として、周囲に広がる松林を背景にした丘陵地にある公園です。

③ 刈谷ハイウェイオアシス
 所在地: 刈谷市東境町吉野5-5
 岩ヶ池公園と伊勢湾岸自動車道の刈谷パーキングエリアが隣接する人気の複合施設です。

(資料: 知立市ホームページ)

68

F 公共交通が元気になる取組みの展開

主な内容	市民や地域の公共交通に対する関心・愛着を醸成するために乗り方教室の実施等に加え、公共交通を地域で支える取組みとしてバス車体広告等を実施・継続します。 また、バス等の車両更新の際には、環境に配慮した車両の導入を推進します。
主 体	碧南市・運行事業者・地域・市民

【実施内容例】

- ・公共交通の乗り方教室の実施
- ・公共交通をテーマにしたぬり絵や俳句の実施・展示
- ・地域企業の車体広告等のバス運行を支える取組みの実施
- ・利用者や環境に配慮した車両の更新
- ・観光キャラクターを活用した公共交通関連グッズの作成
- ・公共交通利用を啓発するパンフレットの作成・配布等のモビリティ・マネジメント*の展開

【事業事例等】

豊明市では、名鉄バス知立営業所と協力し、小学生を対象としたバスの乗り方教室・安全教室を実施し、バスへの意識醸成や交通安全につなげています。

図 バスの乗り方教室・安全教室のようす



(資料：豊明市ホームページ)

G 名鉄三河線の維持・活性化	
主な内容	名鉄三河線については公共交通軸に位置付け、南北方向の広域的な移動需要に対応する運行サービスの提供を維持します。 また、市内各駅周辺のパークアンドライドやサイクルアンドライド*を促進する取り組みを行います。
主 体	運行事業者・碧南市

【実施内容例】

- ・パークアンドライド、サイクルアンドライドの推進
- ・市内各駅の駐車場及び駐輪場情報のホームページ掲載
- ・駅前広場の整備による利用環境の改善

【事業事例等】

蒲郡市では、鉄道駅周辺の駐車場・駐輪場の一覧（位置・利用料金等）とともに、Google マイマップで作成した一覧図をホームページ上に掲載しています。

図 蒲郡市 HP 駐車場・駐輪場の位置図

駅周辺の地図



（資料：蒲郡市ホームページ）

H ふれんどバスの維持・活性化

主な内容	ふれんどバスについては地域間幹線として位置付け、地域公共交通確保維持事業を活用することにより、西尾市方面へ市域を超えた移動需要に対応する運行サービスの提供を確保・維持します。 また、利便性の維持・向上を図るため、市内高校の入学式での定期券販売を継続するとともに、バス停の増設などを検討します。
主 体	運行事業者・碧南市・西尾市・愛知県・国・高校

【実施内容例】

- ・ふれんどバス停留所の増設に向けた協議・調整
- ・沿線高校の入学式における定期券販売の継続実施
- ・駅などにおけるサイクルアンドバスライド*の推進

【事業事例等】

名鉄バスでは、碧南高校をはじめとするふれんどバス沿線の県立高等学校3校において、入学式での定期券出張発売を行い、高校生の通学利用の促進を図っています。

図 ふれんどバス 通学定期券



(資料：名鉄バス)

図 ふれんどバス「棚尾橋西」停留所 駐輪場



本計画に基づく各事業は、碧南市地域公共交通活性化協議会が進捗を管理することとします。
また、各事業の準備期間及び実施時期、実施主体は以下の通りとします。

基本目標	事業項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	実施主体
基本目標 1	A くるくるバスの利用環境の改善	----- 準備・検討	----- 実施・改善等			↑	碧南市・関係事業者・運行事業者
	B 利用者目線の分かりやすい情報案内	----- 実施・改善等				↑	碧南市・運行事業者
	C タクシー運行の活性化	----- 準備・検討	----- 事業者と連携して実施			↑	碧南市・運行事業者
	D 地域内交流交通を補完する交通手段の検討	----- 準備	----- 事業者と連携・検討・協議			↑	碧南市・運行事業者・関係事業者
基本目標 2	E 利用者が元気になる取組みの展開	----- 実施・改善等				↑	碧南市・運行事業者・関係事業者・地域・市民
	F 公共交通が元気になる取組みの展開	----- 実施・改善等				↑	碧南市・運行事業者・地域・市民
基本目標 3	G 名鉄三河線の維持・活性化	----- 利用促進、施設の整備				↑	運行事業者・碧南市
	H ふれんどバスの維持・活性化	----- 実施・改善等				↑	運行事業者・碧南市・西尾市・愛知県・国・高校

第7章 計画の達成状況の評価

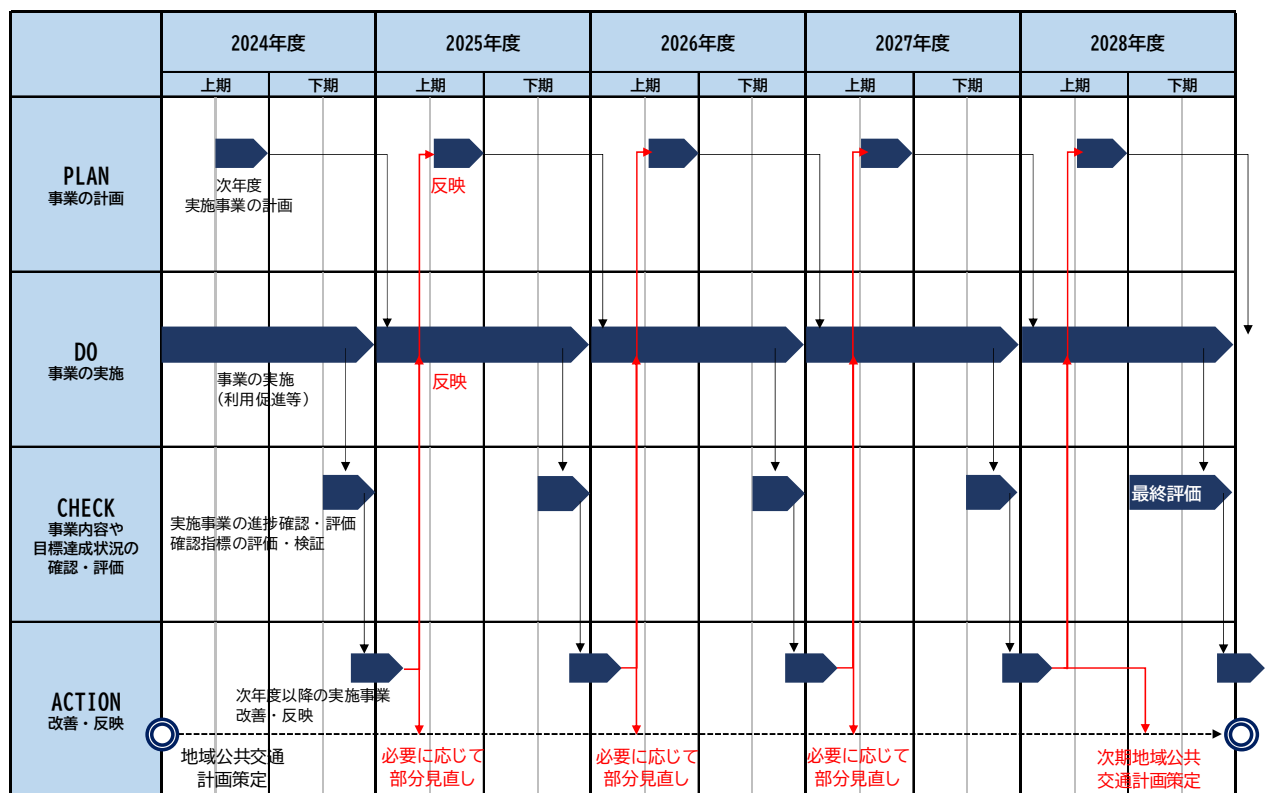
1) 計画評価の基本的な考え方

本計画で位置づけた事業は、事業計画、事業実施、評価・検証、改善策の検討といったPDCAサイクル*を毎年繰り返し実施することで、より良い公共交通の実現につなげます。

また、実施した事業の概要やその効果、目標の達成状況等について、碧南市地域公共交通活性化協議会において共有・公表することで改善につなげていきます。

なお、碧南市地域公共交通活性化協議会は、事業実施や評価・検証の機会を考慮し、必要に応じて適宜開催することとします。

表 計画の評価・検証のスケジュール



*のついた用語は75ページに解説があります

2) 計画の確認指標

各事業の進捗確認とともに、以下の確認指標について毎年度または中間年度に評価・検証し、計画の進捗状況を確認します。

確認指標 1 各公共交通の利用者数【毎年度】		現況値 [2022・2023]
名鉄三河線 (計 4,185,118 人)	碧南駅	1,272,678 人
	碧南中央駅	1,467,599 人
	新川町駅	403,898 人
	北新川駅	1,040,943 人
名鉄バス	ふれんどバス	276,002 人
くるくるバス (計 94,664 人)	オレンジコース	25,135 人
	パープルコース	7,805 人
	みどりコース	31,117 人
	あおコース	30,607 人
タクシー		126,698 人

※名鉄三河線は「乗降者数」、ふれんどバス・くるくるバスは「乗車人数」、タクシーは「輸送人員」

※名鉄バスのみバス年度で10月～9月の集計(2023…2022.10～2023.9)

※タクシーは三光陸運㈱、愛知みどり交通㈱の2社合計

確認指標 2 ふれんどバスの費用負担【毎年度】		現況値 [2022]
①	経常経費	140,541,446 円
②	経常収入	31,415,921 円
③	国・県補助金	42,762,400 円
④	碧南市運行補助金	15,993,000 円
⑤	西尾市運行補助金	50,368,000 円
⑥	ふれんどバスの利用者一人当たりの行政負担額 ※(③+④+⑤)÷当該年度利用者数	427.1 円

※補助金等のデータに合わせ、⑥は2022年度の利用者数(255,499人)を用いて算出

確認指標 3 くるくるバスの費用負担【毎年度】		現況値 [2022]
①	運行経費総額 ※燃料費を含み、車両購入費を除く	53,179,087 円
②	広告料などによる収入	520,800 円
③	くるくるバス利用者一人当たりの行政負担額 ※(①-②)÷当該年度利用者数	556.3 円

■ 用語集

用語	解説	初出 ページ
【あ 行】		
OD	出発地 (Origin) から到着地 (Destination) へ移動する交通量のこと。	41
【か 行】		
カーシェア	登録を行った会員間で車を共同で使用するサービスのことで、短い時間であればレンタカーよりも安価になるように設定されていることが多い。	4
カーボンニュートラル	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの (人為的な) 「排出量」 から、植林、森林管理などによる (人為的な) 「吸収量」 を差し引いて、合計を実質的にゼロにする、カーボンニュートラルを目指すこと。	4
【さ 行】		
サイクルアンドライド ／サイクルアンド バスライド	鉄道駅等の周辺に自転車を駐輪し、公共交通に乗り換えて移動すること。	70／71
【は 行】		
パークアンドライド	鉄道駅等の周辺に自家用車を駐車し、公共交通に乗り換えて移動すること。	8
バスロケーション システム	バスの現在地や遅れ情報、バス停の到着予想時刻等の提供を行うシステムのこと。	46
P D C A サイクル	Plan (計画) ・ Do (実行) ・ Check (評価) ・ Action (改善) を繰り返すことによって、生産管理や品質管理などの管理業務を継続的に改善していく手法のこと。	73
福祉有償運送	市町村や非営利団体が実施している自家用自動車を使った個別輸送サービスのこと。	16
碧海5市	碧南市、刈谷市、安城市、高浜市、知立市の5市のこと。	48
【ま 行】		
M a a S	“Mobility as a Service” の略 (読み: マース) 出発地から目的地までの移動に対し、さまざまな移動手段・サービスを組み合わせて、ひとつの移動サービスとして捉える考え方のこと。	46
モビリティ・ マネジメント	一人ひとりの移動 (モビリティ) が社会的にも、個人的にも望ましい方向 (過度な自動車の利用から、公共交通を適切に利用する等) に変化することを促すための、コミュニケーションを中心とした交通政策のこと。	69

■ 碧南市地域公共交通活性化協議会の開催状況

【2022 年度】

回	日にち	議題
第1回	2022年4月18日（月）	(1)地域公共交通活性化再生法に基づく法定協議会の設立について (2)碧南市地域公共交通計画の策定について
第2回	2022年8月24日（水）	(1)碧南市地域公共交通計画の策定スケジュールについて (2)各種ニーズ調査の実施と分析方法について (3)アンケート調査（市民アンケート、バス乗降調査、バス利用者アンケート）について
第3回	2023年1月18日（水）	(1)碧南市地域公共交通計画の策定協議
第4回	2023年3月7日（火）	(1)碧南市地域公共交通計画の策定協議

【2023 年度】

回	日にち	議題
第1回	2023年7月19日（水）	(1)令和4年度収支決算について (2)令和5年度当初予算（案）について (3)第6章 碧南市地域公共交通計画について (4)令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について
第2回	2023年11月6日（月）	(1)第6章 碧南市地域公共交通計画について (2)第7章 計画の達成状況の評価について
第3回	2024年3月4日（月）	(1)碧南市地域公共交通計画の確定について (2)令和5年度碧南市地域公共交通活性化協議会収支決算（見込み）について



碧南市地域公共交通計画

2024 年 3 月策定

- 発 行 碧南市
〒447-8601 愛知県碧南市松本町 28 番地
- 編 集 経済環境部 商工課
- T E L 0566-41-3311（代表）
- U R L <https://www.city.hekinan.lg.jp/>